

令和5年度

主要な施策の成果

住みよさ実感都市 かすが
～つながる はぐくむ 支え合う～



春日市

(表紙の写真)

◆ <西スポーツ・レクリエーション広場整備後の様子>

詳しくは、主要な施策の成果第1章「スポーツ・運動の推進」38頁を御覧ください。

目 次

I 決算の概要

1 決算の概要	4
2 歳入決算の状況	5
3 歳出決算の状況	11
4 主な財政指標の分析	15

II 歳 出

第1章 人づくり・地域づくり	23
第2章 子育て・教育	46
第3章 健康・福祉	64
第4章 都市整備・安全安心	77
第5章 行政経営	103

III 資 料

入札執行状況	112
用地取得状況	113
土地・建物の状況	114
公園・緑地・特別緑地保全地区・児童遊園一覧表	119
公共施設の状況	122

■ ■ 本文中の表現について

- ・「+金額」（「△金額」）…前年度に対する増加額（減少額）を表します。
- ・「+～%」（「△～%」）…前年度に対する増加率（減少率）を表します。

（例）市税（+1 億 9,525 万 5 千円） ⇒ 前年度に比べ市税が 1 億 9,525 万 5 千円増収となったことを表しています。

利子割交付金（△11.9%） ⇒ 前年度に対する利子割交付金の減少率が 11.9%であることを表しています。

I 決算の概要

1 決算の概要

財務省が7月に発表した令和5年度一般会計決算の概要では、主な税収のうち所得税については、賃上げの広がりを受け給与所得は増加したものの、配当に係る税制の変更による影響で税収としては減収となりました。その一方で、法人税や消費税については、企業業績や消費の堅調な伸びの影響で増収となっています。その結果、昨年度の税収は前年度比1.32%増の72兆761億円となり、4年連続で過去最高を更新しました。しかし、補正予算を含めた一般会計の総額は127兆円を超過しており、依然として歳入の多くを新規の国債発行で賄う厳しい財政状況が続いています。

このような状況の下、本市の令和5年度決算は、歳入において固定資産税における商業地の負担調整措置が従来の措置となったことに伴う市税の増や令和5年12月の普通交付税の再算定による地方交付税の増がありましたが、前年度からの繰越金の大幅な減の影響から5億8千万円の減となりました。一方、歳出においては国の物価高騰対策に伴う低所得世帯への給付金給付事業による民生費の増や市営住宅建替事業による土木費の増がありましたが、新型コロナウイルス予防接種費の減や公共施設等整備基金積立金の減の影響から4億9千万円の減額となっています。

このような中において、少子高齢化対策、物価高騰などの課題へ適切に対応しつつ、市民サービスの向上と、将来を見据えた予算の計画的な執行に努めた結果、令和5年度の会計別決算は、第1表のとおりとなりました。

第1表 会計別決算状況

(単位:千円)

会 計 区 分	歳入総額 ①	歳出総額 ②	歳入歳出差引 (①－②) ③	翌年度へ繰り 越すべき財源 ④	実質収支 (③－④)
一般会計	40,446,033	39,054,536	1,391,497	221,995	1,169,502
国民健康保険事業 特別会計	10,102,803	10,003,178	99,625	0	99,625
後期高齢者医療事業 特別会計	1,691,958	1,616,596	75,362	0	75,362
介護保険事業 特別会計	7,671,228	7,528,780	142,448	0	142,448
筑紫地区障害支援区分等 審査会事業特別会計	18,522	18,522	0	0	0
合 計	59,930,544	58,221,612	1,708,932	221,995	1,486,937

(単位:千円)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
下水道事業会計	2,280,486	1,841,376	350,453	1,371,309

2 歳入決算の状況（一般会計）

本年度は、県支出金、市税及び地方交付税等が増収となりましたが、繰越金、国庫支出金、財産収入及び寄附金等が減収となったことにより、歳入合計では第2表のとおり前年度比で5億8,129万8千円の減収となりました。

第2表 歳入決算状況

（単位：千円、％）

款	区 分	4年度		5年度		増減額	伸率
			構成比		構成比		
1	市税	13,905,565	33.9	14,112,118	34.9	206,553	1.5
2	地方譲与税	198,648	0.5	200,199	0.5	1,551	0.8
3	利子割交付金	4,613	0.0	4,212	0.0	△ 401	△ 8.7
4	配当割交付金	74,482	0.2	86,849	0.2	12,367	16.6
5	株式等譲渡所得割交付金	61,953	0.1	107,585	0.3	45,632	73.7
6	法人事業税交付金	140,306	0.3	165,595	0.4	25,289	18.0
7	地方消費税交付金	2,494,675	6.1	2,463,085	6.1	△ 31,590	△ 1.3
8	環境性能割交付金	28,529	0.1	34,527	0.1	5,998	21.0
9	国有提供施設等所在市町村 助成交付金	2,450	0.0	2,430	0.0	△ 20	△ 0.8
10	地方特例交付金	127,604	0.3	118,290	0.3	△ 9,314	△ 7.3
11	地方交付税	4,951,827	12.1	5,137,349	12.7	185,522	3.7
12	交通安全対策特別交付金	20,693	0.1	18,690	0.0	△ 2,003	△ 9.7
13	分担金及び負担金	295,158	0.7	300,368	0.7	5,210	1.8
14	使用料及び手数料	528,187	1.3	529,012	1.3	825	0.2
15	国庫支出金	10,153,577	24.7	9,912,608	24.5	△ 240,969	△ 2.4
16	県支出金	3,039,700	7.4	3,269,803	8.1	230,103	7.6
17	財産収入	266,961	0.7	74,201	0.2	△ 192,760	△ 72.2
18	寄附金	385,062	0.9	340,187	0.8	△ 44,875	△ 11.7
19	繰入金	296,554	0.7	430,430	1.1	133,876	45.1
20	繰越金	2,479,336	6.0	1,482,793	3.7	△ 996,543	△ 40.2
21	諸収入	592,151	1.5	624,202	1.5	32,051	5.4
22	市債	979,300	2.4	1,031,500	2.6	52,200	5.3
歳 入 合 計		41,027,331	100.0	40,446,033	100.0	△ 581,298	△ 1.4

（１） 歳入科目別の主な増減内容

① 市税 （＋2億655万3千円）

第3表のとおり、納税義務者数の増加、給与所得の増加等による個人所得額の増により個人市民税が4,428万7千円、商業地の負担調整措置が従来の措置となったことにより純固定資産税が2億848万4千円及び都市計画税が3,658万3千円、税率区分が変更となる車両の増加等により軽自動車税が382万3千円の増収となったため、全体では2億655万3千円の増となりました。

第3表 市税決算状況

(単位:千円、%)

税 目	収入額					徴収率		市民の負担状況			
	4年度	5年度	構成比	増減額	伸率	4年度	5年度	一人当たり(円)		一世帯当たり(円)	
								4年度	5年度	4年度	5年度
市民税	7,087,531	7,046,186	49.9	△ 41,345	△ 0.6	99.2	99.2				
個人	6,482,340	6,526,627	46.2	44,287	0.7	99.1	99.1	57,632	58,357	128,082	128,290
法人	605,191	519,559	3.7	△ 85,632	△ 14.1	99.5	99.6				
固定資産税	5,126,900	5,335,426	37.8	208,526	4.1	99.5	99.5				
純固定資産税	5,099,221	5,307,705	37.6	208,484	4.1	99.5	99.4	45,335	47,458	100,753	104,330
交付金納付金	27,679	27,721	0.2	42	0.2	100.0	100.0				
軽自動車税	220,739	224,562	1.6	3,823	1.7	98.6	98.8	1,963	2,008	4,361	4,414
市たばこ税	649,807	648,773	4.6	△ 1,034	△ 0.2	100.0	100.0	5,777	5,801	12,839	12,753
都市計画税	820,588	857,171	6.1	36,583	4.5	99.5	99.5	7,296	7,664	16,214	16,849
合 計	13,905,565	14,112,118	100.0	206,553	1.5	99.3	99.3	123,629	126,181	274,754	277,394

令和5年3月31日 現在

112,478 人

50,611 世帯

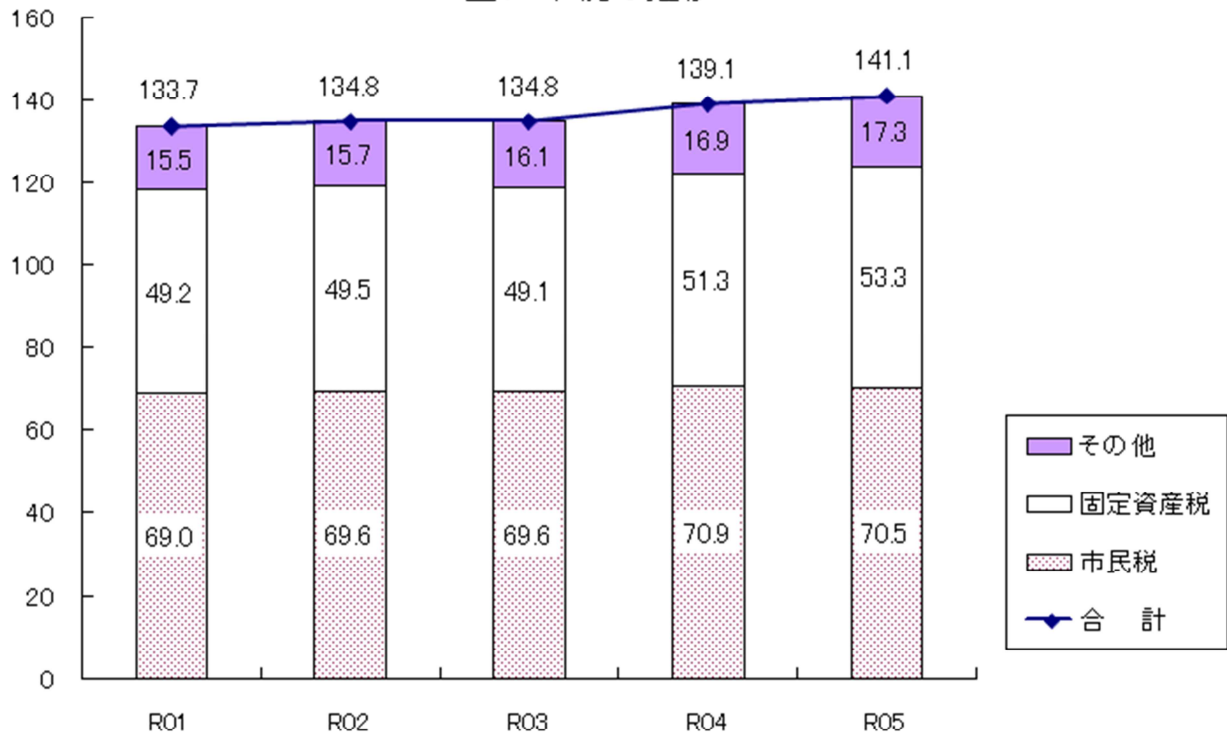
令和6年3月31日 現在

111,840 人

50,874 世帯

(億円)

図1 市税の推移



※ その他:軽自動車税、市たばこ税、都市計画税

(年度)

② 実質的な地方交付税 (△1億5,477万8千円)

(地方交付税 +1億8,552万2千円)

普通交付税が1億8,439万7千円増加したため、地方交付税は1億8,552万2千円の増となりました。
ただし、臨時財政対策債が3億4,030万円の減となったため、実質的な地方交付税は1億5,477万8千円の減となりました。

なお、実質的な地方交付税総額に占める臨時財政対策債発行額の割合は1.9%となっており、財政の健全化を図る上では大きく改善しました。

第4表 地方交付税等の状況

(単位:千円、%)

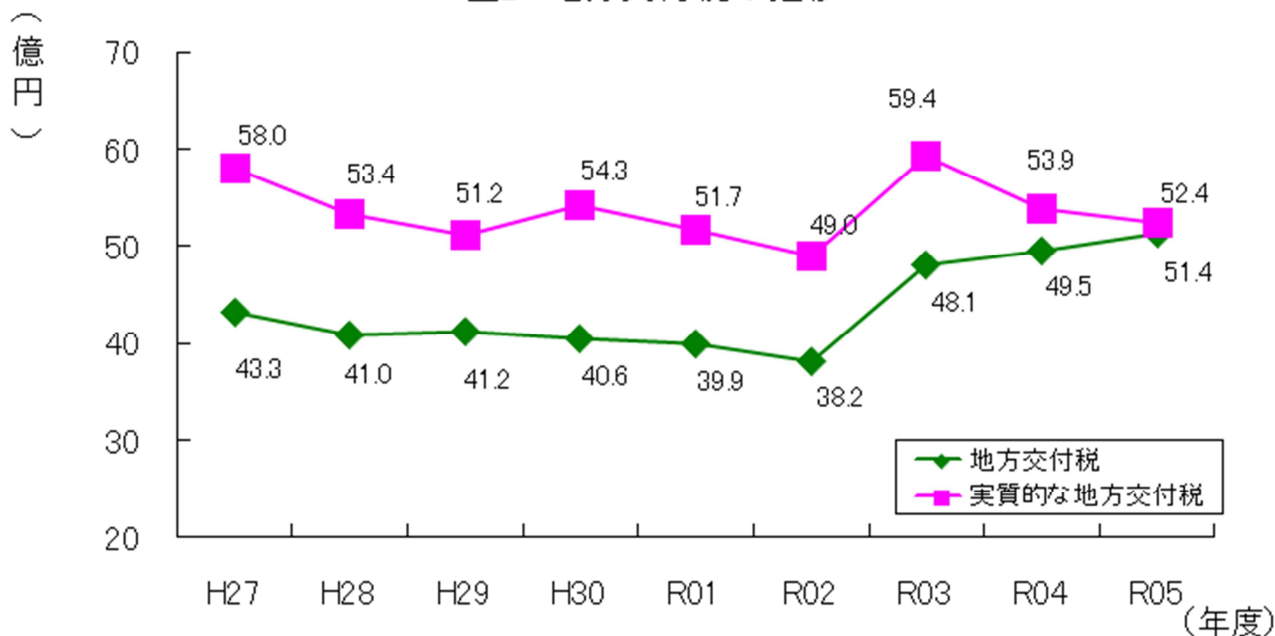
		4年度	5年度	増減額	伸率
普通交付税	基準財政需要額	17,088,305	17,685,941	597,636	3.5
	基準財政収入額	12,488,057	12,901,296	413,239	3.3
	交付基準額	4,600,248	4,784,645	184,397	4.0
	調整額	0	0	0	—
	交付額(a)	4,600,248	4,784,645	184,397	4.0
特別交付税(b)		351,579	352,704	1,125	0.3
地方交付税(a)+(b)		4,951,827	5,137,349	185,522	3.7
臨時財政対策債(c)		441,800	101,500	△ 340,300	△ 77.0
実質的な地方交付税(※)(a)+(b)+(c)		5,393,627	5,238,849	△ 154,778	△ 2.9

※ 「実質的な地方交付税」=「地方交付税」+「臨時財政対策債」

臨時財政対策債は、国における地方交付税の原資不足分を補てんするために発行する市債です。そのため、地方交付税と臨時財政対策債との合計を、実質的な地方交付税と呼びます。

※ 基準財政需要額及び基準財政収入額には、前年度までの錯誤額を含みます。

図2 地方交付税の推移



③ 地方消費税交付金 (△3,159万円)

④ 国県支出金 (△1,086万6千円)

〔国〕物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（＋9億8,851万2千円）の増収に対し、生活支援臨時特別事業費国庫補助金（△6億6,253万8千円）及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（△4億7,866万1千円）等は減収となったため、全体で2億4,096万9千円の減となりました。

〔県〕障がい児通所給付費県負担金（＋8,106万千円）及び施設型給付費県負担金（＋7,402万6千円）等の増収により、全体で2億3,010万3千円の増となりました。

⑤ 繰入金 (+1億3,387万6千円)

財政調整基金繰入金（＋1億2,760万円）等の増収により、全体で1億3,387万6千円の減となりました。

⑥ 繰越金 (△9億9,654万3千円)

純繰越金（△9億5,538万2千円）等の減収により、全体で9億9,654万3千円の減となりました。

⑦ 寄附金 (△4,487万5千円)

かすがふるさと応援寄附金（△5,595万9千円）等の減収により、全体で4,487万5千円の減となりました。

⑧ 市債 (+5,220万円)

主な増減の要因となる市債は次のとおりです。

名 称	増減額	理由等
市営住宅建設事業債	＋2億1,300万円	継続事業
小学校空調設備整備事業債	＋1億5,150万円	新規事業

なお、市債発行額と残高の推移は、図3のとおりです。

図3-1 市債発行額の推移(一般会計)

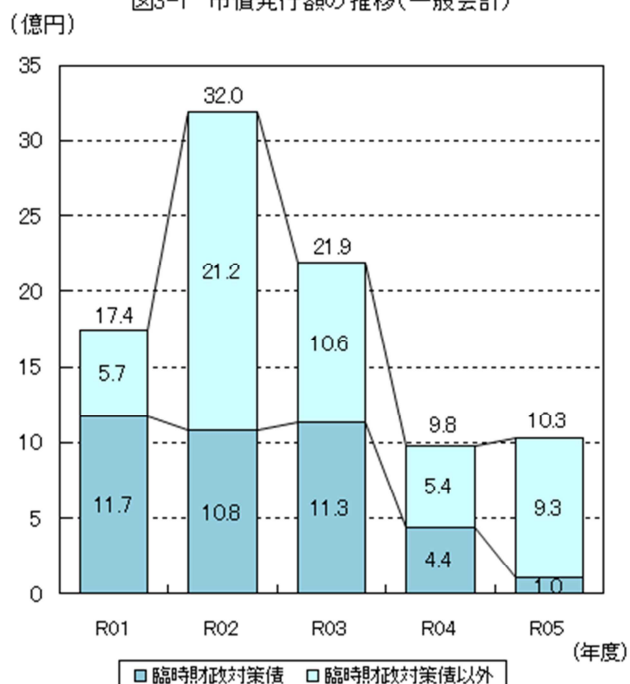
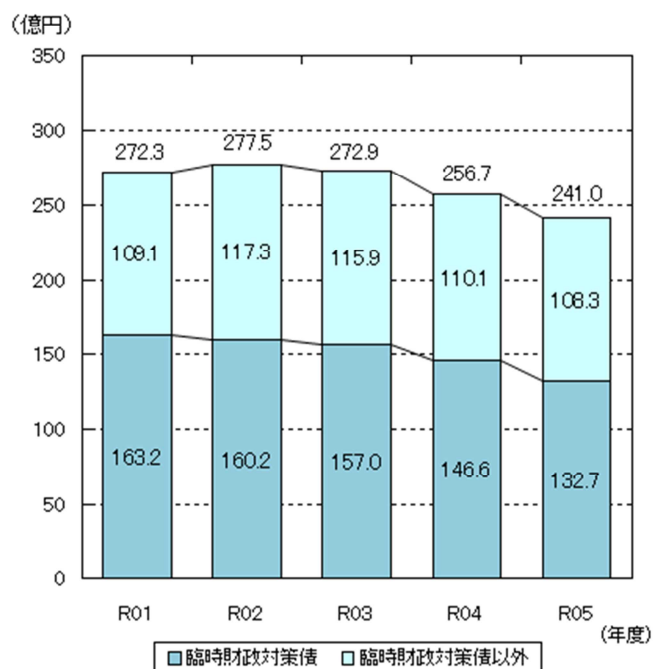


図3-2 市債残高の推移(一般会計)



(2) 財源構造から見た歳入の動向

① 自主財源と依存財源

「自主財源」とは、市税や使用料のように、市が自主的に調達、収入できる財源です。「依存財源」とは、地方交付税や国庫支出金のように、国や県から交付される財源です。歳入全体に占める自主財源の割合が高いほど、自主的で安定的な行政運営が可能となります。

本年度は、市税（＋2億655万3千円）、繰入金（＋1億3,387万6千円）等の増収、繰越金（△9億9,654万3千円）、財産収入（△1億9,276万円）等の減収の結果、自主財源は全体として8億5,566万3千円の減（△4.6%）となりました。

一方、依存財源は、国庫支出金（△2億4,096万9千円）、地方消費税交付金（△3,159万円）等が減収となったものの、県支出金（＋2億3,010万3千円）、地方交付税（＋1億8,552万2千円）等の増収が影響し、全体では2億7,436万5千円の増（＋1.2%）となりました。

歳入合計に占める自主財源の割合は、繰越金や財産収入の減の影響から44.2%となり、昨年度の45.7%から低下しました。

第5表 自主財源と依存財源

(単位:千円、%)

区 分		4年度		5年度		増減額	伸率
			構成比		構成比		
自主財源	市税	13,905,565	33.9	14,112,118	34.9	206,553	1.5
	分担金及び負担金	295,158	0.7	300,368	0.7	5,210	1.8
	使用料及び手数料	528,187	1.3	529,012	1.3	825	0.2
	財産収入	266,961	0.7	74,201	0.2	△ 192,760	△ 72.2
	寄附金	385,062	0.9	340,187	0.8	△ 44,875	△ 11.7
	繰入金	296,554	0.7	430,430	1.1	133,876	45.1
	繰越金	2,479,336	6.0	1,482,793	3.7	△ 996,543	△ 40.2
	諸収入	592,151	1.5	624,202	1.5	32,051	5.4
		18,748,974	45.7	17,893,311	44.2	△ 855,663	△ 4.6
依存財源	地方譲与税	198,648	0.5	200,199	0.5	1,551	0.8
	利子割交付金	4,613	0.0	4,212	0.0	△ 401	△ 8.7
	配当割交付金	74,482	0.2	86,849	0.2	12,367	16.6
	株式等譲渡所得割交付金	61,953	0.1	107,585	0.3	45,632	73.7
	法人事業税交付金	140,306	0.3	165,595	0.4	25,289	18.0
	地方消費税交付金	2,494,675	6.1	2,463,085	6.1	△ 31,590	△ 1.3
	環境性能割交付金	28,529	0.1	34,527	0.1	5,998	21.0
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	2,450	0.0	2,430	0.0	△ 20	△ 0.8
	地方特例交付金	127,604	0.3	118,290	0.3	△ 9,314	△ 7.3
	地方交付税	4,951,827	12.1	5,137,349	12.7	185,522	3.7
	交通安全対策特別交付金	20,693	0.1	18,690	0.0	△ 2,003	△ 9.7
	国庫支出金	10,153,577	24.7	9,912,608	24.5	△ 240,969	△ 2.4
	県支出金	3,039,700	7.4	3,269,803	8.1	230,103	7.6
	市債	979,300	2.4	1,031,500	2.6	52,200	5.3
		22,278,357	54.3	22,552,722	55.8	274,365	1.2
歳入合計		41,027,331	100.0	40,446,033	100.0	△ 581,298	△ 1.4

② 一般財源と特定財源

市の収入のうち、使い道が特定されず、どのような経費にも充てられるものを「一般財源」、使い道が特定されているものを「特定財源」と言います。歳入全体に占める「一般財源」の割合が高いほど、自主的な判断で、地域の実情に応じた独自の施策を展開できます。

本年度は、一般財源等（一般財源扱いされる財源を含む。）が5億4,990万6千円の減（△2.0%）、特定財源が3,139万2千円の減（△0.2%）となりました。

第6表 一般財源等と特定財源

(単位:千円、%)

区 分		4年度		5年度		増減額	伸率
			構成比		構成比		
一般財源等	市税	13,905,565	33.9	14,112,118	34.9	206,553	1.5
	地方譲与税	198,648	0.5	200,199	0.5	1,551	0.8
	利子割交付金	4,613	0.0	4,212	0.0	△ 401	△ 8.7
	配当割交付金	74,482	0.2	86,849	0.2	12,367	16.6
	株式等譲渡所得割交付金	61,953	0.2	107,585	0.3	45,632	73.7
	法人事業税交付金	140,306	0.3	165,595	0.4	25,289	18.0
	地方消費税交付金	2,494,675	6.1	2,463,085	6.1	△ 31,590	△ 1.3
	環境性能割交付金	28,529	0.0	34,527	0.1	5,998	21.0
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	2,450	0.0	2,430	0.0	△ 20	△ 0.8
	地方特例交付金	127,604	0.3	118,290	0.3	△ 9,314	△ 7.3
	地方交付税	4,951,827	12.1	5,137,349	12.7	185,522	3.7
	交通安全対策特別交付金	20,693	0.1	18,690	0.0	△ 2,003	△ 9.7
	分担金及び負担金	1,159	0.0	1,532	0.0	373	32.2
	使用料及び手数料	69,248	0.2	67,157	0.2	△ 2,091	△ 3.0
	国庫支出金	1,446,496	3.5	1,874,044	4.6	427,548	29.6
	県支出金	32,848	0.1	25,835	0.1	△ 7,013	△ 21.3
	財産収入	223,533	0.5	46,200	0.1	△ 177,333	△ 79.3
	寄附金	385,062	0.9	332,345	0.8	△ 52,717	△ 13.7
	繰入金	219,070	0.5	292,776	0.7	73,706	33.6
	繰越金	2,250,191	5.5	1,359,346	3.4	△ 890,845	△ 39.6
	諸収入	90,512	0.2	69,694	0.2	△ 20,818	△ 23.0
	市債	441,800	1.1	101,500	0.2	△ 340,300	△ 77.0
		27,171,264	66.2	26,621,358	65.8	△ 549,906	△ 2.0
特定財源	分担金及び負担金	293,999	0.7	298,836	0.7	4,837	1.6
	使用料及び手数料	458,939	1.1	461,855	1.2	2,916	0.6
	国庫支出金	8,707,081	21.2	8,038,564	19.9	△ 668,517	△ 7.7
	県支出金	3,006,852	7.4	3,243,968	8.0	237,116	7.9
	財産収入	43,428	0.1	28,001	0.1	△ 15,427	△ 35.5
	繰入金	77,484	0.2	137,654	0.3	60,170	77.7
	繰越金	229,145	0.6	123,447	0.3	△ 105,698	△ 46.1
	諸収入	501,639	1.2	554,508	1.4	52,869	10.5
	寄附金	0	0.0	7,842	0.0	7,842	皆増
	市債	537,500	1.3	930,000	2.3	392,500	73.0
		13,856,067	33.8	13,824,675	34.2	△ 31,392	△ 0.2
歳入合計		41,027,331	100.0	40,446,033	100.0	△ 581,298	△ 1.4

第7表は、一般財源等と特定財源をさらに自主財源と依存財源に区分したものです。地方財政の自主性を高めるためには、一般財源等のうち自主財源の割合が高いことが望まれます。

第7表 一般財源等・特定財源と自主財源・依存財源

(単位:千円、%)

区 分		4年度		5年度		増減額	伸率
			構成比		構成比		
一般財源等	自主財源	17,144,340	41.7	16,281,168	40.3	△ 863,172	△ 5.0
	依存財源	10,026,924	24.5	10,340,190	25.5	313,266	3.1
		27,171,264	66.2	26,621,358	65.8	△ 549,906	△ 2.0
特定財源	自主財源	1,604,634	3.9	1,612,143	4.0	7,509	0.5
	依存財源	12,251,433	29.9	12,212,532	30.2	△ 38,901	△ 0.3
		13,856,067	33.8	13,824,675	34.2	△ 31,392	△ 0.2
歳入合計		41,027,331	100.0	40,446,033	100.0	△ 581,298	△ 1.4

3 歳出決算の状況（一般会計）

（１） 目的別に見た歳出の主な増減内容

第8表は、どのような目的のためにいくら支出したか、という視点で歳出を分類したもので、これを基に、行政サービスの水準や行政上の特色を知ることができます。本年度は、総務費、衛生費及び諸支出金等が減少し、民生費、土木費等が増加しました。主な増減の要因は、次のとおりです。

① 総務費 （△13億6,033万2千円）

公共施設等整備基金積立金が12億4,700万円、電子計算機器等管理運営費が4億6,689万8千円、職員給与等費が1億3,507万3千円それぞれ減少しました。

② 衛生費 （△5億497万6千円）

新型コロナウイルス予防接種費が5億9,370万4千円、保健衛生総務事務費が2,604万7千円それぞれ減少しました。

③ 諸支出金 （△9,597万8千円）

普通財産整備事業費が7,590万6千円、代替地整備事業費が2,166万2千円それぞれ減少しました。

④ 民生費 （＋8億7,439万1千円）

物価等高騰支援給付金給付事業費が7億7,716万4千円、障害児通所給付事業費が2億5,220万8千円、保育所等運営事業費が2億2,359万8千円それぞれ増加しました。

⑤ 土木費 （＋5億4,486万7千円）

都市緑地保全等基金積立金が4億円、双葉市営住宅建替事業費が3億6,522万1千円それぞれ増加しました。

第8表 目的別歳出決算状況

（単位：千円、％）

款	区 分	4年度		5年度		増減額	伸率	市民一人当たり決算額(円)	
			構成比		構成比			4年度	5年度
1	議会費	259,006	0.7	254,886	0.7	△ 4,120	△ 1.6	2,303	2,279
2	総務費	5,817,757	14.7	4,457,425	11.4	△ 1,360,332	△ 23.4	51,724	39,855
3	民生費	18,859,522	47.7	19,733,913	50.5	874,391	4.6	167,673	176,448
4	衛生費	3,585,614	9.1	3,080,638	7.9	△ 504,976	△ 14.1	31,878	27,545
5	労働費	32,300	0.1	32,780	0.1	480	1.5	287	293
6	農林水産業費	65,080	0.2	80,192	0.2	15,112	23.2	579	717
7	商工費	404,860	1.0	460,710	1.2	55,850	13.8	3,599	4,119
8	土木費	2,782,424	7.0	3,327,291	8.5	544,867	19.6	24,738	29,751
9	消防費	1,033,775	2.6	1,030,372	2.6	△ 3,403	△ 0.3	9,191	9,213
10	教育費	3,899,615	9.9	3,893,620	10.0	△ 5,995	△ 0.2	34,670	34,814
11	災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
12	公債費	2,704,875	6.8	2,698,977	6.9	△ 5,898	△ 0.2	24,048	24,133
13	諸支出金	99,710	0.2	3,732	0.0	△ 95,978	△ 96.3	886	33
歳 出 合 計		39,544,538	100.0	39,054,536	100.0	△ 490,002	△ 1.2	351,576	349,200

令和5年3月31日現在 112,478 人

令和6年3月31日現在 111,840 人

(2) 性質別に見た歳出の主な増減内容

第9表は、どのような用途に経費が支出されたか、という視点で歳出を分類したもので、これを基に財政の健全性や弾力性を判断し、財政運営の指針を見出すことができます。

第9表 性質別歳出決算状況

(単位:千円、%)

区 分		4年度		5年度		増減額	伸率	市民一人当たり決算額(円)	
			構成比		構成比			4年度	5年度
義務的経費	人件費	4,394,240	11.1	4,352,519	11.1	△ 41,721	△ 0.9	39,067	38,917
	扶助費	12,412,472	31.4	13,602,210	34.8	1,189,738	9.6	110,355	121,622
	公債費	2,704,859	6.8	2,698,966	6.9	△ 5,893	△ 0.2	24,048	24,133
		19,511,571	49.3	20,653,695	52.8	1,142,124	5.9	173,470	184,672
投資的経費	普通建設事業費	3,642,967	9.2	3,721,511	9.5	78,544	2.2	32,388	33,275
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
	失業対策事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
		3,642,967	9.2	3,721,511	9.5	78,544	2.2	32,388	33,275
その他の経費	物件費	5,634,310	14.2	5,307,207	13.6	△ 327,103	△ 5.8	50,093	47,454
	維持補修費	198,641	0.5	140,746	0.4	△ 57,895	△ 29.1	1,766	1,258
	補助費等	4,626,036	11.8	3,858,623	9.9	△ 767,413	△ 16.6	41,128	34,501
	積立金	2,046,735	5.2	1,336,126	3.4	△ 710,609	△ 34.7	18,197	11,947
	投資及び出資金・貸付金	363,963	0.9	372,119	1.0	8,156	2.2	3,236	3,327
	繰出金	3,520,315	8.9	3,664,509	9.4	144,194	4.1	31,298	32,766
		16,390,000	41.5	14,679,330	37.7	△ 1,710,670	△ 10.4	145,718	131,253
歳 出 合 計		39,544,538	100.0	39,054,536	100.0	△ 490,002	△ 1.2	351,576	349,200

令和5年3月31日現在 112,478 人

令和6年3月31日現在 111,840 人

① 義務的経費 (+11億4,212万4千円)

「義務的経費」とは、その支出が義務付けられ、任意に節減することが難しい経費で、本年度は11億4,212万4千円の増となりました。主な増減の内容は次のとおりです。

人 件 費 (△0.9%)	職員数 (△2人) 退職手当 (△1億8,113万6千円)
扶 助 費 (+9.6%)	物価等高騰支援給付金給付費 (+7億5,159万円) 低所得世帯支援金給付費 (+3億1,509万円)
公 債 費 (△0.2%)	市債元利償還金 (元金償還分+397万3千円、利子償還分△986万6千円)

② 投資的経費 (+7,854万4千円)

「投資的経費」とは、その効果が施設の建設等の資本形成に向けられ、将来にわたってサービス提供の効用が市民に及ぶ経費のことで、本年度は7,854万4千円の増となりました。主な増減の内容は次のとおりです。

普通建設事業費 (+2.2%)	双葉市営住宅建替事業費 (+3億5,310万6千円) 上白水市営住宅建替事業費 (+2億6,538万8千円) 電子計算機器等管理運営事業費 (△4億6,689万8千円) 新南部工場関連周辺環境整備事業費 (△1億8,212万3千円)
--------------------	---

③ その他の経費 （△17億1,067万円）

主な増減の内容は次のとおりです。

補助費等 (△16.6%)	子ども応援給付金給付事業費（△4億9,695万円） 新型コロナウイルス予防接種事業費（△2億9,366万8千円）
積立金 (△34.7%)	公共施設等整備基金積立金（△12億4,700万円） 都市緑地保全等基金積立金（+4億円）

（３） 一部事務組合等への負担金の状況等

第10-1表は、本市が加入する一部事務組合等への負担金の支出状況を示しています。

また、第10-2表は、当該一部事務組合等の決算収支状況を示しています。

第10-1表 一部事務組合への負担金等

(単位:千円、%)

区 分	4年度	5年度	増減額	伸率	市民一人当たり決算額(円)	
					4年度	5年度
春日大野城衛生施設組合	203,291	218,637	15,346	7.5	1,807	1,955
春日・大野城・那珂川消防組合	964,036	989,250	25,214	2.6	8,571	8,845
筑慈苑施設組合	29,723	37,839	8,116	27.3	264	338
福岡県自治振興組合	484	826	342	70.7	4	7
福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合	766	766	0	0.0	7	7
筑紫自治振興組合	9,924	15,466	5,542	55.8	88	138
福岡都市圏南部環境事業組合	319,908	363,205	43,297	13.5	2,844	3,248
福岡県後期高齢者医療広域連合	1,012,372	1,071,414	59,042	5.8	9,001	9,580
春日那珂川水道企業団	60,238	69,552	9,314	15.5	536	622
合 計	2,600,742	2,766,955	166,213	6.4	23,122	24,740

令和5年3月31日現在 112,478 人

令和6年3月31日現在 111,840 人

※ 春日那珂川水道企業団への負担金には、春日那珂川水道企業団及び福岡地区水道企業団に対する出資金及び負担金を掲載しています。

第10-2表 春日市が負担金を支出している一部事務組合等の決算収支状況

(単位:千円)

区分	歳入総額 ①	歳出総額 ②	歳入歳出差引 (①-②) ③	翌年度へ繰り 越すべき財源 ④	実質収支 (③-④)
春日大野城衛生施設組合	672,641	601,046	71,595	0	71,595
春日・大野城・那珂川消防組合	2,945,426	2,909,116	36,310	0	36,310
筑慈苑施設組合	312,407	301,687	10,720	0	10,720
福岡県自治振興組合	281,554	276,368	5,186	0	5,186
福岡県市町村消防団員等 公務災害補償組合	91,070	89,232	1,838	0	1,838
筑紫自治振興組合	70,234	59,432	10,802	0	10,802
福岡都市圏南部環境事業組合	2,830,874	2,541,144	289,730	0	289,730
福岡県後期高齢者医療広域連合 ※	380,520	91,460	289,060	0	289,060

※ 福岡県後期高齢者医療広域連合の普通会計ベースの収支状況を掲載しています。

(単位:千円)

区分	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
春日那珂川水道企業団	3,149,180	2,707,255	448,888	1,462,256

(4) 特別会計等への繰出金の支出状況

第11表は、一般会計から特別会計等への繰出金の支出状況を示しています。

第11表 特別会計等への繰出金

(単位:千円、%)

会 計 区 分	4年度	5年度	増減額	伸率	市民一人当たり決算額(円)	
					4年度	5年度
国民健康保険事業特別会計	979,614	1,033,249	53,635	5.5	8,709	9,239
後期高齢者医療事業特別会計	327,434	349,053	21,619	6.6	2,911	3,121
介護保険事業特別会計	1,189,185	1,206,806	17,621	1.5	10,573	10,790
下水道事業会計	341,644	348,616	6,972	2.0	3,038	3,117
合 計	2,837,877	2,937,724	99,847	3.5	25,231	26,267

令和5年3月31日現在 112,478 人

令和6年3月31日現在 111,840 人

※ 後期高齢者医療事業特別会計への繰出金には、福岡県後期高齢者医療広域連合への負担金は含みません。

4 主な財政指標の分析

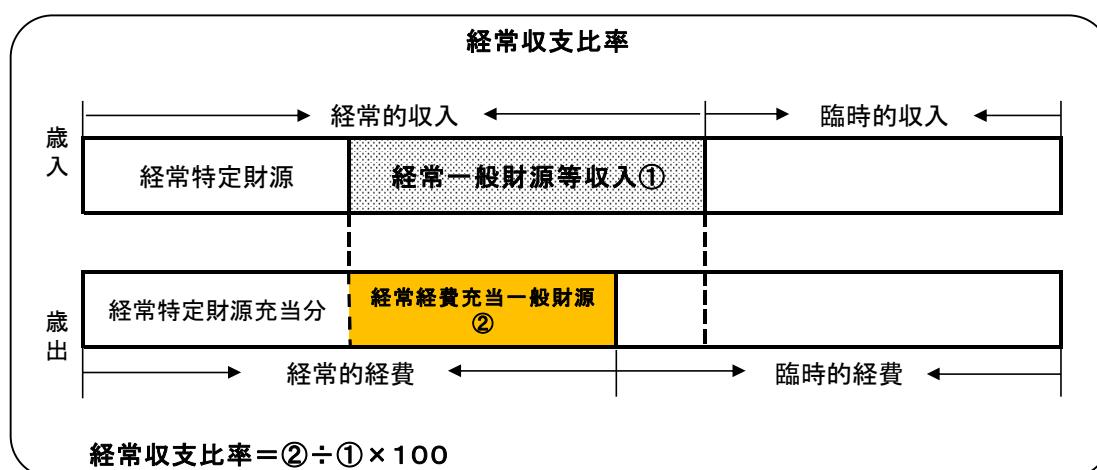
本市の財政状況を、地方財政状況調査及び財政健全化法に基づいて算定された主な財政指標を用いて説明します。

(1) 経常収支比率

令和5年度決算	88.1%
---------	-------

「経常収支比率」は、財政構造の弾力性を測定する指標のひとつで、地方税や地方交付税等毎年経常的に収入される一般財源が、人件費、扶助費及び公債費等、毎年固定的に支出される経常経費にどの程度充当されているかを表した指標です。

この比率が高くなるほど、投資的な経費等に充当できる一般財源の余裕が少なくなり、財政運営が厳しくなります。歳入と歳出の全体像と経常収支の関係は次のとおりです。



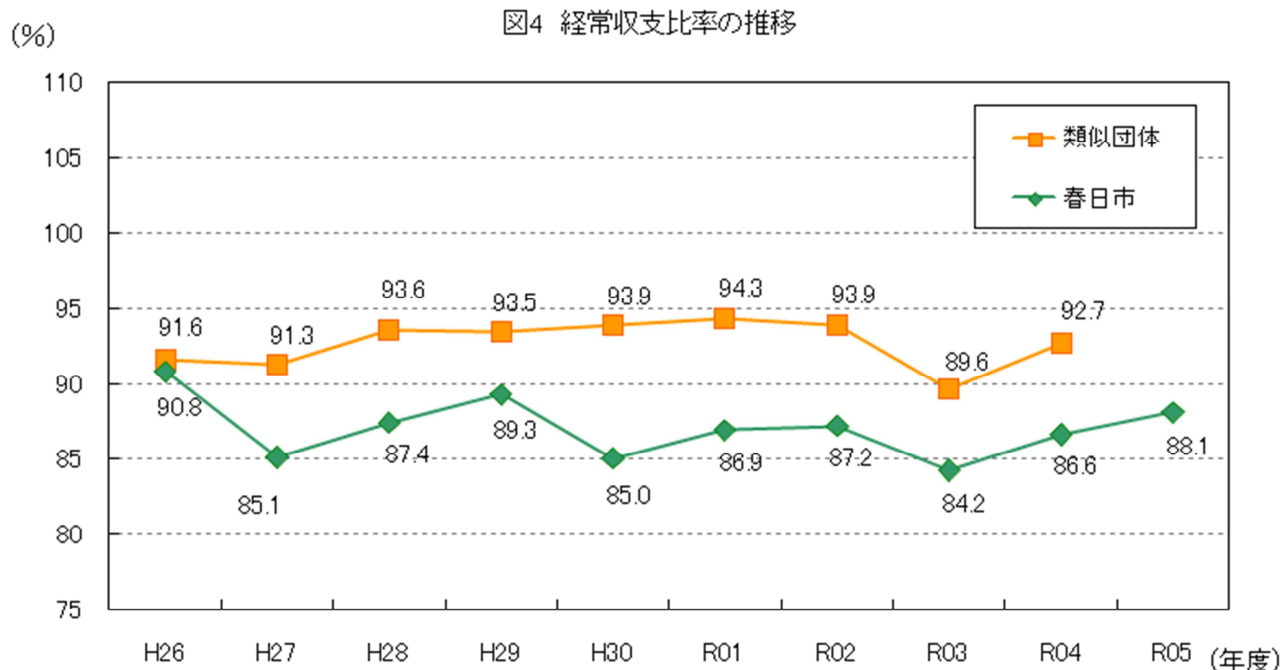
本市の経常収支比率は、物件費や繰出金等による経常的経費が増加したため、前年度に比べて1.5ポイント上昇（悪化）しました。歳入及び歳出の動きは、次のとおりです。

【歳入】経常一般財源等収入（臨時財政対策債を含む。）の増加

地方税及び地方交付税等の増があった結果、全体として経常一般財源等収入が6,119万6千円の増（+0.3%）となりました。

【歳出】経常一般財源でまかなった経常的経費の増加

障害児通所給付事業費をはじめとした扶助費の増や後期高齢者医療療養給付費負担金等の増に伴う繰出金の増があった結果、全体として経常一般財源を充当した経常的経費が3億6,710万4千円の増（+2.0%）となりました。



*1 類似団体とは、全国の市の中で人口と産業構造が類似した団体を指します。県内では飯塚市、県外では東京都武蔵野市、神奈川県海老名市、大阪府門真市等が類似団体になります。

*2 類似団体の4年度は速報値、5年度の財政状況はまだ公表されていません。

(2) 財政健全化法による4つの健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に資することを目的として、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」、の4つの「健全化判断比率」を算定し、監査委員の審査に付した上、議会に報告、公表することが義務付けられています。

それぞれの指標には、早期健全化基準及び財政再生基準が設けられています。

早期健全化基準以上の場合、財政健全化計画の策定、外部監査の要求、実施状況の議会への報告及び市民への公表が義務付けられ、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

財政再生基準以上の場合、財政再生計画を策定し、国等の強い関与の下で、財政の再生を図ることとなります。

本市の健全化判断比率は、第12表のとおりです。

第12表 健全化判断比率の状況

(単位: %)

指 標	4年度	5年度	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	—	—	12.37	20.00
連 結 実 質 赤 字 比 率	—	—	17.37	30.00
実 質 公 債 費 比 率	2.8	2.7	25.0	35.0
将 来 負 担 比 率	—	—	350.0	

① 実質赤字比率

普通会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率で、赤字の程度を指標化し、普通会計の財政運営の深刻度を示すものです。表中「－」となっているのは、「赤字がない（黒字である）」状態であることを表します。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

② 連結実質赤字比率

全ての会計を対象とした実質赤字（赤字や黒字を合算したもの）の標準財政規模に対する比率で、市の財政運営の深刻度を示すものです。こちらも「赤字がない（黒字である）」ことを示しています。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

③ 実質公債費比率

借入金の返済金及びこれに準じる負担金等の額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す指標です。一般会計から公営企業への元利償還金に対する繰出金や一部事務組合の公債費に対する負担金等の公債費類似経費等、「厳密には公債費負担ではないが、これに準じる公債費負担」を含んでいます。従来の普通会計決算では表面化しなかった借入金相当分を含むため、市の借入金の実態をよりの確に表す指標と言えます。

本年度は、前年度から 0.1 ポイント下降（改善）しました。これは、実質公債費比率が 3 か年の平均値であることから、令和 5 年度の単年度実質公債費比率が、普通交付税額や標準税収入額等の増加により減となり、令和 2 年度の単年度実質公債費比率に比べると低い数字となったことが主な要因です。

$$\text{実質公債費比率 (3か年平均)} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

④ 将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な借入金等の標準財政規模に対する比率で、現時点での残高の程度を指標化したものです。債務負担行為に基づく支出予定額や一部事務組合等の公債費への将来の負担金等も含んでおり、将来、財政を圧迫する危険性の程度を示す指標です。前年度に引き続き、本年度も「将来負担額がそれに充てることができる財源等を下回っている」として、指標は「－」で表示されています。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債残高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

【資料1】

令和5年度 市債借入目的別状況

事業名	借入額 (千円)	年利率 (%)	借入 年月日	借入先	構成比 (%)	償還期限 () 据置期間
一 般 会 計	【1,031,500】				81.7	
I 上水道事業	(34,200)				2.7	
一般会計出資債	34,200	0.650	R6.5.30	筑紫農業協同組合		15(0)
II 公営住宅建設事業	(332,300)				26.3	
市営住宅建設事業	332,300	1.000	R6.5.30	地方公共団体金融機構		15(0)
III 臨時財政対策債	(101,500)				8.0	
臨時財政対策債	101,500	0.900	R6.5.28	財政融資資金		20(2)
IV 学校教育施設等整備事業	(292,200)				23.2	
春日南中学校大規模改修事業（繰越分）	120,300	0.800	R6.3.25	財政融資資金		15(0)
中学校空調設備改修事業（繰越分）	20,400	0.500	R6.3.25			10(0)
小学校遊具改修事業（繰越分）	151,500	0.500	R6.3.25			10(0)
V 公共施設等適正管理推進事業	(68,900)				5.5	
道路ストック長寿命化補修事業	33,700	0.500	R6.3.29	福岡県市町村振興資金		10(1)
いきいきブラザエレベータ更新事業	35,200	0.700	R6.5.30	地方公共団体金融機構		10(0)
VI 公共事業等債	(113,800)				9.0	
公共事業等（連続立体交差事業）	113,800	1.000	R6.5.30	地方公共団体金融機構		15(0)
VII 緊急防災・減災事業	(88,600)				7.0	
市庁舎等改修事業	36,700	1.000	R6.5.30	地方公共団体金融機構		15(0)
特定天井改修事業	6,500	1.000	R6.5.30			15(0)
まちづくり支援センター改修事業	45,400	0.350	R6.5.30	筑紫農業協同組合		5(0)
下水道事業会計	【229,700】				18.3	
I 公共下水道事業	(176,100)				14.0	
公共下水道事業	141,400	1.200	R6.3.28	地方公共団体金融機構		25(0)
公共下水道事業（繰越分）	11,700	1.200	R6.3.28			25(0)
資本費平準化	23,000	1.000	R6.3.28			20(0)
II 流域下水道事業	(53,600)				4.3	
流域下水道事業	53,600	1.000	R6.3.25	財政融資資金		19(0)
合 計	1,261,200				100.0	

【資料2】

市債現在高の状況（普通会計）

(単位:千円、%)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年度末市債現在高(千円) A	27,227,380	27,750,067	27,286,208	25,667,500	24,097,019
歳入総額(千円) B	35,222,836	51,322,562	44,000,150	41,027,331	40,436,751
歳入総額に対する残高の割合 (A/B×100)	77.3	54.1	62.0	62.6	59.6
標準財政規模(千円) C	19,412,940	19,874,837	20,991,757	20,838,758	21,304,903
標準財政規模に対する残高の割合 (A/C×100)	140.3	139.6	130.0	123.2	113.1
歳入一般財源(千円) D	23,444,497	25,488,278	26,070,165	27,171,264	26,621,358
歳入一般財源に対する残高の割合 (A/D×100)	116.1	108.9	104.7	94.5	90.5
年度末人口(人) E	113,267	113,230	112,737	112,478	111,840
人口一人当たり市債残高(円) (A/E×1,000)	240,382	245,077	242,034	228,200	215,460

市債借入先別の状況（普通会計）

(単位:千円、%)

借 入 先	令和4年度 末現在高 (A)	令和5年度 発行額 (B)	令和5年度 償還元金額 (C)	差引現在高 (A)+(B)-(C) (D)	構成比	(D) の 利 率 別 内 訳						
						2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	4.0%以下	4.5%以下	5.0%以下	5.0%超
1 政府資金	10,564,963	393,700	1,047,564	9,911,099	41.1	9,905,017	3,962	1,699			421	
内 訳	(1) 財政融資資金	9,374,651	393,700	703,013	37.6	9,059,256	3,962	1,699			421	
	(2) 旧郵便貯金資金	289,705		97,205	0.8	192,500						
	(3) 旧簡易生命保険資金	900,607		247,346	2.7	653,261						
2 地方公共団体金融機構	4,410,961	524,500	392,397	4,543,064	18.9	4,540,626	2,438					
3 国の予算貸付・政府 関係機関貸付 (上記2を除く。)												
4 市中銀行	3,950,335		387,013	3,563,322	14.8	3,563,322						
5 その他の金融機関	6,105,682	79,600	735,158	5,450,124	22.6	5,450,124						
6 保険会社等												
7 共済等	635,559		39,849	595,710	2.5	595,710						
8 市場公募債												
9 特定資金		33,700		33,700	0.1	33,700						
合 計	(19,688,394) 25,667,500	1,031,500	2,601,981	(15,929,400) 24,097,019	100.0	24,088,499	6,400	1,699			421	
構 成 比				100.0		100.0						

※ 各年度末現在高の()内の数字は、普通交付税に算入見込の現在高

【資料3】

基金の積立の状況

(単位:千円)

基金名		令和4年度末 現在高	積立額	取崩額	令和5年度末 現在高
一般会計	財政調整基金	2,885,040	281,600	△ 279,600	2,887,040
	衛生施設等整備基金	710,680	2,000	0	712,680
	溜池保全基金	73,122	1,000	0	74,122
	公共施設等整備基金	9,268,072	578,000	0	9,846,072
	職員退職手当基金	492,331	44,077	△ 10,085	526,323
	都市緑地保全等基金	213,874	401,000	△ 40,833	574,041
	連続立体交差事業等整備基金	1,027,500	9,842	△ 82,000	955,342
	市民防災対策活動等支援基金	23,051	1,000	0	24,051
	市営住宅整備基金	142,967	1,000	0	143,967
	県施行都市計画道路事業等整備基金	2,595,800	4,000	0	2,599,800
	森林環境譲与税基金	2,624	11,758	△ 11,411	2,971
	消防施設整備基金	2,561	849	△ 3,410	0
小計		17,437,622	1,336,126	△ 427,339	18,346,409
特別会計	国民健康保険事業費納付金等支払準備基金	548,588	0	△ 60,249	488,339
	介護給付費準備基金	1,206,203	96,048	0	1,302,251
	小計	1,754,791	96,048	△ 60,249	1,790,590
定額運用基金	高額療養費支払資金貸付基金	4,000	0	0	4,000
	福祉資金貸付基金	10,000	0	0	10,000
	介護保険高額介護サービス費支払資金貸付基金	2,000	0	0	2,000
	小計	16,000	0	0	16,000
合計		19,208,413	1,432,174	△ 487,588	20,152,999

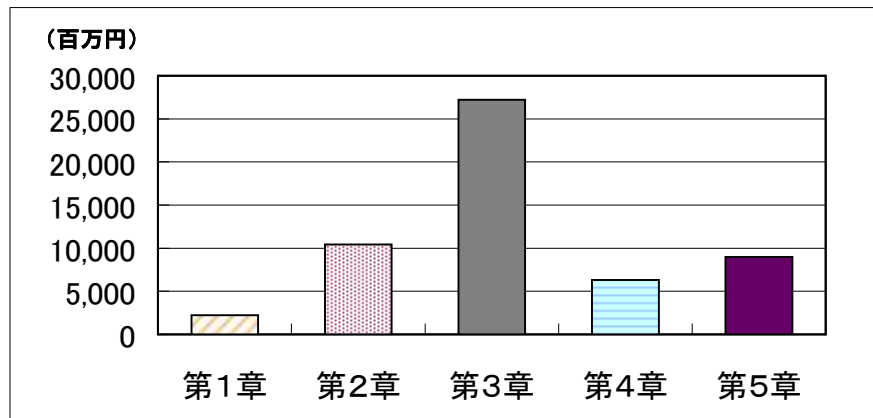
令和５年度決算の概要（普通会計）

（単位：千円）

団 体 名		春日市	R02年 国調人口	111,023	面 積	職 員 数	一般職員	うち技能労務職	教育公務員	消防職員	臨時職員	計		
類 型		Ⅲ－３	R06. 3. 31住基人口	111,840	14.15 ｋ㎡	(人)	364		2			366		
区 分		決算額	区 分	決算額	収 支 の 状 況		標 準 財 政 規 模			積立金現在高		18,346,409		
地 方 税		14,112,118	人 件 費	4,343,268	歳入総額	A	普 通 交 付 税		4,784,645	財調基金		2,887,040		
地方譲与税		200,199	うち職員給	2,993,828		40,436,751	標 準 税 収 入 額 等		16,313,773	減債基金				
利子割交付金		4,212	扶 助 費	13,602,210	歳出総額	B	臨時財政対策債発行可能額		206,485	そ の 他		15,459,369		
配当割交付金		86,849	公 債 費	2,698,966		39,045,254	計		21,304,903	地方債現在高		24,097,019		
株式等譲渡所得割交付金		107,585	元利償還金	2,698,966	歳入歳出差引額	C	税 収 入 状 況（現年課税分）			うち政府資金		9,911,099		
地方消費税交付金		2,463,085	一時借入金利子		A－B	1,391,497	調 定 済 額		14,114,895	現債高倍率（倍）		1.13		
自動車取得税交付金		1,939	(小 計)	20,644,444	翌年度へ繰り	D	収 入 済 額		14,069,437	債務負担 行 為 額 (翌年度以降 支出予定額)	物件の購入等	2,422,878		
特別地方消費税交付金			物 件 費	5,307,194	越すべき財源	221,995	徴 収 率（％）		99.7		保証又 確定			
自動車税環境性能割交付金		34,527	維持補修費	140,746	実 質 収 支	E	財 政 力 指 数 の 状 況				は補償 未定			
法人事業税交付金		165,595	補助費等	3,858,605	C－D	1,169,502	基 準 財 政 需 要 額		17,685,392		そ の 他	6,212,385		
地方特例交付金		118,290	うち一部事務組合負担金	1,629,278	単年度収支	F	基 準 財 政 収 入 額		12,901,296	実質的なもの				
地方交付税		5,137,349	繰 出 金	3,664,509		△ 115,075	財政力指数（R03-R05平均）		0.729	土地開発基金現在高				
内	普通交付税	4,784,645	積 立 金	1,336,126	積 立 金	G	公債費比率等の状況（％）			歳出決算構成比の状況（％）				
訳	特別交付税	352,704	投資及び出資金・貸付金	372,119		281,600	公 債 費 比 率		5.1	義務的経費		52.8		
一般財源（計）		22,431,748	前年度繰上充用金		繰上償還金	H	公債費負担比率		9.8	人 件 費		11.1		
交通安全対策特別交付金		18,690	投資的経費	3,721,511			起債制限比率（R03-R05平均）		4.9	公 債 費		6.9		
分担金及び負担金		325,299	うち人件費	89,491	積立金取崩し額	I	実質公債費比率	R03 年	3.1	投資的経費		9.5		
使 用 料		226,267	普通建設事業費	3,721,511		279,600		R04 年	2.7	普通建設事業費		9.5		
手 数 料		338,636	補助事業費	1,704,208	実質単年度収支	J		R05 年	2.5	うち単独事業費		4.4		
国庫支出金		9,912,608	単独事業費	1,737,776	F+G+H-I	△ 113,075		R03-R05平均	2.7	失業対策事業費				
国庫提供施設等所在市町村助成交付金		2,430	そ の 他	279,527	歳出決算倍率（倍）		そ の 他 の 指 標（％）			そ の 他		37.7		
県支出金		3,285,986	災害復旧事業費			1.83	実 質 収 支 比 率		5.5	公営事業会計等への繰出				
財産収入		74,201	失業対策事業費		経常一般財源等収入 （減収補てん債特例分及び 臨時財政対策債除く）	21,420,842	経常一般財源比率		100.5(100.1)	国民健康保険事業会計		1,033,249		
寄 附 金		340,187	歳 出 合 計	39,045,254		(21,319,342)	経 常 収 支 比 率		88.1(88.5)	後期高齢者医療事業会計		1,424,454		
繰 入 金		430,430	収 益 事 業 の 状 況		経常経費充当一般財源	18,871,729	うち人件費		17.6(17.7)	介護保険事業会計		1,206,806		
繰 越 金		1,482,793	収益事業収入				うち公債費		12.2(12.3)	下水道事業会計		348,616		
諸 収 入		535,976	標準財政規模に対する割合（％）		※ 公債費負担比率＝(13表32行11列) / [(13表38行11列)+(13表40行11列)]							健全化判断比率		
地 方 債		1,031,500	基準財政需要に対する割合（％）		経常一般財源比率＝経常一般財源等収入／標準財政規模							実質赤字比率		－
うち減収補てん債特例分					比率の欄は小数点第2位を四捨五入し、倍率の欄は小数点第3位を四捨五入する。							連結実質赤字比率		－
うち臨時財政対策債		101,500	自主財源	17,865,907	経常一般財源比率及び経常収支比率の()は、減収補てん債特例分及び臨時財政対策債を 除いたもの。							実質公債費比率（再掲）		2.7
歳 入 合 計		40,436,751	依存財源	22,570,844								将来負担比率		－

Ⅱ 歳 出

第1章	人づくり・地域づくり	2,244,604 千円
第2章	子育て・教育	10,453,602 千円
第3章	健康・福祉	27,227,954 千円
第4章	都市整備・安全安心	6,303,539 千円
第5章	行政経営	8,985,577 千円
合 計		55,215,276 千円



■ 事業の掲載基準について

第6次春日市総合計画の第3次実施計画（期間：令和5年度～）に計上された事業すべて（投資的な事業が主体）を基本としています。このため、経常的な事業については、決算額が大きくても掲載していないものがあります。

■ 章の構成について

章の構成は、第6次春日市総合計画の施策体系（事業コード）と一致しています。このため、章を構成する施策等の番号の間隔が空いているところがあります。

■ 各事業の説明について

「当初予算額」… 年度開始前に組まれる予算の額（前年度からの繰越予算額を除く）。

「最終予算額」… 当初予算額に年度途中で追加・減額する補正予算の額及び前年度からの繰越予算額等を合計した額。

「決算額」… 5年度の決算額で、正職員の人件費は含みません（補助事業の一部を除く）。ただし事業内容によっては、会計年度任用職員の人件費を含んでいる場合があります。4年度からの繰越額は含め、6年度への繰越額は含みません。

なお、事業費が0千円となっている事業は、人件費以外の費用がかかっていないことを示しています。

「総事業費」… 複数年度にまたがる事業が5年度に終了したものについて、事業開始年度から5年度までの決算額合計を（ ）書きで記載しています。

「事業期間」… 複数年度にまたがる事業のうち、5年度が終期であるものを記載しています。

「担当課」… 6年度に課名が変更になった課については、新たな課名を記載し旧課名は下の行に（ ）書きで記載しています。

■ 記事中の表現等について

「令和」… 特別な固有名詞に含まれる場合を除き、「令和」は省略しています。

「春日市」… 特別な固有名詞に含まれる場合を除き、「本市」と表記しています。

「本年度」… 事業の実施年度である令和5年度を示しています。

「L」… 工事成果における長さを示しています。

「W」… 工事成果における幅を示しています。

「A」… 工事成果における面積を示しています。

「V」… 工事成果における体積または容積を示しています。

「N」… 工事成果における個数を示しています。

第1章 人づくり・地域づくり

(単位：千円)

施 策 区 分	施 策	決 算 額	ページ
0 人づくり・地域づくり 総務	00 -	80	
1 協働のまちづくりの推進	00 協働のまちづくりの推進 総務	60,543	24
	10 地域コミュニティ活動の活性化	366,042	25
	20 市民公益活動の活性化	122,196	28
2 まちの魅力発信	10 シティプロモーションの推進	0	
	20 効果的な情報発信	49,399	29
	30 双方向の情報共有	103	
3 多様な学びの支援	00 多様な学びの支援 総務	3,396	
	10 多様な学びの機会の情報提供	0	
	20 つながりを深める学びの環境づくり	38,143	30
	30 図書館活用の推進	124,233	32
4 文化芸術の振興	00 文化芸術の振興 総務	862	
	10 文化芸術に親しむ機会の提供	317,140	33
	20 市民の文化芸術活動の支援	11,634	35
5 スポーツ・運動の推進	00 スポーツ・運動の推進 総務	4,410	
	10 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	16,386	36
	20 スポーツ活動をささえる環境の充実	409,331	37
	30 地域スポーツ活動の推進	2,488	
6 文化財の保存・活用	00 文化財の保存・活用 総務	14,537	39
	10 文化財の記録・保存	93,042	40
	20 文化財の整備・活用	109,284	
7 産業の振興	10 商工業の活性化	437,620	42
	20 農地の活用	62,260	44
9 その他 人づくり・地域づくり	00 -	1,475	44
小 計		2,244,604	

※ 章の構成は、第6次春日市総合計画の施策体系（事業コード）と一致しています。

※ 会計間で重複する支出については、決算額から一方を控除しています。

※ ページ番号があるものは、主な事業内容を掲載しています。

予算科目
施策体系
担当課

2款1項1目
1-1-00
地域づくり課

施策の概要及び成果

あんどん祭り補助金

当初予算額

11, 144 千円

最終予算額

11, 144 千円

決算額

11, 144 千円

【目的】

市民祭り振興会が、古人の暮らしの光であったあんどんを会場内に灯して古人を偲び、市民自らが参加し楽しむ祭りを実施することにより、市民の融和と郷土愛を深める。

【内容】

「春日奴国あんどん祭り」を主催する春日市民祭り振興会に対し、運営経費の一部について補助を行いました。
オープニングセレモニーでは、大噴水のライトアップと市内小中学校の児童生徒や市民団体が製作した約5,000個のあんどんに火が灯る中、オカリナ奏者による演奏の他、市民ライブ演奏が行われました。
2日目は、午前から商工展や市民芸能ステージが行われました。

開催日

5年10月14日～10月15日

開催場所

春日公園

内容

1

オープニングセレモニー

2

市民ライブ演奏

3

あんどん点灯・ライトアップ

4

商工展

5

市民芸能ステージ

<来場者数の推移>

(単位：人)

年度

元年度

4年度

5年度

来場者数

84, 000

65, 000

140, 000

※2年度～3年度は中止。
※来場者数は春日市民祭り振興会発表による。

【成果】

4年ぶりの通常開催となり、市民団体や企業、ボランティアの協力のもと、過去最高の14万人が来場しました。
また、祭りの実施を市民参加型とすることで、市民相互のふれあいによる連帯感の深化と地域文化の向上及び経済の活性化を図りました。

2款1項1目
1-1-00
経営企画課

市中央部市民活動交流拠点整備事業

当初予算額

20, 953 千円

最終予算額

67, 349 千円

決算額

49, 399 千円

【目的】

第2次春日市都市計画マスタープラン及び春日市立地適正化計画等に基づき、市中央部エリア（大谷地区の総合スポーツセンター、ふれあい文化センター周辺）に、市内の福祉施設等を移転集約し、新たな機能を付加した複合施設を整備するとともに、同エリアの様々な改修を通じて、誰もが行きやすく、行きたくなる拠点とすることで、市民活動・交流のさらなる活性化に寄与する。

2款1項1目 1-1-00	あんどん祭り補助金
------------------	-----------

決算額	11,144 千円
-----	-----------

【内容】

2日目は、午前から商工展や市民芸能ステージが行われました。

＜来場者数の推移＞

※2年度～3年度は中止。

【成果】

また、祭りの実施を市民参加型とすることで、市民相互のふれあいによる連帯感の深化と地域文化の向上及び経済の活性化を図りました。

当初予算額 20,953 千円 最終予算額 67,349 千円

【目的】

【内容】

- 1 春日市中央部市民活動交流拠点複合施設基本構想及び土地利用基本構想策定業務
 新たな複合施設と中央部エリアの土地利用について、事業の方針や建物配置等を定める基本構想の策定作業を前年度に引き続き進めました。
 5年5月に公表した第1版をたたき台にして、周辺住民説明会、事業者サウンディング、様々な関係者との意見交換で出された意見等を参考にし、5年12月には、基本構想としての内容をほぼ確定させた第2版を作成し公表しました。その後、6年3月には一部の記載内容を詳細にした最終版を策定し、6年4月に公表しました。
 <基本構想の主な掲載事項>
 - (1) 中央部エリア基本構想（整備方針、機能配置方針、市中央部エリアへの交通利便性の確保等）
 - (2) 複合施設基本構想（地域共生社会の拠点施設としての機能、新機能、災害時の機能、建物配置及びイメージパース等）
 - (3) 事業スケジュール、事業費試算、事業手法、跡地活用方策
- 2 仮設バスセンター設計業務
 基本構想で定めた複合施設の建設予定地（旧大谷ふれあい公園）には、コミュニティバスセンターが立地しています。複合施設の建設工事期間中にコミュニティバスの運行に支障が生じないように、仮設バスセンターを設置するとともに、複合施設の建設着工前に現行のバスセンターを解体する必要があるため、これらの工事に係る設計業務に着手しました。
- 3 （仮称）春日市中央部市民活動交流拠点複合施設及び周辺整備工事基本設計等業務
 基本構想第2版に基づき、10年度の事業完了に向け、複合施設や中央部エリア内の改修に係る基本設計等に着手しました。
- 4 中央部エリア測量業務
 基本構想策定の次の段階として、翌年度にかけて基本設計の策定が予定されており、複合施設の建設予定地及び隣接するふれあい文化センターの建設敷地について、正確な形状や地積等を把握するため、測量を実施しました。また、建設予定地と道路との境界が筆界未定となっていた場所について、分筆測量により境界を確定しました。

【成果】

新たな複合施設と中央部エリアの土地利用について、基本構想を策定したことで、事業方針、機能配置、スケジュール等を明らかにし、策定過程において、周辺住民や関係者との意見交換を重ねたことで、今後の円滑な事業の推進に寄与しました。
 また、基本構想第2版の策定後、仮設バスセンター設計業務と（仮称）春日市中央部市民活動交流拠点複合施設及び周辺整備工事基本設計等業務に並行して着手したことで、事業の早期完了に寄与しました。
 さらに、中央部エリア測量業務の実施により、複合施設の建設予定地等の正確な形状や地積等が把握でき、基本設計等の適切な実施に寄与するとともに、筆界未定地を解消することで、後年度の開発許可申請の円滑な処理に寄与しました。

2款1項1目
1-1-10
地域づくり課

まちづくり交付金

当初予算額 111,809 千円 最終予算額 111,809 千円

決算額 111,808 千円

【目的】

まちづくり交付金を自治会に交付することで、住民による主体的なまちづくり活動を促進し、住民の連帯意識の向上及び地域コミュニティの活性化を図る。

	【内容】 35の自治会に対し、自治会の運営及び次の事業に要する費用の一部について「春日市まちづくり交付金交付要綱」に基づき、まちづくり交付金を交付しました。 ＜自治会が実施している事業項目＞ 1 広報並びに情報の提供及び収集 2 保健及び健康づくり 3 福祉 4 子育て支援 5 ごみの減量及び環境美化 6 防犯、防災その他住民の安全 7 生涯学習の推進 8 青少年の健全育成 9 住民のふれあいの場の創出 10 男女共同参画の推進 【成果】 地域の特性に合わせた事業実施により、住民による主体的なまちづくり活動が促進され、共助意識の醸成、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地区公民館等の円滑な管理運営を行うことができました。
2款1項1目 1-1-10 地域づくり課	自治会連合会補助金 当初予算額3,950 千円 最終予算額3,950 千円 決算額3,950 千円 【目的】 自治会連合会に補助金を交付することにより、自治会間の連携、協力体制の強化を図り、住民自治の確立及び市民が心豊かな暮らしを実感することができる地域コミュニティの形成を目指す。 【内容】 自治会連合会が実施する次の事業に要する費用の一部について、「春日市自治会連合会補助金交付要綱」に基づき、補助金を交付しました。 ＜自治会連合会が実施している事業項目＞ 1 自治会連合会の運営 2 自治会連合会を組織する自治会が共同して取り組む事業 3 自治会連合会を組織する自治会の役員及び事務員等の研修 【成果】 自治会が共同して取り組む春と秋のクリーン作戦や校区別研修事業、ふれあい事業等を実施することで、住民自治の意識の向上が見られました。また、自治会連合会を主体とした毎月の自治会長会や自治会運営に関する実務者研修事業等を実施することで、広域的な地域コミュニティの活性化を図ることができ、自治会連合会を円滑に運営する一助となりました。
10款4項5目 1-1-10 地域づくり課	地区公民館等施設空調設備更新事業 当初予算額5,000 千円 最終予算額5,000 千円 決算額4,708 千円 【目的】 各地区公民館等施設の老朽化した空調設備を更新し、施設管理者及び利用者に対する利便性の向上を図るため、計画的に更新する。

【内容】

施設	上白水地区公民館	春日原南共同利用施設	千歳町共同利用施設
設置場所	上白水6丁目77番地	春日原南町4丁目52番地2	千歳町3丁目32番地1
更新か所	1階 事務室1基、ホール2基	1階 実習室1基	1階 事務室1基
工事期間	6年1月16日～6年3月12日		

【成果】

空調設備の更新により、公民館の利用者への安心・快適な施設利用を提供することができ、市民への利便性を高めることができました。

10款4項5目
1-1-10
地域づくり課

泉地区公民館施設整備事業

当初予算額 99,478 千円 最終予算額 102,091 千円

決算額 102,080 千円 総事業費 (106,512 千円) 【事業期間】 4年度～5年度

【目的】

泉地区自治会の活動拠点である地区公民館施設を大規模改修し、施設の長寿命化やバリアフリー化を行い、自治会活動及び地域コミュニティの活性化を図る。

【内容】

工事 期 間	建築主体 工事	5年7月26日～6年3月22日
	電気空調 設備工事	5年8月1日～6年3月22日
設置か所		泉2丁目4番地
構造		鉄筋コンクリート造 平屋建て
敷地面積		1348.78㎡
延べ床面積		339.93㎡
主な 改修 内容	1階	多目的トイレ新設、男女トイレ改修、集会室倉庫拡張、会議室改修、事務室拡張、実習室の拡張、図書室改修（木質化）、和室洋室化、各諸室の天井・壁・床改修
	屋外	スロープ改修、集会室前にテラス新設、福祉駐車場整備、駐車場改修、濡れ縁改修、外構改修、フェンス更新
	その他	屋根防水改修、LED照明及び空調機の改修

【成果】

地域住民のための集会、交流及び生涯学習の場が改善されたことで、より活発な自治会活動が行われるようになりました。また、森林環境譲与税事業による木質化工事を行ったことで、国産木材による木のぬくもりが実感できる諸室も整備され、快適性が向上しました。

10款4項5目
1-1-13
1-1-10
地域づくり課

弥生コミュニティ供用施設施設整備事業

当初予算額 131,436 千円 最終予算額 128,726 千円

決算額 110,043 千円 総事業費 (114,886 千円) 【事業期間】 4年度～5年度

【目的】

弥生地区自治会の活動拠点である地区公民館施設を大規模改修し、施設の長寿命化やバリアフリー化を行うことで、自治会活動及び地域コミュニティの活性化を図る。

【内容】

工事期間	建築主体工事	5年6月13日～6年2月16日
	電気空調設備工事	5年6月16日～6年2月16日
設置場所		弥生7丁目50番地
構造		鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 2階建て
敷地面積		1088.00㎡
延べ床面積		499.62㎡
主な改修内容	1階	学習室拡張、和室改修（木質化）、多目的トイレ新設、男女トイレ改修、授乳室新設、こどものへや新設（木質化）、廊下段差解消（屋内スロープ整備）、事務室改修（給湯室設置）、調理室拡張、各諸室の天井・壁・床改修
	2階	トイレ改修増設、洗面台新設、集会室改修、学習室改修
	屋外	福祉駐車場整備、点字ブロック改修、掲揚ポールを2階バルコニーへ移設
	その他	屋根防水改修、外壁塗装改修、LED照明及び空調機改修、外用時計新設

【成果】

地域住民のための集会、交流及び生涯学習の場が改善されたことで、より活発な自治会活動が行われるようになりました。また、森林環境譲与税事業による木質化工事を行ったことで、国産木材による木のぬくもりが実感できる諸室も整備され、快適性が向上しました。

2款1項1目
1-1-20
地域づくり課

市民活動活性化事業補助金

当初予算額 960 千円 最終予算額 380 千円

決算額 375 千円

【目的】

市民公益活動を行う団体の育成及び市民公益活動の活性化を図ることにより、豊かな地域社会の実現を目指す。

【内容】

自発的に公益的な活動を行う市民団体に対し、次の事業に要する経費の一部について補助金を交付しました。

団体名	内 容
ColorFul-HappyFull	事業名：「人生前向きプロジェクト」 人生を悲観的に捉える人に向けて、講師の体験を元にした、前向きに生きるための考え方を伝えるための講演会を実施。延べ140人が参加。
HARUHI base	事業名：「性教育講座」 子どもの成長や年齢の変化に対応するため、個に寄り添った性教育を目的に講座を実施。延べ62人が参加。
天神山小学校友の会（通称：天友会）	事業名：「納涼！天友会3rd. 夏フェス」 市民の横の繋がり（絆）を育むことを目的に、子どもから大人まで市民が自由に参加できる仮装パーティーの要素を取り入れたフェス（夏祭り）を開催。
春日おやじネットワーク	事業名：「おやじ縁日2023」 普段、各小学校単位で活動している「おやじの会」の交流を図るとともに、複数の団体と協働し、市内で同日に複数イベントを開催。

	【成果】 対象となる団体に補助金を交付することで、市民公益活動の活性化に寄与しました。			
2款1項1目 1-1-20 地域づくり課	まちづくり支援センター耐震補強改修事業			
当初予算額 5,797 千円 最終予算額 115,515 千円				
決算額 115,399 千円		総事業費（ 117,413 千円）	【事業期間】 4年度～ 5年度	
【目的】 春日まちづくり支援センターの耐震補強等工事による、施設の耐震化、長寿命化及びバリアフリー化を行うことで更なる市民活動の活性化を図る。				
【内容】				
事期	建築主体工事	5年10月25日～6年3月26日		
	電気空調設備工事	5年 8月11日～6年3月 1日		
	設置場所	須玖北5丁目155番地		
	構造	鉄骨造 2階建て		
	敷地面積	1716.49㎡		
	延べ床面積	496.26㎡		
	主な改修内容	1階	天井・壁耐震改修、渡り廊下庇更新、調理室改修（乾式化）、多目的トイレ設置、男女トイレ改修、授乳室新設、ミニキッチン拡張及び改修	
		2階	天井・壁耐震改修、シャワー室改修、トイレ改修、D室改修（洋室化）、洗面室新設、流し台更新	
		屋外	点字ブロック新設、スロープ設置、福祉駐車場整備、老朽化フェンス撤去、入口拡張（門扉撤去）	
その他		屋根葺き替え、外壁改修、LED照明及び空調機改修、換気扇更新、給湯器更新、火災報知器更新、施設シンボル残存		
【成果】 耐震補強等工事により、これまで以上に安心して快適な施設を提供することができ、利用者の利便性が向上し、より活発な市民公益活動への支援を行うことができるようになりました。				
2款1項2目 1-2-20 秘書広報課	市政広報事業			
当初予算額 57,813 千円 最終予算額 53,442 千円				
決算額 50,012 千円				
【目的】 市政情報や市の魅力、生活情報等を提供することにより、市民の暮らしの利便性を高めると共に、郷土愛の醸成を図る。				
【内容】				
1 市報、市ウェブサイトによる情報発信 市政情報や市の魅力、暮らしの情報等を、市報や市ウェブサイトで発信しました。				
市報	発行部数	1,226,600部		
	配布（個別配布）部数	1,197,272部		
市ウェブサイト	ユーザー数	883,460件		
	ページビュー数	3,737,814件		

2 春日市プロモーション事業
夢に向かって頑張る、あるいは夢を実現した市民や市にゆかりがある人物を紹介する「KASUGA DREAM」を、市報等で年間2人紹介しました。
この他、前年度に発行した市民目線で市の魅力を紹介する冊子「Kasuga」をこれまでの販路だけでなく、イベント等でも販売、頒布しました。
さらに、市民目線で市の魅力を市内外に紹介するため、市民で構成される「かすがカメラ部」の部員が撮影した写真をInstagramで年61回投稿しました。また、撮影した写真をまとめたフォトブックを350部制作し、市内の公共施設や飲食店、市役所窓口等で配布しました。

3 SNSによる情報発信
春日市広報X(旧Twitter)により、市内で開催するイベントの様子や市政情報等を発信しました。（本年度投稿数：50件、「いいね」数合計：339）

【成果】
積極的な情報発信により、本市の施策やイベント情報、身近な生活情報等を提供し、市民の暮らしの利便性向上を図ることができました。
冊子「Kasuga」の実売部数は約1,200冊で、販売を開始した前年度から累計で約2,800冊販売し、本市の魅力を市内外に広く紹介しました。
また、「かすがカメラ部」Instagramアカウントは、フォロワー数約300、いいね数約1,830でした。5月1日～7日にかけてアクロス福岡のコミュニケーションスペースで「かすがカメラ部写真展」を開催し、市民活動の紹介及び本市の魅力の認知拡大を図ることができました。

10款4項1目
1-3-20
文化スポーツ課

星の館管理運営事業

当初予算額 12,544 千円 最終予算額 12,468 千円

決算額 12,310 千円

【目的】
天文観測施設を活用した事業の実施により、青少年の健全育成及び市民の生涯学習の推進を図る。

【内容】
施設の運営を天文に関する専門的知識を有する事業者へ委託し、施設を有効に活用した事業及び施設管理を行いました。
通常開館時には天体・天文現象の観望会及び天文に関連した工作教室や学習会等を実施し、流星群等の天体現象の発生時には特別開館を行いました。
また、天体への興味関心を高めるため、ボランティア勉強会や子どもの星や宇宙への関心を深めるための「星空クラブ」等を実施しました。

<施設概要>

開館日	毎週金曜日～日曜日（12月28日～1月4日を除く）
開館時間	午後2時～午後9時（6月1日～9月15日は午後9時30分まで）
入館料	無料

<来場者の推移>

	3年度	4年度	5年度
来館日数	143日	162日	172日
来館者数	8,701人	10,767人	11,193人

<主な観望会>

開館日	観望会	来館者数(人)
8月13日	ペルセウス座流星群	231人
9月29日	中秋の名月	406人

<ボランティア>

登録者数	62人（うち市内居住者29人）（6年3月末）
募集	随時
勉強会等	勉強会5回、定例会月1回

<星空クラブ>

対 象	小学4年生～中学3年生
募 集	年2回実施
参加者数	第24期（13人）、第25期（10人）

【成果】

月例観望会に加え、工作教室等、多様な事業を実施し、青少年の健全育成及び市民の生涯学習の推進に寄与しました。また、天体に興味のあるボランティアを募り、勉強会を適宜行いました。参加者は受講後に学びを活かして、天文指導員とともに来館者へ楽しくわかりやすい説明を行い、子どもから大人まで多くの利用者に星や宇宙に親しむ機会を提供することができました。

年間を通して事業を円滑に運営し、多くの来館者に感動を与えました。

10款4項1目
1-3-20
地域教育課

二十歳のつどい事業

当初予算額 2,703 千円 最終予算額 2,402 千円

決算額 1,987 千円

【目的】

20歳の新たな出発を祝うことで、大人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする若者の後押しを行う。

【内容】

開催日	6年1月8日（成人の日）
開催場所	クローバープラザ アリーナ棟 大ホール
対象者数	1,242人（平成15年4月2日～平成16年4月1日生）
参加者数	950人
内容	1 式典 2 アトラクション ・20年間の思い出ムービー ・抽選会 ・中学校別恩師からのビデオメッセージ
運営方法	20歳を中心とした実行委員会形式
実行委員	5人
企画・運営	記念品（名刺入れ）の選定・デザイン作成、アトラクションの企画、当日の式典進行等（計11回の会議実施）

【成果】

- 20歳を迎える人が式典に参加することで、大人としての自覚を持ち、これから社会に参画することを意識する機会を提供することができました。
- 20歳を中心とした実行委員が、式典の企画から当日の運営まで責任を持って行うことで、社会に参画することを意識する契機となり、実行委員に自身の成長を実感する場を提供することができました。
- 実行委員会において、人権について学ぶ機会を設けることにより、実行委員の人権意識を高めることができました。また、式典当日、学習内容をまとめた情報を式典パンフレットに掲載することで、広く啓発を行うことができました。

10款5項2目
1-3-20
文化スポーツ課

小学校屋外運動場照明施設整備事業

当初予算額 19,992 千円 最終予算額 15,180 千円

決算額 15,180 千円

【目的】

学校開放によるスポーツ環境の充実を図るため、屋外照明灯未設置の小学校に簡易照明を設置し、各小学校校庭において夕暮れ時でも安全にスポーツの練習ができる環境を整備する。

【内容】
＜工事＞

実施校	工事期間
春日野小学校、日の出小学校、白水小学校	5年5月22日 ～ 9月29日

【成果】

春日野小学校、日の出小学校、白水小学校の校庭において、夕暮れ時でも安全にスポーツが実施できる環境が整備されました。
また、これにより全ての小学校のグラウンドに屋外照明灯の設置が完了しました。

10款4項7目
1-3-30
文化スポーツ課

市民図書館指定管理事業

当初予算額 119,000 千円 最終予算額 119,000 千円

決算額 119,000 千円

【目的】

本市が管理する市民図書館に指定管理者制度を導入することで、利用者の利便性の向上及び管理運営の効率化を図る。

【内容】

平成30年4月から指定管理者「株式会社図書館流通センター」による市民図書館の運営を開始しました。既存事業を継承しつつ、民間事業者の専門的な知識と経験を活かした図書館の安定的な運営が行われました。

＜市民図書館運営状況＞

	3年度	4年度	5年度
来館者数	364,007人	412,549人	502,983人
新規登録者数	2,506人	2,709人	2,886人
登録者数	50,454人	53,924人	57,500人
貸出者数	157,243人	159,916人	185,247人
貸出冊数	735,439冊	747,920冊	853,345冊
移動図書館貸出者数	8,088人	8,571人	8,232人
移動図書館貸出冊数	37,350冊	38,681冊	36,498冊
予約・リクエスト件数	72,740件	71,009件	80,802件
調査・相談・案内件数	8,836件	12,484件	27,770件
年間資料受入冊数	9,533冊	12,859冊	12,411冊
除籍冊数	6,040冊	9,844冊	10,961冊
蔵書数（年度末）	346,934冊	349,949冊	351,399冊

＜本年度新規事業＞

デジタルライブラリーマガジン（雑誌読み放題サービス）開始	6年5月現在、約200タイトルの雑誌が閲覧できます。図書館で購入していないものやバックナンバーの閲覧も可能で、多くの利用者の要望に答えることができました。
図書館ウェブサイトからのレファレンス受付開始	春日市教育振興基本計画第3-3[3]③誰もが図書館サービスを受けられる環境整備の実現を目指し、6年1月からサービスを開始しました。今後はさらなるサービス周知を行っていきます。

※レファレンスサービス…調べものや資料を探したりすることを図書館がサポートするサービス

【成果】

11月に実施した図書館利用者アンケートの結果は、利用者満足度、総合的な評価ともに高い数値となっています。

<利用者アンケート>

利用者満足度	満足・どちらかといえば満足 96.1% どちらかといえば不満・不満 3.9%
総合的な評価	良い・まあまあ良い 97.2% あまり良くない・良くない 2.8%

対象：市民図書館利用者 回答数：1,101人

10款4項3目
1-4-10
文化スポーツ課

ふれあい文化センター指定管理事業

当初予算額 191,731 千円 最終予算額 191,856 千円

決算額 191,831 千円

【目的】

ふれあい文化センターに指定管理者制度を導入することで、利用者の利便性の向上及び管理運営の効率化を図る。

【内容】

指定管理者「トールツリーグループ」により、ふれあい文化センターの施設全般の管理運営を行いました。

		3年度	4年度	5年度
サンホール	使用可能日数	212日	290日	295日
	使用日	79日	153日	155日
	利用率	37.3%	52.8%	52.5%
	利用者数	7,460人	14,387人	18,405人
スプリングホール	使用可能日数	214日	253日	280日
	使用日	135日	155日	153日
	利用率	63.1%	61.3%	54.6%
	利用者数	22,275人	29,013人	30,631人
諸室	使用可能日数	6,419日	7,919日	7,582日
	使用日	4,356日	5,643日	5,585日
	利用率	67.9%	71.3%	73.7%
	利用者数	86,373人	120,678人	139,952人
年間利用者数		116,108人	164,078人	188,988人

※利用率（＝使用日数/使用可能日数）

【成果】

アウトリーチコンサートとして外部に出向く事業、一流アーティスト・著名人を招聘したコンサートや講演会、障がい者団体による展示会等、ジャンルにとらわれない多彩な事業を実施し、多くの市民へ様々な文化芸術に触れる機会を提供することができました。

10款4項3目
1-4-10
文化スポーツ課

ふれあい文化センター新館エレベータ更新事業

当初予算額 21,450 千円 最終予算額 21,450 千円

決算額 21,450 千円

総事業費（ 50,050 千円）

【事業期間】

4年度～5年度

【目的】

老朽化した施設等の改修を行うことで、利用者の安全確保及び利便性の向上を促すとともに、安定的な施設運営を継続する。

【内容】

ふれあい文化センター2号機エレベータ（荷物用）の取替工事を実施しました。

事業期間 4年7月～5年7月

	【成果】 2号機エレベータ（荷物用）を更新したことで、危害防止装置が施された設備となり、安全を確保することができました。				
10款4項3目 1-4-10 文化スポーツ課	ふれあい文化センタースプリングホール舞台照明設備更新事業 当初予算額 97,680 千円 最終予算額 68,200 千円 決算額 68,200 千円 【目的】 老朽化した施設等の改修を行うことで、利用者の安全確保及び利便性の向上を促すとともに、安定的な施設運営を継続する。 【内容】 スプリングホールの舞台照明設備のうち、調光操作卓及び照明器盤等の更新を行うため、部品等の調達及び製作を行いました。 <table border="1"> <tr> <td>期間</td><td>5年9月～6年3月</td></tr> <tr> <td>主な内容</td><td>部品発注及び機器製作</td></tr> </table> ※なお、取替工事は6年度に実施予定です。 【成果】 調光操作卓及び照明器盤等の機器及び部品発注及び製作が完了したため、翌年度に予定している更新工事の準備が整いました。	期間	5年9月～6年3月	主な内容	部品発注及び機器製作
期間	5年9月～6年3月				
主な内容	部品発注及び機器製作				
10款4項3目 1-4-10 文化スポーツ課	ふれあい文化センター特定天井改修事業 当初予算額 9,966 千円 最終予算額 9,966 千円 決算額 6,565 千円 【目的】 老朽化した施設等の改修を行うことで、利用者の安全確保及び利便性の向上を促すとともに、安定的な施設運営を継続する。 【内容】 6年度から7年度に実施するふれあい文化センター（サンホール、スプリングホール及びギャラリー）の特定天井改修工事の設計を行いました。 【成果】 現地調査により、ホールの現状や適正な改修工法について確認することができました。				
10款4項3目 1-4-10 文化スポーツ課	図書館内エレベータ及び小荷物専用昇降機更新事業 当初予算額 29,704 千円 最終予算額 23,973 千円 決算額 20,911 千円 【目的】 老朽化した施設等の改修を行うことで、利用者の安全確保及び利便性の向上を促すとともに、安定的な施設運営を継続する。 【内容】 ふれあい文化センター3号機（図書館内エレベータ）及び4号機（小荷物専用昇降機）の更新を行いました。 【成果】 3号機及び4号機を更新したことで、機器の安全性が高まり、安全に書物の運搬を行うことができるようになりました。				

弥生の里児童画大賞展

当初予算額 3,125 千円 最終予算額 2,863 千円

決算額 2,628 千円

【目的】

絵を描くことを通じて、子どもたちの豊かな感性と、個々の独自性を育むとともに、秀でた作品を表彰することによって、子どもたちの自尊感情と向上心を培う。
また、入賞、入選作品を展示し、大賞作品を表示板にして、市内に設置することにより、市民に児童画を身近に感じてもらうとともに、心の潤いを提供する。

【内容】

テーマ	わたしたちの未来～自由に描こう、思いのままに～		
募集対象	福岡県内の小学生		
募集期間	5年7月11日～9月15日		
応募総数	2,182点	入賞	47点（うち市内17点）
		入選	237点（うち市内92点）
審査委員	光行洋子（洋画家）		
	中原成子（日本画家）		
	北村直登（画家）		
授賞式	5年12月9日 ふれあい文化センターサンホール		
展示会	5年12月7日～12月17日 ふれあい文化センターギャラリー		
まちかど ギャラリー 設置数	1か所（平成4年度以降の合計 81か所）		

＜市内小学校在籍児童の出品数等の推移＞

年度	3年度	4年度	5年度
応募総数	3,547	2,819	2,182
うち市内小 学校在籍児童分	1,446 (41%)	1,060 (38%)	936 (43%)
入賞・入選者数	277	233	284
うち市内小 学校在籍児童分	107 (39%)	103 (44%)	109 (38%)

※表中（ ）内は全体における市内小学校在籍児童の割合

【成果】

コロナ禍がようやく収束に向かう中、長く続いた閉塞感を払拭し、子どもたちが自らの想像力で描き、自己表現する力を養うという児童画大賞展本来の趣旨に立ち返るため、未来志向のテーマとしました。その結果、色彩豊かでいきいきと表現された作品が多数集まりました。

授賞式では、多くの児童が受賞する喜びを味わうことができた他、展示会にも多くの来場者があり、「未来を感じる作品ばかりで、とても感動した」等多くの感想が寄せられました。

また、子どもたちに絵画への親しみを持ってもらうため、弥生の里ワークアートショップを開催し、その作品は、11月3日から12月17日までふれあいプラザで展示しました。

自主文化事業

当初予算額 14,241 千円 最終予算額 12,175 千円

決算額 11,634 千円

【目的】

世代を問わず、多くの市民が多種多様な文化芸術に触れて、文化芸術活動が普及するよう、魅力ある文化芸術を振興する。

【内容】

本市主催の文化事業として、以下のとおり実施しました。

事業名			実施日	来場者数（人）
第50回春日市文化祭			11月3、4日	8,053
※うち、 第50回 記念事業	岩崎大輔ジャズピアノコンサート		11月4日	121
	ふれあい プラザ ミニステー ジ	春日高校書道部・箏曲部パフォーマンス	11月3日	105
		ふれぶんフリーステージ「紙芝居」	11月4日	140
		少年少女合唱団ミニコンサート	11月4日	134

※春日市文化祭の来場者数（8,053人）の中に、第50回記念行事の来場者数含む。

事業名		実施日、回数等	来場者数（人）
春日市少年少女合唱団第26回定期演奏会		4月30日	373
音楽の玉手箱	小学校音楽体験教室	9件	1,052
	デリバリーコンサート	7件	901
	PRコンサート	4件	216

【成果】

1 春日市文化祭

作品展示や芸能発表会等、日ごろの文化芸術の発表の機会を提供しました。また、第50回を記念して、サンホールでのコンサートやふれあいプラザでのミニステージを実施し、市民文化活動の振興に寄与することができました。

春日市文化祭では平成23年度から実行委員会形式で企画運営を行っており、市民と行政が一体となった市民文化祭として、その取組を一層進めることができました。

2 春日市少年少女合唱団（育成支援事業）

合唱団の自主運営化促進のため、年間を通して育成支援を行いました。

また、第26回定期演奏会では、高い合唱技術やミュージカルを披露し、来場者の評価も高く、団体としてよりクオリティの高い芸術性を創りあげる喜びを享受することができました。

3 音楽の玉手箱（音楽家派遣事業）

市内小学校、公民館、幼稚園、保育所等、多くの市民に上質な生の音楽に触れる機会を提供することができました。

また、市役所議会棟議場にてPRコンサートを4回実施しました。プロの音楽家が奏でる美しい演奏を披露することにより、当該事業を周知することができました。

10款5項1目
1-5-10
文化スポーツ課

スポーツ行事等運営事業

当初予算額 3,423 千円 最終予算額 3,423 千円

決算額 1,791 千円

【目的】

市民の誰もが、それぞれの目的に応じて、主体的、継続的に運動やスポーツに取り組むことができる環境づくりを行うことにより、運動習慣の定着、健康づくり及び体力の維持増進に寄与する。

【内容】

運動やスポーツへの関心を高め、市民が気軽に運動やスポーツを始めるきっかけづくりとしてスポーツ行事を開催し、運動やスポーツに親しむことができる環境づくりを行いました。

<水泳記録会>

日程	年代別	参加者数（人）	合計（人）
5年6月11日	小学生	16	94
	中学生	40	
	一般	38	

＜スポーツフェスタ＞

イベント	日程	実績（人）
カローリング大会	5年7月9日	216
ラグビーフェスティバル	5年9月2日	350
パラスポーツ体験イベント	5年10月9日	716
自治会交流種目	5年10月29日	727
スポーツ体験教室	5年11月4日	1,718
走ろう大会	5年11月26日	302

【成果】

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う様々な制限がなくなり、前年度よりも多くの参加者にスポーツを体験してもらうことができました。運動に親しむきっかけづくり、健康増進を目的としたスポーツの普及及び振興につなげることができました。

10款5項2目
1-5-20
文化スポーツ課

総合スポーツセンター屋外トイレ解体跡地整備事業

当初予算額 2,513 千円 最終予算額 559 千円

決算額 559 千円

【目的】

総合スポーツセンター屋外トイレにおける解体跡地の地盤改良及び雨水排水整備を実施し、大雨時の土砂流出対策を講じるとともに、メッシュフェンスの設置により施設の安全管理の向上を図る。

【内容】

内容	工事期間
総合スポーツセンター屋外トイレ解体跡地整備工事	5年5月27日～6月24日

【成果】

地盤改良及び雨水排水設備とメッシュフェンスを整備したことで、施設利用者の安全性を確保することができました。

10款5項2目
1-5-20
文化スポーツ課

総合スポーツセンター等指定管理事業

当初予算額 146,845 千円 最終予算額 146,845 千円

決算額 146,844 千円

【目的】

総合スポーツセンター（温水プールを含む。）及び西野球場に指定管理者制度を導入し、施設を一体的に管理運営することで、利用者の利便性の向上及び管理運営の効率化を図る。

【内容】

指定管理者「春日まちづくりパートナーズ」が、総合スポーツセンターの施設全般の管理運営を行いました。

＜利用者数＞

施設名	利用者数（人）		前年比（%）
	4年度	5年度	
総合スポーツセンター	400,519	454,388	13.4
体育館	235,502	267,985	13.8
屋外競技施設	73,114	71,159	△ 2.7
温水プール	91,903	115,244	25.4
西野球場	20,499	18,878	△ 7.9
合計	421,018	473,266	12.4

利用者数については、5年11月末で体育館における新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としての使用が終了し、通常利用が再開されたことから、前年度に比べ増加しました。

	【成果】 民間事業者のノウハウを活用することで、効率的かつ利便性の高い施設運営を行うことができました。また、スポーツに関心を持つ市民のニーズに沿った多くの自主事業を展開することができました。				
10款5項2目 1-5-20 文化スポーツ課	西スポーツ・レクリエーション広場整備事業 当初予算額 265,965 千円 最終予算額 199,551 千円 決算額 199,551 千円 【目的】 市民に身近なスポーツ・レクリエーション施設として、西野球場の保全を図るとともに、防災機能の維持・向上と市指定史跡「原遺跡」の活用を図り、多目的広場を中心とした都市計画公園（地区公園）として一体的に整備する。 【内容】 西野球場北側隣接地において、多目的広場や駐車場の整備に加え、公衆トイレ、休憩施設及び遊具施設等を整備し、景観に配慮した植栽工事を実施しました。 また、新幹線車両基地の眺望を活用した「新幹線の見える丘」を整備しました。 <事業概要> <table border="1"> <tr> <td>面積</td><td>17,716㎡</td></tr> <tr> <td>施設</td><td>多目的広場：7,430㎡、駐車場整備：91台、公衆トイレ：1棟 複合遊具：1基、ロッキング遊具：2基、健康遊具：3基、防災あずまや：2基 ベンチ：7基、縁台：2基、高木：16本、生垣：154本</td></tr> </table> 【成果】 西野球場北側隣接地に多目的広場を整備したことで、スポーツ・レクリエーション機能が向上しました。また、休憩施設及び遊具施設等を適切に配置したことに加え、市指定史跡「原遺跡」に新幹線車両基地の眺望を活用した「新幹線の見える丘」を整備する等、魅力的な施設を創出したことで、幼児から高齢者まで、誰もが楽しめる公園になりました。 さらに、防災機能を有した防災あずまやの整備や景観に配慮した高木等を植栽したことで、防災機能及び都市環境の向上を図ることができました。	面積	17,716㎡	施設	多目的広場：7,430㎡、駐車場整備：91台、公衆トイレ：1棟 複合遊具：1基、ロッキング遊具：2基、健康遊具：3基、防災あずまや：2基 ベンチ：7基、縁台：2基、高木：16本、生垣：154本
面積	17,716㎡				
施設	多目的広場：7,430㎡、駐車場整備：91台、公衆トイレ：1棟 複合遊具：1基、ロッキング遊具：2基、健康遊具：3基、防災あずまや：2基 ベンチ：7基、縁台：2基、高木：16本、生垣：154本				
10款5項2目 1-5-20 文化スポーツ課	北スポーツセンター改修事業 当初予算額 2,442 千円 最終予算額 4,410 千円 決算額 4,400 千円 【目的】 老朽化した北スポーツセンターの壁打ちテニスコートの改修工事を行い、利用者の利便性及び安全性を確保する。 【内容】 <工事> <table border="1"> <tr> <th>内容</th><th>工事期間</th></tr> <tr> <td>北スポーツセンターテニスコート改修工事</td><td>5年11月16日 ～ 6年1月31日</td></tr> </table> 【成果】 壁打ちテニスコートをアスファルト舗装から土系舗装へと改修することとあわせて、老朽化した防球ネットと支柱を改修したことで、長期的な利便性及び安全性を確保することができました。	内容	工事期間	北スポーツセンターテニスコート改修工事	5年11月16日 ～ 6年1月31日
内容	工事期間				
北スポーツセンターテニスコート改修工事	5年11月16日 ～ 6年1月31日				

遺跡発掘調査事業

当初予算額 128,487 千円 最終予算額 107,652 千円

決算額 76,332 千円

【目的】

埋蔵文化財を開発等による毀損及び滅失から保護し、本市の貴重な歴史的資料として後世に継承する。

【内容】

<調査等実績>

(単位：件)

	3年度	4年度	5年度
窓口事前審査 (地図台帳確認)	1,578	1,655	1,637
試掘調査 (うち文書審査)	64 (12)	45 (8)	55 (1)
本調査	8	10	11

<本調査実績>

遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	種別	主な検出遺構・遺物
高辻D・F遺跡4次調査Ⅱ期	小倉東2丁目	5年4月10日～7月11日	700㎡	受託	竪穴建物跡14軒、土坑6基、ピット多数 弥生土器、土師器、須恵器、鉄器、石器、装身具
丸尾遺跡1次調査	白水ヶ丘4丁目	5年4月10日～5月12日	192㎡	受託	溝2条 土坑3基、ピット 弥生土器、土師器、陶磁器、丸瓦
須玖岡本遺跡岡本山地区19次調査	岡本2丁目	5年5月21日～8月22日	15㎡	市費	古墳(周溝)1基、土坑2基、甕棺墓2基、ピット 弥生土器、須恵器、瓦、石塊
古水遺跡6次調査	下白水北6丁目	5年5月15日～8月31日	530㎡	受託	掘立柱建物跡1棟、土坑4基、溝5条、ピット 弥生土器、須恵器、土師器、陶磁器、鉄器、石製品
須玖坂本B遺跡10次調査	岡本1丁目	5年7月21日～8月22日	48㎡	市費	ピット 土器、須恵器、石器、銅滓
平若A遺跡7次調査	弥生2丁目	5年7月24日～6年3月29日	1,076㎡	受託	竪穴建物跡7軒、掘立柱建物跡2棟、土坑6基、井戸1基、溝5条、ピット多数 土器類、石器、石製品、青銅器生産関連遺物、青銅製鋤先1点、鉄器4点

	天神山水城跡16次調査	天神山1丁目	5年9月4日～11月15日	60㎡	市費	近現代の攪乱坑多数 黒曜石チップ												
	野藤遺跡9次調査	須玖北6丁目	5年9月1日～6年2月16日	451㎡	受託	竪穴建物跡1基、掘立柱建物跡1棟、井戸1基、土坑1基、溝4条、ピット多数 弥生土器、須恵器、土師器、鉄器、石器、石製鋳型、埴埴/取瓶、掛け堰等												
	須玖岡本遺跡岡本地区28次調査	岡本7丁目	5年12月11日～6年3月18日	26㎡	市費	甕棺墓1基、土坑墓1基、ピット6基 弥生土器、須恵器、瓦、石器												
	古水遺跡7次調査	下白水南3丁目	5年12月20日～6年1月17日	53㎡	市費	竪穴建物跡1軒、土坑1基、ピット 弥生土器、土師器、須恵器												
	野藤遺跡10次調査I期	須玖北6丁目	6年3月1日～3月29日	987㎡	受託	なし（表土剥ぎのみ実施）												
	種別（費用負担）…市費：市公共事業及び個人住宅建設等に係る発掘調査 受託事業：民間開発に係る発掘調査																	
	【成果】 本調査と試掘調査を合わせた66件の調査によって、市の貴重な歴史的資料の保護に寄与しました。																	
	10款4項4目 1-6-00 1-6-20 文化財課																	
	水城跡整備事業																	
	当初予算額 54,326 千円 最終予算額 54,337 千円																	
	決算額 52,410 千円																	
	【目的】 国指定特別史跡水城跡について、史跡の保存管理を進め、市民に親しまれる史跡として継承するため、整備基本計画に基づく整備を行い、活用を図る。																	
	【内容】 大土居水城跡にて西側土塁の整備工事を行いました。また、大土居及び天神山水城跡の樹木整理を行いました。																	
	<table><tr><td></td><td>内 容</td><td>業務期間</td></tr><tr><td>大土居水城跡</td><td>西側土塁整備工事</td><td>5年8月31日～6年3月26日</td></tr><tr><td>大土居水城跡</td><td>樹木伐採</td><td>5年6月29日～8月10日</td></tr><tr><td>天神山水城跡</td><td>樹木伐採</td><td>6年2月20日</td></tr></table>							内 容	業務期間	大土居水城跡	西側土塁整備工事	5年8月31日～6年3月26日	大土居水城跡	樹木伐採	5年6月29日～8月10日	天神山水城跡	樹木伐採	6年2月20日
		内 容	業務期間															
	大土居水城跡	西側土塁整備工事	5年8月31日～6年3月26日															
	大土居水城跡	樹木伐採	5年6月29日～8月10日															
	天神山水城跡	樹木伐採	6年2月20日															
【成果】 大土居水城跡における西側土塁の整備工事は、史跡の保護と安全を確保しつつ、解説広場の整備により、見学者のためのエントランスとしての役割も果たすことができました。 また、継続した樹木整理の実施により、史跡地の眺望性を確保することができました。																		
	10款4項4目 1-6-10 文化財課																	
	須玖岡本遺跡整備事業																	
	当初予算額 47,196 千円 最終予算額 31,579 千円																	
<table><tr><td>決算額 31,579 千円</td><td>総事業費（ 32,030 千円）</td><td>【事業期間】 4年度～ 5年度</td></tr></table>						決算額 31,579 千円	総事業費（ 32,030 千円）	【事業期間】 4年度～ 5年度										
決算額 31,579 千円	総事業費（ 32,030 千円）	【事業期間】 4年度～ 5年度																

【目的】

宅地化が進む本市に存在する、弥生時代の代表的な遺跡である国指定史跡の須玖岡本遺跡を後世に継承していくため、保存と活用を図る。

【内容】

1 須玖岡本遺跡整備事業

須玖岡本遺跡整備基本構想策定業務

7年度に策定する「史跡須玖岡本遺跡整備基本計画」に基づき実施する本整備事業と、先行して行う基盤整備事業の整合性を図るために、整備の基本的な考え方や方針を定めた「史跡須玖岡本遺跡整備基本構想」を策定しました。

2 須玖岡本遺跡公有地化事業

地権者の同意が得られた指定地1筆を購入しました。

内 容	金 額
用地取得	1件（1筆）、A=280.20㎡
用地測量	4年度実施

【成果】

基本構想で史跡須玖岡本遺跡の整備活用に関する基本的な考え方や方針を示すことで、整備基本計画による本整備、基盤整備事業が統一した考え方で行うことができるようになりました。

また、史跡地の購入により、須玖岡本遺跡の保存と今後の須玖岡本遺跡における整備・活用を進めることができるようになりました。

10款4項4目
1-6-00
1-6-20
文化財課

資料館事業

当初予算額 12,651 千円 最終予算額 15,343 千円

決算額 14,203 千円

【目的】

歴史体験講座や企画展等の事業を通じて、市民に歴史や文化財に関する学習の場を提供するとともに、広く文化財への理解と関心を高める。

【内容】

＜事業概要・参加者数＞

(単位：人)

歴史散歩	第1回	10月21日	須玖岡本遺跡めぐり	15
	第2回	11月25日	市内の日本遺産めぐり (小水城・ウトグチ瓦窯跡)	12
歴史講座	第1回	4月23日	4年度発掘調査成果報告 「発掘された春日の遺跡」	35
	第2回	6月17日	鑄造体験ワークショップ関連歴史講座 「鑄造とは何か」	56
	第3回	7月15日	鑄造体験ワークショップ関連歴史講座 「出土品から見た弥生時代の鑄造」	58
	第4回	9月2日	鑄造体験ワークショップ関連歴史講座 「青銅器はどう使われたか」	56
	第5回	9月30日	考古企画展関連講演会 『国宝「漢委奴国王」金印の考古学』	118
	第6回	10月15日	鑄造体験ワークショップ関連歴史講座 「弥生時代の青銅器生産」	48
発掘調査体験	8月1日、2日		須玖坂本B遺跡（春日北小学校校庭）にて発掘調査体験	54
企画展等	4月22日～6月25日		パネル展示「発掘された春日の遺跡」	2,875
	4月22日～6月25日		トピック展示「市指定化記念展」	2,875
	8月26日～10月22日		考古企画展「わたしたちの須玖遺跡群」	5,917
	1月20日～3月3日		民俗企画展「ことわざと暮らしの道具」	4,568

	奴国の丘 フェスタ	9月23日	古代体験各種イベント、風の丘コンサート、食のバザー		2,600
	やきものづくり教室		年間12回、のぼり窯体験広場の陶芸室でやきものづくりを体験する。		95
	ジュニアガイド養成講座		全5回、奴国を学び、奴国の丘フェスタにてガイドを実施		5
	奴国ラボ		全4回、弥生時代の遺物について学習し、遺物展示を実施（8月3日に発掘調査体験も実施）		4
	鋳造体験ワークショップ		全10回、青銅器生産をテーマとして鋳造を学び体験		123
	鋳造公開実験		1月21日開催、鋳造体験ワークショップを受講した高校生、大学生による実験事業		15
	＜見学依頼受入実績＞				
	市内小中学校	33件	3,175人		
	一般団体	52件	909人		
	＜文化財ボランティア＞				
	奴国の丘サポーター	16人			
	やきものボランティア	13人			
【成果】					
市民ボランティア等の協力も得て各種体験事業を行う等した結果、本年度の奴国の丘歴史資料館の来館者数は延べ31,383人となり、貴重な本市の文化財の活用に寄与することができました。					
また、来場者にとってわかりやすい展示に向けた取組として、奴国王墓の副葬品を再現した鏡等を製作しました。					
7款1項2目 1-7-10 地域づくり課	特定創業支援等事業				

当初予算額		1,355 千円	最終予算額	1,355 千円	

決算額		1,355 千円			

【目的】					
春日市商工会と連携して「特定創業支援等事業」を実施し、創業を目指す市民への支援を強化することにより、地域雇用の創出及び地域経済の活性化を図る。					
【内容】					
創業に必要な知識の習得を目的とした個別専門指導（経営、財務、人材育成、販路開拓）の講師派遣に係る費用の一部を春日市商工会を通じて補助しました。					
＜特定創業支援等事業の利用者数と補助金額＞					
		3年度	4年度	5年度	
利用者数（人）		36	21	30	
補助金額（円）		1,932,640	1,186,000	1,354,800	
【成果】					
創業者に対して一貫した支援を行うことにより、創業支援制度を充実させるとともに、市内での創業の機運を醸成することができました。					
7款1項2目 1-7-10 地域づくり課	プレミアム付き商品券事業助成事業				

当初予算額		0 千円	最終予算額	36,548 千円	

決算額		33,777 千円			

【目的】

春日市商工会の「春日市商工会スマイル商品券事業」及び「春日スマイルペイ事業」に補助を行うことにより、物価高騰等の影響を受けている市民の消費を下支えし、地域経済の活性化を図る。

【内容】

商工会が行った商品券事業に対して、プレミアム率20%のうち10%分及びキャッシュレス商品券導入に伴う事業に係る事務費の一部について補助金を交付しました。

	スマイル商品券事業	春日スマイルペイ事業(キャッシュレス)
販売期間	5年7月1日～7月7日	5年8月16日～10月19日
発行総額	240,000千円 (うちプレミアム40,000千円)	120,000千円 (うちプレミアム20,000千円)
販売率	100%	100%
換金率	99.7%	99.7%
加盟店数	484事業所	177事業所

【成果】

物価高騰対策として地域経済の活性化を図るため、販売総額3億円、プレミアム率20%として商品券の販売が行われ、完売となりました。

本年度末までに、358,842,270円分の商品券が消費され、地域経済の活性化に寄与しました。

また、本年度からキャッシュレス商品券が導入されたことにより、利用者の利便性の向上が図られました。

7款1項2目
1-7-10
地域づくり課

LPガス使用世帯等支援事業

当初予算額 0 千円 最終予算額 79,200 千円

決算額 71,102 千円

【目的】

LPガス使用料金の一部を助成することにより、エネルギー価格高騰の影響を受ける市内のLPガス使用世帯・事業者を支援する。

【内容】

市の補助を前提に福岡県LPガス協会が、LPガス事業者に対して、10月検針分から3,000円を上限に値引きした料金で使用世帯等に販売するよう要請しました。本事業において市は、値引き金額及び作業に係る経費を助成しました。

<LPガス使用世帯数及び販売店数>

使用世帯等数	販売店数
19,667	141

※使用世帯等のうち、3,000円値引き19,478世帯、3,000円未満189世帯

【成果】

エネルギー価格高騰の影響による負担を軽減することにより、市民生活の安定や事業運営の維持に寄与することができました。

7款1項2目
1-7-10
地域づくり課

運送事業者等支援事業

当初予算額 0 千円 最終予算額 12,128 千円

決算額 7,754 千円

【目的】

燃料価格の高騰により経営に影響を受けている市内の運送事業者等に対し、支援金を給付することで、雇用の維持及び事業の継続を支援する。

【内容】

市内で運送事業を営む事業者が保有する、事業の用途に供する車両に対して、給付を行いました。（1台につき1回限り）

<事業区分と給付件数>

事業区分	給付額	給付台数（台）	給付総額（円）
トラック運送事業	5万円／台	127	6,350,000
乗合バス事業		0	0
貸切バス事業		0	0
タクシー事業・福祉タクシー事業	2万円／台	68	1,360,000
自動車運転代行業		2	40,000

【成果】

燃料価格高騰の影響を受けた市内運送事業者の安定した事業運営の一助となりました。

6款1項4目
1-7-20
下水道課

ため池防災減災事業

当初予算額 59,449 千円 最終予算額 58,087 千円

決算額 55,756 千円

【目的】 防災重点農業用ため池の決壊による水害その他の災害から市民の生命及び財産を保護するため、防災重点農業用ため池に係る防災工事等を集中的かつ計画的に推進する。	
【内容】 防災重点農業用ため池である大牟田池の防災工事に向けた、地震耐性評価と基本設計業務を行いました。 また、防災重点農業用ため池8か所(大牟田池、寺田池、須玖新池、惣利池、ヒシャテガ浦池、社池、重池、上散田池)のハザードマップの作成を行いました。	
<事業概要>	
事業	内容
大牟田池地震耐性評価及び基本設計業務	地震耐性評価及び基本設計業務
ため池ハザードマップ作成業務	ハザードマップ作成(8か所)
【成果】 防災重点農業用ため池である大牟田池の地震耐性評価、基本設計業務を行ったことにより、防災工事に向けた防災減災事業を計画的に進めることができました。 また、防災重点農業用ため池8か所の浸水想定区域や避難場所を確認できるハザードマップを作成したことにより、市民の防災・減災意識を高め、不測の事態に備えるための資料として活用できるようになりました。	

2款1項1目
1-9-00
2款1項2目
5-3-10
総務課

市表彰事業

当初予算額 1,816 千円 最終予算額 1,595 千円

決算額 1,233 千円

【目的】 政治、経済、福祉、教育及び文化等の各分野において、市政振興に寄与し、または市民の模範と認められた個人や団体を表彰することによって、市の自治の振興を促進する。	
【内容】 5年11月3日（文化の日）にふれあい文化センターで第36回春日市表彰式を行い、様々な分野で市の発展に貢献し、または市民の模範と認められた個人や団体を、春日市表彰条例に基づいて表彰しました。	

＜第36回春日市表彰式受賞者数＞

自治功労表彰		4人
自治表彰		5人
市民表彰		39人
内 訳	市民功労表彰	16人
	市民活動表彰	11人
	市民文化賞	1人
	市民スポーツ賞	11人

【成果】

市民の善行や功績等を積極的にたたえ、広く周知することにより、市民の誇りや郷土愛を育み、市民活動等の推進と自治の振興の促進に寄与しました。

第2章 子育て・教育

(単位：千円)

施 策 区 分	施 策	決 算 額	ページ
0 子育て・教育 総務	00 -	15,668	
1 妊娠・出産・子育て支援の充実	00 妊娠・出産・子育て支援の充実 総務	94,314	47
	10 母子保健の向上	414,859	47
	20 子育て家庭の支援	2,702,839	48
	30 保育環境の充実	3,129,406	
2 子どもの健全育成	00 子どもの健全育成 総務	17,914	49
	10 子どもの健やかな育ちの促進	485,251	50
	20 子どもの発達支援	1,449,062	52
	30 要保護児童対策の推進	17,782	
3 学校教育の充実	00 学校教育の充実 総務	286,653	53
	10 きめ細やかな指導体制の一層の充実	556,011	55
	20 児童生徒の心と体づくりの推進	535,957	58
	30 児童生徒の市民性の育成	45,637	
	40 安全・安心な教育環境づくり	675,412	58
4 共育（共に育てる）の推進	10 コミュニティ・スクールの推進	10,908	59
	20 家庭教育力の向上支援	1,000	61
	30 地域教育力の向上支援	14,929	62
小 計		10,453,602	

※ 章の構成は、第6次春日市総合計画の施策体系（事業コード）と一致しています。

※ 会計間で重複する支出については、決算額から一方を控除しています。

※ ページ番号があるものは、主な事業内容を掲載しています。

予算科目 施策体系 担当課	施策の概要及び成果					
4款1項1目 2-1-00 子育て支援課	母子保健業務DX化推進事業					
当初予算額 2,112 千円 最終予算額 2,112 千円						
決算額 2,112 千円						
【目的】 子育てアプリ「春っこ」に新機能を追加することで、デジタルを活用した伴走型相談支援サービスを推進し、子育て世帯の利便性を向上する。						
【内容】 国の出産・子育て応援交付金交付事業の開始に伴い、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目ない伴走型相談支援サービスを効率的に実施するため、子育てアプリ「春っこ」に新たな3つの機能を追加しました。						
＜新機能と内容＞						
新機能		内容		実績		
				利用件数 (件)	対象件数 (件)	利用率 (%)
オンライン申請	妊娠届出（母子手帳交付時の妊婦アンケート）		711	711	100	
	出産応援給付金申請					
	妊娠7か月時アンケート		490	648	76	
	乳児家庭全戸訪問アンケート		609	693	88	
	子育て応援給付金申請					
	産前産後サポート事業利用申請		92	103	89	
オンライン予約	母子手帳交付日予約		459	711	65	
	乳児家庭全戸訪問日予約		417	693	60	
	各種子育て教室申込		154	207	74	
オンライン相談	ビデオ通話による相談		10	—	—	
＜子育てアプリ登録者数等＞（単位：人）						
		3年度	4年度	5年度		
登録者数（年度末）		1,183	1,543	2,881		
利用者数（月平均）		192	290	762		
【成果】 スマホ世代である保護者の利便性を高め、伴走型相談支援サービスをより便利に使いやすく整えることで、一人ひとりに合った切れ目のない支援を行い、子育て世帯の負担の軽減や不安の解消につながりました。						
4款1項2目 2-1-10 子育て支援課	HPVワクチン接種勧奨事業					
当初予算額 99,044 千円 最終予算額 51,601 千円						
決算額 46,153 千円						
【目的】 子宮頸がんを予防するHPVワクチン接種を積極的に勧奨することにより子宮頸がん罹患率を低下させる。						
【内容】 接種勧奨通知、予診票及び厚生労働省が作成したHPV9価ワクチンの有効性に関するリーフレットを対象者（定期予防接種、キャッチアップ接種）に個別送付しました。また、「二十歳のつどい」でリーフレットを配布するとともに、市ウェブサイトで情報提供を行いました。 ※キャッチアップ接種：積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した世代の女子に対し、4年4月から7年3月までの3年間でワクチン接種を実施するもの。						

＜接種勧奨実施人数＞

(単位：人)

	本年度対象者	勧奨通知 発送数
定期予防接種	平成19年4月2日から 平成24年4月1生まれ	3,065
キャッチアップ接種	平成9年4月2日から 平成19年4月1生まれ	4,943
計		8,008

＜接種人数・接種回数＞

(単位：人)

	3年度	4年度	5年度
接種人数	245	684	1,060
接種 回数	1回目	573	798
	2回目	496	544
	3回目	342	419
	合計	1,411	1,761

【成果】

適切な時期に個別に勧奨通知を送付することで、接種対象者にワクチンの有効性、安全性、リスクについて情報を提供し、接種につなげることができました。

3款2項1目
2-1-20
こども未来課

母子家庭等自立支援給付事業

当初予算額 11,017 千円 最終予算額 19,350 千円

決算額 18,242 千円

【目的】

ひとり親家庭等の親が指定された資格の取得に向け養成機関で修業する場合に、修業と生活の両立を支援する高等職業訓練促進給付金を給付することで、その雇用の安定及び就職の促進を図る。

【内容】

本年度からは、より経済的に厳しいひとり親への市独自の支援として、複数の子どもを扶養する、市民税所得割額が課されていない支給対象者への給付金の加算を開始しました。この事業の拡充にあたっては、市報等に加え、ひとり親家庭等を支援する春日市母子寡婦福祉会を通じ、事業の周知を図りました。さらに、児童扶養手当手続の相談者等に対し、個別説明を行っています。本年度は、13人に同給付金を支給し、うち5人に加算を行いました。

＜高等職業訓練促進給付金支給対象者数等＞

	支給対象者数（人）	支給金額（円）
高等職業訓練促進給付金	13	14,550,500
うち加算対象	5	920,000

【成果】

市独自で給付金を加算することにより、より経済的に厳しい対象世帯の負担軽減につながりました。また、総合計画に掲げる「ひとり親家庭の個々の状況に寄り添った、きめ細やかな経済的支援」を実現することができました。

3款2項1目
2-1-21
こども未来課

ひとり親家庭養育費確保支援事業

当初予算額 1,057 千円 最終予算額 1,057 千円

決算額 181 千円

【目的】

ひとり親家庭が経済的に安定した生活を送り、子どもの健やかな成長を実現するために必要な養育費について、公正証書等作成、養育費保証契約締結及び未払養育費に係る強制執行申立に要する費用に対する支援を実施する。

【内容】

本年度からの実施にあたり、市報等に加えて、ひとり親家庭等を支援する春日市母子寡婦福祉会を通じ、広く事業の周知を行いました。さらに、児童扶養手当手続の相談者等に対しては、個別にパンフレットを配布の上、説明しました。本年度は、8人の対象者から申請があり、審査の上、補助金を交付しました。

＜費用区分別補助対象者数及び補助金額＞

	補助対象者数（人）	補助金交付金額（円）
公正証書等作成	8	180,300
養育費保証契約締結	0	0
未払養育費に係る強制執行申立	0	0

【成果】

市独自で補助金を交付することにより、補助対象世帯の経済的負担を軽減し、公正証書の作成等養育費の確保に寄与することができました。また、市が補助事業を実施したことで、経済的に安定した生活と子どもの健やかな成長のために養育費の確保が必要であることをひとり親家庭に広く周知することができました。

3款2項1目
2-1-21
こども未来課

子ども応援給付金（第3弾）給付事業

当初予算額 0 千円 最終予算額 128,318 千円

決算額 119,916 千円

【目的】

子育て世帯に対し給付金を支給することで、物価高騰により学びや育ちに大きな影響を受けている子どもたちを市全体で応援するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。

【内容】

前年度に実施した子ども応援給付金（第2弾）給付事業に引き続き、本年度も、0歳から18歳までの子どもを養育する子育て世帯に対する市独自の給付金を支給しました。

＜子ども応援給付金（第3弾）＞

	基準日	申請期間	児童1人あたりの額（円）	世帯数（世帯）	児童数（人）	支給額（千円）
全子育て世帯	5年 12月1日	6年2月1日～ 6年4月30日	5,000 ※第3子以降は 10,000	12,116	21,327	117,690

【成果】

市独自で給付金を支給することにより、子育て世帯の生活支援を行うことができました。

3款2項9目
2-2-00
8款4項2目
4-4-20
都市計画課

遊具安全点検事業

当初予算額 2,500 千円 最終予算額 1,430 千円

決算額 1,430 千円

【目的】

公園等の遊具の状態を的確に把握し、公園利用者に安全で良好な施設を提供する。

【内容】

市内の公園、児童遊園内の遊具等施設の危険か所を把握するため、年2回（5月、10月）、専門業者による安全点検を行いました。

＜点検＞

点検か所数	公園	57か所
	児童遊園	62か所
点検遊具数	512基	

【成果】
専門業者が点検を実施することにより、危険性がある遊具を早期に把握することができました。
また、点検結果に基づいた適切な処置を行うことにより、公園利用者に安全で良好な施設を提供することができました。

＜処置＞

処置か所数	公園	9か所
	児童遊園	6か所
処置遊具数	15基	

3款2項4目
2-2-10
子育て支援課

すくすくプラザ長寿命化事業

当初予算額 98,058 千円 最終予算額 54,706 千円

決算額 54,705 千円

【目的】
須玖児童センターと須玖保育所の複合施設であるすくすくプラザの予防保全改修（空調更新、防水・外壁等工事）を行い、施設の長寿命化を図る。

【内容】

業務名称	業務期間
須玖児童センター等予防保全改修工事設計監理業務	5年1月26日～7年2月26日
須玖児童センター等予防保全改修工事（1期工事） （建築主体工事）	5年12月26日～6年12月27日
須玖児童センター等予防保全改修工事（1期工事） （電気空調設備工事）	5年12月22日～6年12月27日

【成果】
須玖保育所での保育を継続しながらの工事に向けた設計を完了し、1期工事（主に須玖保育所）と2期工事（須玖児童センター）のうち、1期工事に着手しました。

3款2項4目
2-2-10
子育て支援課

毛勝児童センター長寿命化事業

当初予算額 107,240 千円 最終予算額 94,630 千円

決算額 94,461 千円 総事業費（ 99,110 千円） 【事業期間】
4 年度 ～ 5 年度

【目的】
毛勝児童センターの大規模改修（外壁工事、防水・内装工事、給排水雨水整備工事等）を行い、施設の長寿命化を図る。

【内容】

＜業務内容＞

業務名称	業務期間
毛勝児童センター大規模改修工事設計監理業務	4年4月14日～6年3月28日
毛勝児童センター大規模改修工事 （建築主体工事）	5年4月20日～6年3月21日
毛勝児童センター大規模改修工事 （電気空調設備工事）	5年4月24日～6年3月21日

＜主な改修内容＞

建築改修	外壁補修及び塗装改修、各室の天井・壁・床等の改修、男女多目的トイレのドライ化改修、授乳室設置等
設備改修	電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備等の更新

【成果】
建物の補修、電気空調設備の更新等を実施することで、施設の長寿命化を図ることができました。また、森林環境譲与税事業による木質化工事により国産木材が活用され、木の温もりが感じられる内観になりました。

放課後児童クラブ管理事業

当初予算額 166,413 千円 最終予算額 168,820 千円

決算額 168,660 千円

【目的】

保護者が労働等により不在の家庭の小学校児童に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、放課後児童クラブを設置する。

【内容】

市内12小学校の18クラブにおいて、指定管理者が管理運営を行いました。指定管理業務を通して、季節に応じたイベントや保護者も参加できる親子レクリエーション等の魅力ある行事を開催する等、豊かな遊びと生活の場を保障するとともに、保護者の気持ちに寄り添いながら利用児童の健全な育成を図りました。

本年度は、児童の出退所を管理するシステムの試験導入を始めました。また障がい児等の受入れの体制を強化するため、加配支援員を1支援単位あたり1人に増員しました。

<開所時間>

区分	開所時間	延長時間
平日	放課後～午後5時	午後5時～午後7時
土曜日	午前8時～午後5時	午後5時～午後6時
長期休み期間（平日）	午前8時～午後5時	午後5時～午後7時

<閉所日>

日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、学校の休校日

<登録児童数・支援員数（5月1日時点・通年利用のみ）>

	3年度	4年度	5年度
登録児童数	1,135人	1,150人	1,251人
支援員数	131人	137人	142人
支援の単位数	28	32	33

<指定管理者の概要等>

事業者名	株式会社テノ・コーポレーション
住所	福岡市博多区上呉服町10-10
設立年月日	平成11年7月5日
指定期間	5年度～9年度（5年間）
指定管理料	165,310千円

【成果】

指定管理者が6年2月に実施した利用者アンケートにより、次のとおり高い評価が得られていることが確認できました。

1 保護者

<子どもと支援員の関係、接し方>

	とてもよい	よい	ふつう	わるい	とてもわるい	合計
回答数	262人	359人	147人	7人	1人	776人
割合	34%	46%	19%	1%	0%	100%

<利用しての満足度>

	満足	概ね満足	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	合計
回答数	296人	357人	110人	9人	3人	775人
割合	38%	46%	14%	1%	0%	100%

2 児童

<クラブの楽しさ>

	とてもたのしい	たのしい	ふつう	あまりたのしくない	たのしくない	合計
回答数	208人	183人	434人	43人	70人	938人
割合	22%	20%	46%	5%	7%	100%

<おやつのおいしさ>

	とてもおいしい	おいしい	ふつう	あまりおいしくない	おいしくない	合計
回答数	269人	257人	325人	39人	35人	925人
割合	29%	28%	35%	4%	4%	100%

※割合は、小数点第1位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

3款2項8目
2-2-10
地域教育課

放課後児童クラブ舎予防保全改修事業

当初予算額 91,712 千円 最終予算額 48,546 千円

決算額 48,545 千円

【目的】

春日市公共施設等マネジメント計画に基づき、放課後児童クラブ舎（木造）の長寿命化のため予防保全工事を行う。

【内容】

放課後児童クラブの木造舎（ログハウス）の居室等の改修や屋根・外壁の防水、照明器具のLED化等の工事を行いました。

工事の実施にあたっては、国県補助を有効に活用しました。その一環として、本年度に工事を予定していた4つのクラブ舎については、国県補助の対象とするため、翌年度に繰り越しました。

実施クラブ
(5校)

①春日小学校放課後児童クラブ、②春日西小学校放課後児童クラブ、③須玖小学校放課後児童クラブ、④天神山小学校放課後児童クラブ、⑤日の出小学校放課後児童クラブ

【成果】

当該事業を行うことにより、施設の不具合を解消し、利用者等の環境改善を図ることができました。

3款2項3目
2-2-20
子育て支援課

発達支援室事業

当初予算額 40,669 千円 最終予算額 37,581 千円

決算額 35,957 千円

【目的】

発達に特性のある子どもに対し、できるだけ早期に発達の支援を行うとともに、子どもの自立及び社会参加のため、生活全般にわたる切れ目ない支援の充実を図る。

【内容】

1 発達相談対応（特別支援教育相談含む）

発達に特性のある子どもの保護者や小中学校等からの相談に対し、心理発達相談員、特別支援教育相談員等の専門職による面接、集団における行動観察及び検査等を行い、特性に応じた助言を実施しました。また、保護者の気づきを促し、早期の対応及び療育につなげるための支援を行いました。

＜年齢構成別対応者数＞

（単位：人）

年齢区分	4年度		5年度	
	対応人数	【再掲】特別支援教育相談	対応人数	【再掲】特別支援教育相談
0～6歳（就学前）	705 (2,304)	—	662 (2,259)	—
7～12歳（小学生）	755 (1,866)	318 (846)	712 (1,633)	233 (709)
13～15歳（中学生）	81 (202)	29 (74)	45 (121)	24 (77)
計	1,541 (4,372)	347 (920)	1,419 (4,013)	257 (786)

※（ ）内は延べ人数

2 特別支援保育及び特別支援教育関係者への研修、指導

発達に特性のある子ども（就学前、就学後）に適切な指導・支援を行えるよう、専門職による保育士、教員等への指導・支援の他、研修会を開催しました。

＜幼稚園・保育所（園）訪問＞

項目	延べ回数	備考
巡回相談支援（施設訪問指導）	32回	幼稚園9か所、保育所（園）8か所

＜学校訪問＞

項目	件数	備考
学校への訪問指導	263件	指導主幹、言語聴覚士等の訪問件数

＜特別支援保育・教育関係者への研修等（通級指導教室含む）＞

項目	研修担当	回数	備考
通級指導教室 指導、研修支援	指導主幹、言語聴 覚士、作業療法士	19回	指導・研修 (小中学校通級指導教室担当者)
特別支援教育 関係者等研修	言語聴覚士	4回	校内研修（小学校教員対象）
特別支援教育・保 育研修会	指導主幹等	2回	1回につき2講演実施 (幼稚園、保育所（園）職員対象)

3 子どもの特性に応じた支援

子どもの生活に必要な福祉サービス等が適切に提供されるよう、0歳から15歳までで児童発達支援等を利用している子ども及び新規で利用を希望している子どもに対して、介助の必要性や障がいの程度を把握するための調査を実施しました。

＜介助の必要性や障がいの程度等を把握するための調査＞（単位：件）

	4年度	5年度	サービス利用目的
新規	269	301	児童発達支援、放課後等デイサービス等
更新	200	216	
計	469	517	

【成果】

発達相談や特別支援教育相談において、助言及び支援を行い、子どもの心身の健やかな成長及び発達に寄与しました。

また、特別支援保育・教育関係者への研修、指導により、関係者の資質向上を図りました。特に本年度は、幼稚園、認可外保育施設への巡回相談支援を積極的に実施したことで、関係職員の資質向上を図るとともに、子ども発達支援室との連携を強化することができました。

さらに、発達相談後に、子どもたちがそれぞれの特性や年齢に応じた支援を受けられるよう、関係機関との連携を通して包括的な支援を行うことができました。

10款1項2目
2-3-00

10款2項1目

10款3項1目

2-3-01

学校教育課

小中学校教育用ICT支援事業

当初予算額 56,732 千円 最終予算額 52,239 千円

決算額 51,031 千円

【目的】

GIGAスクール構想に沿って整備した教育用ICT環境を活用し、協働学習等を通じた協働的な学びと、多様な児童生徒の能力、適性等に応じた個別最適な学びを実現する。

【内容】

教育用ICT機器（1人1台端末を含む）の活用を推進するため、3人のICT支援員が学校を巡回し、全小中学校で授業支援ソフトの活用推進等の教員の支援をするとともに、各学校のICT活用実践事例を集め、全校に共有しました。

前年度と同様に、通過テスト（学習定着度を測るための市独自の学力調査）を、文部科学省のMEXCBTを活用してCBT（コンピュータで実施するテスト方式）で実施しました。なお、前年度の算数及び数学に加え、本年度は小学校で国語を追加して実施しました。

また、春日西中学校が、文部科学省のリーディングDXスクール事業の「生成AIパイロット校」の指定を受け、教職員向けに外部講師による生成AI研修を実施し、会議録等の作成や、指導略案の作成、進路指導業務への活用を進めました。

なお、全児童生徒に貸与している学習用タブレット端末が故障や破損をした際は、迅速に修理を行い、学習に支障が出ないよう配慮するとともに、通信環境が整っていない家庭に貸与するためのモバイルルーターの通信契約を締結し、やむを得ず登校できない児童生徒が遠隔で授業に参加できる環境を整えました。

	小学校	中学校	備考
ICT支援員（対応件数）	1,941件	709件	3人配置（1人6校担当）
タブレット等修理件数	402件	550件	
ネットワーク保守業務（対応件数）	14件		
モバイルルーター通信契約	292台		

【成果】
授業支援やICT活用実践事例の共有により、これまで活用が進んでいなかった教員に対するICTの活用推進につなげるとともに、個別最適な学びと協働的な学びを進めることができました。
通過テストにおいて、MEXCBTを活用することにより、自動採点による児童生徒への結果の即時返却や教員の負担軽減につなげるとともに、教育データの利活用を進めることができました。
また、春日西中学校では、教職員の業務に生成AIを導入することで、業務の効率化を進め、教員の働き方改革を進めることができました。
学習用タブレット端末やネットワーク環境といったハード面についても、保守や修繕対応等を適宜行い、安定したICT環境を提供することができました。

10款1項2目
2-3-00
地域教育課

学校図書館支援事業

当初予算額 10,164 千円 最終予算額 10,164 千円

決算額 10,164 千円

【目的】
学校図書館ガイドライン（文部科学省）を踏まえ、学校図書館の「読書センター」、「学習センター」及び「情報センター」としての機能を高め、小中学校9年間の発達段階に応じた「読書に親しむ児童生徒」、「本や資料を読み、調べ学習活動に生かす児童生徒」及び「必要な情報を収集し、活用・発信する児童生徒」の育成を目指し、学校図書館の充実を図る。

【内容】
新型コロナウイルス感染症の5類移行により、控えられていた学校行事等が活発化したことで、休み時間等の学校図書館の利用が減少する状況の中、来館を促す取組を実施しました。
2年度から、図書館支援業務を委託し、統括責任者1人と中学校図書館支援員6人（各中学校司書）を配置し、民間業者の専門的な知識と経験を活かし、学校図書館の運営を支援しました。

＜主な委託業務の内容＞

- 1 中学校図書館司書業務（週3日・1日5時間）
- 2 小中学校図書館の支援業務（小学校は一部）

＜図書館支援業務の事例（中学校）＞

司書業務 （読書推進事業）	「本を借りてガチャガチャをしよう!」、「ブックカルテ」、「謎の文庫X」、「本の帯くじ」、「春日市中学校司書おすすめ本リスト」作成・配付等、教科書掲載図書や学校行事に合わせた特集テーマ展示等
その他の支援 （小学校含む）	学校図書館計画会議実施（統括責任者、教頭、司書教諭及び学校図書館支援員）、小中学校司書連絡会の実施、学校図書館関係者に対する研修の企画・実施

＜授業での図書館活用（中学校）＞

（単位：件）

活用数	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技・家	道徳	総合	その他	計
	84	4	1	1	17	0	5	1	4	4	11	1	133

※うち特別支援学級21件

＜生徒の図書館利用状況（中学校）＞

（単位：冊）

	貸出冊数	
	貸出総数	1人あたり貸出数
3年度	28,288	7.5
4年度	26,514	7.2
5年度	22,480	6.0

【成果】
小中学校間で意見交換を行い、児童生徒が利用しやすいように環境整備を図ることができました。

10款2項1目
10款3項1目
2-3-01
学校教育課

感染症流行下における学校教育活動体制整備事業・換気対策支援事業

当初予算額0千円最終予算額30,318千円

決算額9,157千円

【目的】

各学校が教育活動の継続に際して、感染症対策等を徹底するにあたり、換気対策に資する物品を校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、購入経費に対する支援を行う。

【内容】

<換気対策物品の購入費用>(単位：円)

春日小学校	761,420	春日南小学校	278,300	春日中学校	78,650
春日北小学校	896,060	大谷小学校	207,900	春日東中学校	287,100
春日東小学校	493,900	天神山小学校	385,440	春日西中学校	308,550
春日原小学校	0	春日野小学校	529,650	春日南中学校	809,930
春日西小学校	822,250	日の出小学校	672,100	春日野中学校	610,555
須玖小学校	1,037,300	白水小学校	671,880	春日北中学校	305,580

【成果】

各学校に対し必要な物資を支援することで、各学校の実態に合わせた感染症対策を行うことができました。また、感染リスクを軽減した学習活動を行うことができました。

10款3項2目
2-3-10
学校教育課

部活動指導員配置事業

当初予算額1,564千円最終予算額1,592千円

決算額1,234千円

【目的】

部活動指導員を配置し、部活動に係る指導内容の充実、生徒の安全の確保、教員の負担軽減を図る。

【内容】

中学校5校に部活動指導員を配置し、実技の指導、安全及び事故防止に係る指導、用具及び施設の点検並びに管理等を行いました。

配置校	配置部活動
春日中学校	吹奏楽部
	女子バレーボール部
春日東中学校	吹奏楽部
春日西中学校	吹奏楽部
春日野中学校	水泳部
	剣道部
春日北中学校	男子ソフトテニス部
	野球部

【成果】

部活動指導員を配置したことにより、部活動指導体制の充実及び顧問教員の部活動指導に係る負担軽減に寄与しました。

<部活動指導員の指導時間数の推移>

2年度	3年度	4年度	5年度
531時間	516時間	517時間	749時間

10款1項2目
2-3-12
学校教育課

小学校少人数学級編制

当初予算額39,604千円最終予算額36,448千円

決算額35,016千円

	【目的】 小学校の学級編制を少人数とすることにより、きめ細かな指導体制を整備する。 【内容】 全小学校において、第5学年及び第6学年を35人以下の学級編制とするために、小学校10校に市雇用の会計年度任用職員10人を講師として配置しました。 なお、国の施策による35人以下の学級編制は、従来は第1学年のみでしたが、3年度から5年かけて段階的に学年を引き上げるようになっており、本年度は第4学年まで適用されました。このため、本市では、国の制度と本市が独自に実施する制度がつながり、小学校1年生から中学校1年生まで一貫した35人以下学級編制を実施しました。 【成果】 児童一人ひとりに目が行き届きやすくなることで、学習面や生活面で、きめ細やかな指導ができるようになりました。また、空間にゆとりができることによって、教室内在り落ち着いた雰囲気となり、気持ちの面でもゆとりが生まれ、子ども同士のコミュニケーションの円滑化につながりました。さらに、生徒が中学校進学時に環境の変化に戸惑いを感じる、いわゆる「中1ギャップ」を緩やかにすることができました。								
10款1項2目 2-3-12 学校教育課	小学校外国語活動及び外国語指導事業 <table><tr><td>当初予算額</td><td>21,865 千円</td><td>最終予算額</td><td>22,430 千円</td></tr><tr><td>決算額</td><td>22,391 千円</td><td></td><td></td></tr></table> 【目的】 小学校第1学年から第4学年における外国語活動（英語）及び小学校第5、第6学年及び中学校における外国語科（英語）の一層の充実を図る。 【内容】 外国語指導助手（ALT）3人を雇用し、小中学校及び教育支援センターにおける外国語活動と外国語科の指導を行いました。 小学校においては、担任教諭及び近年徐々に配置が増えている英語の専科教員をサポートするために、外国語活動指導員（JTE）を6人配置し、外国語活動及び外国語科の充実を図りました。 【成果】 英語教育の充実が求められる中、ALT及びJTEを活用することで、児童生徒が実践的な英語に触れる機会を増やしました。英語を使ったコミュニケーション力の育成につながる等、外国語活動及び外国語科の授業をより充実したものにするとともに、年齢や学習段階に応じて授業の内容を工夫することで児童生徒の英語への関心を高め、意欲の向上及び学習内容の定着に寄与することができました。	当初予算額	21,865 千円	最終予算額	22,430 千円	決算額	22,391 千円		
当初予算額	21,865 千円	最終予算額	22,430 千円						
決算額	22,391 千円								
10款1項2目 2-3-12 学校教育課	不登校児童生徒支援事業 <table><tr><td>当初予算額</td><td>77,338 千円</td><td>最終予算額</td><td>81,417 千円</td></tr><tr><td>決算額</td><td>79,464 千円</td><td></td><td></td></tr></table> 【目的】 不登校兆候や不登校の状態及びその傾向にある児童生徒の学校復帰等に向けた指導や支援、相談等を行うことにより、登校を促進する等、教育及び卒業後の進路の確保を図る。	当初予算額	77,338 千円	最終予算額	81,417 千円	決算額	79,464 千円		
当初予算額	77,338 千円	最終予算額	81,417 千円						
決算額	79,464 千円								

【内容】

教育支援センターを不登校対策の中核機関として位置づけ、多様な学習活動の展開、個の実態に応じた支援と、不登校の実態等の調査及び分析を行いました。

1 教育支援センターにおける支援

心理的、精神的理由等により登校できない状態にある児童生徒に対して、自立や学校復帰を目指した指導、援助を行いました。センターでは個々の生活リズムやペースに合わせたコースを選択することができるようになっており、「サブライタイム」や「コラボ学習」といったセンター独自の支援カリキュラムや「スポーツ交流会」、「世の中見学」を始めとした体験プログラム等を実施しました。また、スクールカウンセラーを配置し、児童生徒及び保護者を対象としたカウンセリングを行いました。

2 学校に対する支援

教育相談員（中学校1校に1人及び小学校2校に1人の合計12人）を配置し、教育支援センターと連携しながら、個々に応じた教室復帰へとつながる切れ目ない支援を行いました。前年度までの小学校の教育相談員と中学校の不登校専任教員の名称を教育相談員に統一し、小学校と中学校の職員を柔軟に配置替えすることができるようになりました。さらに、3人のスクールソーシャルワーカー（2中学校ブロックに1人）も配置し、相談及び支援の体制を整えました。

【成果】

不登校児童生徒数は増加傾向にありますが、教育支援センターや学校において、教職員と専門スタッフ（教育相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等）が連携して支援を行うことで、きめ細やかな対応を図ることができました。また、小中学校の教育相談員を一部入れ替えることで、ノウハウの循環を図ることができました。

<不登校の状態にある児童生徒の状況> (単位：人)

	3年度	4年度	5年度
小学校	98 (8)	166 (18)	243 (14)
中学校	203 (23)	252 (20)	266 (19)
計	301 (31)	418 (38)	509 (33)

※文部科学省調査から抜粋

※（ ）内の数字は登校できるようになった人数

10款1項2目

2-3-13

2-3-15

子育て支援課

特別支援教育事業

当初予算額 99,566 千円 最終予算額 95,543 千円

決算額 95,025 千円

【目的】

障がいのある児童生徒の自立や社会参加を見据え、それぞれが持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服することができるよう、一人ひとりの教育ニーズを把握し、適切な指導及び支援を行う。

【内容】

1 特別支援教育支援員の配置

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に、一人ひとりの実態に応じたきめ細かな支援を行うため、全小中学校の実態に応じて特別支援教育支援員を配置しました。

また、特別支援教育支援員の資質向上を図るため研修会を開催しました。

<配置実績（毎年3月時点配置状況）> (単位：人)

	3年度	4年度	5年度
配置人数	38	41	54
	12	12	13
計	50	53	67

<特別支援教育支援員研修会>

	回数	参加人数	備考
特別支援教育支援員研修会	1	55	特別支援教育講座、人権研修、コンプライアンス研修

2 通級指導教室の運営方法の変更

通級指導教室については、利用希望者の増加や送迎等の課題解決に向けて、センター方式だった小学校3校が自校方式に変更となり、本年度から全校自校方式となりました。

＜利用者数（5年5月1日時点）＞ （単位：人）

	3年度	4年度	5年度
小学校	121	163	309
中学校	21	50	74

【成果】

特別な教育的支援を要する児童生徒の増加に伴い、特別支援教育支援員を増員し配置することにより、一人ひとりの実態に応じた適切な指導、支援及び安定的な学級運営に資することができました。本年度から、人事課と共催で研修会を開催し、資質向上を図ることができました。

また、通級指導教室の運営方法を、3年度から段階的に、センター方式から自校方式に変更しました。児童生徒が自校から移動することなく、指導が受けやすい体制としたことで、支援が必要な児童生徒の利用につながりました。

10款5項4目

2-3-21

2-3-22

教育総務課

学校給食食材高騰分補助事業

当初予算額 0 千円 最終予算額 59,990 千円

決算額 52,436 千円

【目的】

物価高騰対策として、学校給食費における物価上昇分の金額を補助し、保護者の経済的負担軽減を図るとともに、安定的な学校給食の運営を目指す。

【内容】

保護者が負担する学校給食費について、小中学校に物価上昇分にあたる補助金を交付しました。

＜各小学校の実績額＞

（単位：円）

				小学校合計
春日小学校	3,572,419	春日南小学校	4,505,191	37,170,892
春日北小学校	2,678,112	大谷小学校	2,264,615	
春日東小学校	4,303,250	天神山小学校	4,360,948	
春日原小学校	2,341,545	春日野小学校	3,096,417	
春日西小学校	3,966,683	日の出小学校	1,682,835	
須玖小学校	2,591,566	白水小学校	1,807,311	

＜各中学校の実績額＞

（単位：円）

弁当給食		ミルク給食		中学校合計
春日中学校	1,413,892	春日中学校	605,321	15,264,861
春日東中学校	2,173,279	春日東中学校	584,765	
春日西中学校	2,206,408	春日西中学校	568,136	
春日南中学校	2,449,250	春日南中学校	829,473	
春日野中学校	1,915,167	春日野中学校	765,188	
春日北中学校	1,415,267	春日北中学校	338,715	
弁当給食計	11,573,263	ミルク給食計	3,691,598	

【成果】

物価高騰による学校給食への影響や保護者の経済的負担を軽減し、栄養バランスや量を保った学校給食を継続することができました。

10款2項3目

10款3項3目

2-3-40

教育総務課

小中学校特別教室等空調設備整備事業

当初予算額 0 千円 最終予算額 392,441 千円

決算額 343,791 千円

総事業費（ 395,097 千円）

【事業期間】

4年度～ 5年度

【目的】

小中学校特別教室等に空調設備を整備し、教育環境の改善を図る。

【内容】**<工事>**

実施校	工事期間
春日小学校、春日北小学校、春日東小学校、春日原小学校、春日西小学校、須玖小学校、春日南小学校、大谷小学校、天神山小学校、日の出小学校、白水小学校、春日中学校、春日東中学校、春日西中学校、春日南中学校	5年5月23日 ～ 11月15日

【成果】

小中学校15校において、多目的ホールを含む特別教室に空調設備を整備することにより、教育環境を改善することができました。

10款3項3目
2-3-40
教育総務課

小中学校大規模改修事業

当初予算額 3,119 千円 最終予算額 218,061 千円

決算額 213,128 千円

【目的】

老朽化した小中学校施設の大規模改修を行い、教育環境の改善及び建物の耐久性の向上を図る。

【内容】**<工事>**

実施校	工事期間
春日南中学校（普通教室棟）	5年 6月 5日 ～ 9月25日

<設計>

実施校	業務期間
春日南中学校（管理・特別教室棟）	5年 4月 1日 ～ 6年 3月31日

【成果】

春日南中学校において、教育環境が改善され建物の耐久性を確保することができました。また、翌年度に行う春日南中学校の改修工事の設計が完了しました。

10款1項2目
10款2項1目
10款3項1目
2-4-10
地域教育課

コミュニティ・スクール事業

当初予算額 3,576 千円 最終予算額 3,220 千円

決算額 2,959 千円

【目的】

学校、家庭、地域の三者で子どもを共に育てる共育基盤を構築し、知育、徳育、体育、食育の充実や子どもの市民性の育成を目指すとともに、協働のまちづくりへとつなげる。

【内容】

- 1 学校、家庭、地域の取組
学校運営協議会、実働推進組織を中心として、学校、家庭、地域が連携、協働し、子どもの課題並びに学校及び地域の実情に応じた地域連携カリキュラム、地域貢献活動等の様々な取組を展開しました。
- 2 教育委員会事務局の取組
取組の検証を行うとともに、市民等への広報啓発や関係機関との連携体制の構築を図りました。
 - (1) 評価・検証
コミュニティ・スクール進捗状況評価による現状把握と検証
 - (2) 市民等への情報提供及び幅広い広報活動
テレビ、市報、市ウェブサイト、出前トーク等での市民及び関係者への情報提供
 - (3) 研修実施方針に基づく計画的かつ体系的なコミュニティ・スクール研修の実施
コミュニティ・スクール・トップセミナー、教職員赴任者研修会、新任学校運営協議会委員等研修会等
 - (4) 大学への調査研究協力
韓国公州大学校、韓国教員大学校、日本大学、兵庫教育大学大学院
 - (5) 福祉との連携
主任児童委員を学校運営協議会委員に任命し、児童生徒に関する情報共有や庁内福祉部門との連携を促進

【成果】

- 1 教職員や学校運営協議会委員が行った進捗状況評価において、成果認識に関する評価結果は次のとおりとなり、概ね良好でした。
また、評価結果を学校運営協議会で共有することにより、今後の取組の方向性等について共通理解を図りました。
なお、詳細な評価結果及び分析については、市ウェブサイトへ掲載しました。

<進捗状況評価結果（成果認識項目）>

評価項目	小学校	中学校
① 学校の考え・方針の家庭・地域への浸透	3.2	3.1
② 学校を支援・応援する声・提言・行動の増加	3.1	3.0
③ 学校の教育活動の活性化	3.2	3.2
④ 子どもの市民性の育成（地域及び地域情報に対する関心）	3.1	3.2
⑤ 子どもの生きる力の育成（学力や体力等の向上）	3.1	3.0
⑥ 基本的生活習慣や学習習慣の形成	3.1	3.0
⑦ 基本的生活習慣や学習習慣に対する保護者の関心の高まり	3.0	2.9
⑧ 子どもの学びや体験・交流の場づくりへの保護者の関心の高まり	3.0	2.9
⑨ 保護者の地域行事への参加促進	3.0	2.8

- 2 コミュニティ・スクール研修を計画的かつ体系的に実施することにより、学校運営協議会委員が必要な情報を得る機会を確保し、学校運営協議会における協議の充実を図ることができました。

10款1項2目
2-4-10
地域教育課

地域学校協働活動事業

当初予算額 8,477 千円 最終予算額 8,646 千円

決算額 7,949 千円

【目的】

学校、地域、家庭の連携及び協働による地域ぐるみの教育が持続的に推進できる支援体制を構築する。

【内容】

福岡県の補助事業「地域学校協働活動事業（地域学校協働活動推進員の配置）」を活用し、学校と地域・家庭のつなぎ役である地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）を市内の小中学校に計36名配置し、次の活動を行いました。

＜活動の内容＞

- 1 地域・家庭と連携した教育活動の実施支援（授業計画の確認と学校との打合せ、学校と地域・家庭の間の連絡調整、地域・保護者ボランティアの募集や受入れ準備、当日対応等）
- 2 自治会訪問による文書のやり取りや情報収集、意見聴取等
- 3 PTA、おやじの会、子ども会育成会等各種団体との連携
- 4 広報紙、地域情報掲示板及び学校ウェブサイトの作成
- 5 地域コーディネーター連絡会議での情報交換
- 6 リーフレット「わたしたちの9年間 地域との関わり」の作成（2中学校ブロック分。市教育委員会と共同作成）
- 7 教育上の課題解決に向けた取組の企画運営

【成果】

- 1 コミュニティ・スクールの取組に関する学校と地域・家庭の連絡調整がスムーズになり、三者の負担が軽減しました。関係者からは、次のような意見が聞かれました。
 - (1) 地域コーディネーターの支援により、地域・家庭と連携した教育活動（地域連携カリキュラム）の実施に係る連絡調整等がスムーズになり、教職員の負担軽減及び働き方改革にもつながった。
 - (2) 地域コーディネーターがホームページや便りを活用した積極的な情報発信を行ったことで、学校支援ボランティア人数が増加し、コミュニティ・スクールの認知度向上にもつながった。
 - (3) 地域コーディネーターを配置することにより、地域・家庭と連携した教育活動の実施等、子どもたちが意欲的に学習できる機会が充実した。
- 2 次のような取組を一部の学校で実施する等、各校区の課題に基づき、地域ぐるみの教育を持続的に推進することに寄与しました。
 - (1) 保護者同士や保護者と学校のつながりを確保するための座談会の企画運営
 - (2) 行事の変更や中止に即応するための、LINE等を活用した地域・保護者ボランティアとの連絡調整
 - (3) 地域コーディネーター及びボランティアによる放課後自習室の運営

10款4項1目
2-4-20
1-3-00
地域教育課

家庭教育基盤形成事業

当初予算額 4,873 千円 最終予算額 4,869 千円

決算額 4,559 千円

【目的】

家庭教育力の低下が大きな課題となっていることから、保護者に対し家庭教育に関する学習を一定の期間、計画的かつ主体的に学ぶ場を提供し、家庭教育力の向上を図る。また、子育てに関心のある市民に対しても家庭教育を考える機会を広く提供する。

【内容】

1年間を通して受講が難しい保護者向けに単発受講の枠を設け、中学生までの子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育や子育てに関する講座（かすが家庭教育学級）を実施しました。また、市民を対象とした子育て講演会を実施するとともに、11小学校、2中学校、1保育所で家庭教育について学ぶ子育て講演会を実施しました。

内容	参加人数	実施回数
講座（かすが家庭教育学級）	受講生31人	7回
子育て講演会	延べ182人	3回
小中学校での子育て講演会	1,018人	13回
保育所での子育て講演会	72人	2回

	【成果】 1 家庭教育や子育てに関する講座や講演会 中学生までの子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育の重要性を継続的に学ぶ機会を提供することができました。また、講師からの学びに加え保護者間の交流を図り、仲間づくりにもつながりました。 市民向けの子育て講演会では、市民が家庭教育について学ぶ機会を提供することができました。 2 小中学校での子育て講演会 学校の実情に合わせ、家庭教育について学ぶ機会を提供することができました。また、新小学1年生の保護者には、家庭教育のヒントをまとめた「かすがかていのちから」を、新中学1年生の保護者には「早寝早起き朝ごはんで輝く君の未来」（文部科学省冊子）を配付し、家庭教育について啓発することができました。 3 保育所での子育て講演会 昇町保育所で未就学児保護者に対し家庭教育の必要性を学ぶ機会を提供することができました。								
10款4項1目 2-4-20 地域教育課	眠育（睡眠教育）推進事業 <table><tr><td>当初予算額</td><td>253 千円</td><td>最終予算額</td><td>276 千円</td></tr><tr><td>決算額</td><td>275 千円</td><td></td><td></td></tr></table> 【目的】 学校と家庭が連携し、子どもたちの睡眠への意識を向上させ、基本的生活習慣の改善を図り、心身の健康増進につなげるとともに、家庭の教育力の向上等に資する。 【内容】 全小中学校において、児童生徒への「眠育」（睡眠の正しい知識と習慣を身に付けるための教育）を実施しました。 実施にあたっては、筑紫女学園大学に業務委託し、同大学の大西良准教授に専門的知見から指導助言を受けるとともに、児童生徒の睡眠時間やアンケート調査に係るデータの集計、解析等を行い、学校への調査結果の説明、データの提供を行いました。 <具体的取組> 1 児童生徒による睡眠日誌の作成及び学校への指導用動画の提供 2 睡眠と健康に関するアンケート調査の実施 対象者8,670人（小学3年生以上） アンケート回収率89.87% 3 専門家による授業支援（小学校8校、中学校6校） 4 睡眠時間及びアンケート調査の集計、解析及び報告書作成、学校へのデータ提供 5 リーフレット「みんなく すいみん教育」の配付及び授業における活用（小学1～3年生、4～6年生、中学生用の3種類） 【成果】 子どもたちは、睡眠や生活リズムの大切さを学び、自分の睡眠や生活習慣を見直す機会となりました。小中学校での授業においては、専門家の活用の他、小学校では担任による授業、中学校では養護教諭による指導が行われる等、各校で取組体制の整備が図られました。 また、児童生徒の睡眠のデータやアンケートの集計結果を学級単位にまとめ、担任に提供することで、担任の児童生徒の状況把握や教育相談への活用に資することができました。	当初予算額	253 千円	最終予算額	276 千円	決算額	275 千円		
当初予算額	253 千円	最終予算額	276 千円						
決算額	275 千円								
10款4項1目 2-4-30 地域教育課	放課後子供教室事業 <table><tr><td>当初予算額</td><td>13,735 千円</td><td>最終予算額</td><td>14,085 千円</td></tr><tr><td>決算額</td><td>13,758 千円</td><td></td><td></td></tr></table>	当初予算額	13,735 千円	最終予算額	14,085 千円	決算額	13,758 千円		
当初予算額	13,735 千円	最終予算額	14,085 千円						
決算額	13,758 千円								

【目的】

放課後等（週末や長期休業期間を含む。）に小中学校や地区公民館等の施設を活用し、地域住民参画のもと、子どもたちを対象に、安全かつ安心な居場所を確保し、様々な体験活動や交流活動等を行うことにより、青少年の健全育成を推進するとともに、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりに資する。

【内容】

小中学校や地区公民館等において、地域と学校の協働により放課後等の子どもの居場所を提供し、様々な体験・交流活動等を行いました。

実施にあたっては、福岡県の補助事業「地域学校協働活動事業（学習支援・体験活動）」を活用し、小学校区内の住民や学校関係者で組織する「放課後子供教室運営委員会」に委託しました。

また、同委員会の関係者が、児童・生徒との接し方、子どもを取り巻く現代的課題への対応、安全管理やレクリエーションの手法等を専門家から学び、あわせて、人材発掘や課題解決のための情報交換及び情報共有を行う場として、「かすがアンビネット」を開催しました。

加えて、児童の協力を得て春日野小学校放課後子供教室のPR動画を作成しました。

＜放課後子供教室参加延べ人数推移＞（単位：人）

	3年度	4年度	5年度
参加延べ人数	11,470	22,014	21,119
子ども	8,514	17,254	16,410
大人	2,956	4,760	4,709

＜放課後子供教室開設延べ日数推移＞（単位：日）

	3年度	4年度	5年度
開設延べ日数	557	1,044	887
平日	347	680	604
土日	210	364	283

＜かすがアンビネット事業出席者数＞（単位：人）

	3年度	4年度	5年度
第1回	28	22	28
第2回	29	22	17

【成果】

子どもたちは、地域住民に見守られながら安心して放課後等を過ごすとともに、様々な体験活動を経験することができました。

「かすがアンビネット」事業では、参加者が、事業で学んだ体験活動等を地域に持ち帰って共有し、学びを深めました。参加者に対するアンケートでも参考になったとの声が全員から寄せられました。

第3章 健康・福祉

(単位：千円)

施 策 区 分	施 策	決 算 額	ページ
0 健康・福祉 総務	00 -	7,922	
1 健康づくり支援の充実	00 健康づくり支援の充実 総務	93,910	65
	10 健康づくり活動の推進	4,313	
	20 健康寿命の延伸	129,042	65
	30 感染症対策の推進	556,133	67
2 高齢者支援の充実	00 高齢者支援の充実 総務	127	
	10 高齢者の介護予防・自立支援の推進	0	68
	20 在宅高齢者福祉の充実	33,843	68
	30 介護保険サービス提供体制の確保	6,510,719	69
	40 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	61,567	69
3 障がい者支援の充実	00 障がい者支援の充実 総務	19,426	
	10 障がい者が地域で安心して暮らすための支援の充実	2,581,688	70
4 地域共生社会の推進	00 地域共生社会の推進 総務	0	
	10 地域福祉の推進	158,984	
	20 生活困窮者対策の推進	1,471,572	71
	30 複合的な生活課題への総合的な支援	550	
5 人権が尊重される社会の推進	10 人権意識の向上	6,744	72
	20 人権擁護推進体制の充実	802	
6 男女共同参画社会の推進	10 男女共同参画の推進体制の充実	4,179	
	20 女性の活躍の促進	515	72
	30 配偶者等からの暴力の根絶	819	
7 社会保障制度の適正な運営	10 国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正な運営	12,469,735	
	20 公費医療制度の適正な運営	781,584	74
	30 生活保護制度の適正な運営と自立支援	2,316,990	
	40 国民年金制度の適正な運営	5,605	
9 その他 健康・福祉	00 -	11,185	
小 計		27,227,954	

※ 章の構成は、第6次春日市総合計画の施策体系（事業コード）と一致しています。

※ 会計間で重複する支出については、決算額から一方を控除しています。

※ ページ番号があるものは、主な事業内容を掲載しています。

予算科目 施策体系 担当課	施策の概要及び成果																				
4款1項1目 3-1-00 健康課	がん患者アピアランスケア推進事業																				
	当初予算額		330 千円	最終予算額 722 千円																	
	決算額		602 千円																		
	【目的】 がん患者及びがん経験者が、治療に伴う外見の変化（脱毛、爪の割れ、手術痕や身体 の欠損等）に対し、医療用ウィッグ等や補整具等を購入した場合に、その費用の一部を 助成し、がん患者等の経済的負担の軽減を図る。																				
	【内容】 がん患者やがん経験者が購入した医療用ウィッグ等及び補整具等の購入費に対し、補 助を行いました。 補助にあたっては、福岡県アピアランスケア推進事業費補助金を活用しました。 ＜補助の概要＞ <table><tr><td>区分</td><td>補助金費（上限額）</td><td>補助人数</td><td>交付額</td></tr><tr><td>医療用ウィッグ等</td><td>購入に要する</td><td rowspan="2">35人</td><td>544千円</td></tr><tr><td>補整具等</td><td>費用の1/2</td><td>58千円</td></tr></table> ＜補助対象物品＞ <table><tr><td>区分</td><td>補助対象物品</td></tr><tr><td>医療用 ウィッグ等</td><td>医療用ウィッグ、装着用ネット、毛付き帽子</td></tr><tr><td>補整具等</td><td>補整パッド、補整下着、専用入浴着、弾性着衣（弾性ストッキング、 弾性スリーブ、弾性グローブ）、エピテーゼ（補整用人工物）</td></tr></table>					区分	補助金費（上限額）	補助人数	交付額	医療用ウィッグ等	購入に要する	35人	544千円	補整具等	費用の1/2	58千円	区分	補助対象物品	医療用 ウィッグ等	医療用ウィッグ、装着用ネット、毛付き帽子	補整具等
区分	補助金費（上限額）	補助人数	交付額																		
医療用ウィッグ等	購入に要する	35人	544千円																		
補整具等	費用の1/2		58千円																		
区分	補助対象物品																				
医療用 ウィッグ等	医療用ウィッグ、装着用ネット、毛付き帽子																				
補整具等	補整パッド、補整下着、専用入浴着、弾性着衣（弾性ストッキング、 弾性スリーブ、弾性グローブ）、エピテーゼ（補整用人工物）																				
4款1項1目 国民健康保険 事業特別会計 6款2項1目 3-1-20 健康課	市民健康診査、特定健康診査、歯科検診〔国民健康保険事業特別会計等〕																				
	当初予算額		126,578 千円	最終予算額 120,996 千円																	
	決算額		100,609 千円																		
	【目的】 市民健康診査の実施により、生活習慣病（高血圧、糖尿病、がん等）の早期発見、早 期治療を促し、市民の健康増進に寄与する。 また、歯科検診の実施により、生活習慣病とも密接な関係がある歯周病等の早期発 見、早期治療を目指す。																				
	【内容】 市民健康診査（がん検診、特定健康診査、一般健康診査）について、集団健診はいき いきプラザで計42回、個別健診は指定医療機関で実施しました。各健康診査を受診しや すくするために、①予約受付コールセンターの設置、②「健診のご案内」の個別通知、 ③集団健診の土曜日、日曜日実施、④集団健診と個別健診の個人負担金の同額設定、⑤ 後期高齢者健康診査の集団健診同時実施、⑥協会けんぽコラボ健診を実施しました。ま た、様々な機会を捉え健診受診の必要性についての啓発を行いました。 歯科検診については、節目年齢（40、50、60、70歳）の市民に個別歯科医院での受診 案内を行いました。 ＜市民健康診査受診状況＞ <table><tr><td colspan="2" rowspan="2">健（検）診の種類</td><td colspan="3">受診者数（人）</td></tr><tr><td>3年度</td><td>4年度</td><td>5年度</td></tr><tr><td rowspan="2">健康診査 ※</td><td>特定健康診査</td><td>3,959</td><td>3,978</td><td>3,833</td></tr><tr><td>一般健康診査</td><td>608</td><td>402</td><td>357</td></tr></table>					健（検）診の種類		受診者数（人）			3年度	4年度	5年度	健康診査 ※	特定健康診査	3,959	3,978	3,833	一般健康診査	608	402
健（検）診の種類		受診者数（人）																			
		3年度	4年度	5年度																	
健康診査 ※	特定健康診査	3,959	3,978	3,833																	
	一般健康診査	608	402	357																	

がん検診	胃がん（X線撮影）	2,313	2,021	1,611
	胃がん（胃内視鏡）	563	640	577
	大腸がん	5,962	5,678	5,116
	肺がん	5,233	5,014	4,544
	子宮頸がん	3,593	3,404	2,942
	乳がん（マンモグラフィ）	3,624	3,537	3,007
	乳がん（乳エコー）	330	180	197
	前立腺がん	1,464	1,475	1,341
その他	骨粗しょう症	203	195	163
	腹部エコー	2,991	2,772	2,335
	歯科検診	20	293	277

※特定健康診査対象者は、40～74歳の国民健康保険加入者

※一般健康診査対象者は、20～39歳の市民及び生活保護世帯の市民（南部健診を含む）

【成果】

集団健診における予約受付コールセンターや24時間受付可能なインターネット予約の設置、レディースデイの設定、託児等を実施することにより、市民が受診しやすい体制を整備し、生活習慣病の早期発見、早期治療に資することができました。

また、健診案内の送付や、市報、公式LINE、ウェブサイト等の様々な媒体において普及啓発を行い、市民の健康への関心を高めることができました。

6款1項1目
6款2項1目
3-1-20
健康課

国民健康保険保健事業〔国民健康保険特別会計〕

当初予算額 22,048 千円 最終予算額 23,144 千円

決算額 21,579 千円

【目的】

国民健康保険における特定健康診査（特定健診）の受診率の向上を図るとともに、生活習慣病の発症予防、重症化予防の保健事業の充実に努めることにより、国民健康保険被保険者の健康増進及び医療費の適正化に資する。

【内容】

特定健診受診率の向上を目指し、未受診者には専門職による電話勧奨や受診勧奨はがきの送付、医療情報収集事業等に取り組みました。

また、レセプトや健診データ等を活用し重症化リスクが高い対象者の把握を行い、保健師や管理栄養士が、面接や電話、訪問等で一人ひとりに合った疾病管理や生活改善等についての保健指導を実施し、健康づくりの支援に努めました。

<特定健診受診率向上の取組>

事業名	内容
1 未受診者受診勧奨事業	優先順位を付けて抽出した対象者に対して、保健師、管理栄養士による電話での受診勧奨を実施する
2 未受診者勧奨通知事業	健診や医療の受診状況ごとに4種類の受診勧奨通知を送付する
3 特定健診情報提供事業	職場の健診等で、特定健診と同等項目の検査結果がある対象者から医療データを提供してもらい、特定健診受診とみなす
4 特定健診医療情報収集事業	生活習慣病治療中である被保険者の医療データについて、医療機関から情報収集を行い、特定健診受診とみなす

<保健指導事業>

事業名	内容
1 特定保健指導事業	特定保健指導対象者に対して、面接や電話等での保健指導を実施する 集団健診、個別健診（1医療機関のみ）の実施当日に初回面接指導を実施する
2 重症化予防事業	健診結果から、生活習慣病の重症化リスクが高い者に対し、保健師、管理栄養士が面接や電話、訪問等で保健指導を実施する
3 糖尿病性腎症重症化予防事業	健診結果から、糖尿病性腎症（CKD等）のリスクがある者について、医療機関との連携を図りながら、保健師、管理栄養士が訪問等で保健指導を実施する

4	訪問健康相談事業	レセプトの結果から、薬剤の重複又は多剤処方がある者や医療機関の重複又は頻回受診歴がある者に対し、訪問等での保健指導、相談を実施する
---	----------	---

＜特定健診受診率向上の取組＞

事業名		実人数(人)		
		3年度	4年度	5年度
1	未受診者受診勧奨事業	302	525	599
2	未受診者勧奨通知事業	11,646	12,258	11,165
3	特定健診情報提供事業	12	19	12
4	特定健診医療情報収集事業	210	183	206

※(注)3の実人数は、年度末までにデータが把握された数を計上

＜保健指導事業＞

事業名		実人数(人)		
		3年度	4年度	5年度
1	特定保健指導事業	366	287	227
2	重症化予防事業	560	467	364
3	糖尿病性腎症重症化予防事業	152	179	191
4	訪問健康相談事業	55	49	52

※(注)1～4の実人数は、年度末までに保健指導を実施した数を計上

【成果】

未受診者受診勧奨事業では、架電前に前年度保健指導対象の有無や健診結果を確認し、保健指導を兼ねて勧奨することで健診の必要性を伝えました。また、かかりつけで検査をしているため健診を受けないと回答した者に対しては、医療情報収集事業の案内も併せて行う等、架電による特定健診受診率の向上に取り組みました。

未受診者勧奨通知では、はがきに受診券整理番号を記載し、そのまま受診券として利用できるように改善したことにより、受診率の向上に寄与しました。

あわせて、特定健診の結果やレセプト等を積極的に活用し、生活習慣病の重症化リスクが高い者に対し個人の健康課題に添った保健指導を行った結果、疾病の重症化予防や適切な医療受診につながりました。

訪問健康相談事業として、国保データベースシステム等から抽出した重複・頻回受診者や多剤服薬者に対して指導等を行うことにより、適正な医療受診につながりました。

4款1項2目
3-1-30
健康課

新型コロナウイルス予防接種事業

当初予算額 14,984 千円 最終予算額 289,925 千円

決算額 259,918 千円 総事業費 (1,636,804 千円) 【事業期間】 2年度～ 5年度

【目的】

市民の生命及び健康を守るため、新型コロナワクチンの接種を行うことにより新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図る。

【内容】

前年度に引き続き集団接種を中心にコロナワクチン特例接種を実施しました。

国の方針で、65歳以上等の重症化リスクが高い人を対象に春開始の追加接種を5月から、初回接種が終了している生後半年以上の人を対象に秋開始の追加接種を9月から実施しました。

このことに伴い、接種体制の見直し、接種券の追加送付等の対応を行いました。また、新型コロナウイルス感染症が5月から感染症法上の2類相当から5類感染症へ変更され、接種希望者の減少も見込まれたことから、集団接種会場を総合スポーツセンターのサブアリーナから会議室へ縮小するとともに、利便性を確保するためにいきいきプラザを追加しました。個別接種については、当初の9か所から27か所まで接種実施医療機関を増やし、接種体制を充実させました。

また、筑紫医師会等の関係機関と連携しながら、より効率的な接種の機会を継続的に提供しました。

＜接種回数の推移＞

(単位：回)

年度	3年度以前	4年度	5年度
接種回数	220,038	99,034	39,518

※接種回数は延べ数

【成果】
ワクチン接種を希望する人が速やかに接種できるよう接種体制を構築し、新型コロナウイルス感染症のまん延防止、重症化予防に寄与しました。

5款2項1目
3-2-10
高齢課

介護予防普及啓発事業（一般介護予防事業）〔介護保険事業特別会計等〕

当初予算額 31,014 千円 最終予算額 30,989 千円

決算額 30,345 千円

【目的】
高齢者を対象に介護予防の普及や啓発を行うことにより、健康の増進を図る。

【内容】
いきいきプラザや総合スポーツセンター、地区公民館等において、介護予防の普及啓発を行うための教室を開催しました。

＜延べ人数＞ (単位：人)

区分	事業名	3年度	4年度	5年度
認知症予防	認知症予防教室（単発）	90	62	25
	認知症予防教室（連続）	92	79	117
	認知症予防教室（音楽）	156	182	194
運動器機能向上	介護予防教室（単発）	20	31	28
	健康運動トレーニング事業	16,127	16,473	16,449
	（再掲）いきいきルームのみ	9,910	10,037	9,655
	（再掲）高齢者運動教室	6,217	6,436	6,794
	高齢者運動教室（総合スポーツセンター）	3,609	4,736	4,932
	転ばん塾・おたっしや塾	583	467	637
フレイル予防	フレイル予防教室	54	63	28
地区講師派遣事業		1,598	2,026	2,281

【成果】
いきいきプラザは低体力者向け、総合スポーツセンターは元気高齢者向けとして位置付け、高齢者一人ひとりのニーズや体力等に沿った事業を展開しました。
年間を通して介護予防に取り組むことができる環境を提供し、高齢者の健康維持増進や介護予防を推進することができました。高齢者運動教室のアンケートでは「友人ができ、身体の調子も良くなった」「定期的に外出する習慣がついた」といった声が聞かれ、参加者同士の仲間づくりや孤立防止の推進にもつながりました。

5款3項1目
3-2-20
高齢課

地域包括支援センター運営事業〔介護保険事業特別会計〕

当初予算額 81,347 千円 最終予算額 81,230 千円

決算額 81,076 千円

【目的】
高齢者やその家族を介護、福祉、健康等の様々な面から総合的に支える拠点である地域包括支援センターについて、より一層の相談・支援体制の充実を図る。

【内容】
1 総合相談支援業務：地域に住む高齢者等の様々な相談に対応する相談窓口業務、関係者とのネットワーク構築
2 権利擁護業務：成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応等
3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務：ケアマネジャーへの日常的な支援

＜地域包括支援センター個別対応件数＞ (単位：人)

		3年度	4年度	5年度
北地域包括支援センター	実人員	1,400	1,266	988
	延人員	30,744	25,355	17,954
南地域包括支援センター	実人員	1,059	1,022	1,020
	延人員	28,207	27,364	25,666

東地域包括支援センター	実人員	914	1,006	1,025
	延人員	14,952	22,571	23,881
合計	実人員	3,373	3,294	3,033
	延人員	73,903	75,290	67,501

【成果】

高齢者だけでなく、その家族や周辺住民の身近な相談窓口として、電話や訪問等による相談対応を行いました。また、関係機関（社会福祉協議会、自治会、民生委員、介護支援専門員、医療機関、弁護士会等）との連携を強化し、複雑化・多様化する高齢者のニーズへの支援体制の充実を図りました。

3款1項2目
3-2-31
高齢課

介護保険サービス事業所等への支援

当初予算額 0 千円 最終予算額 15,658 千円

決算額 14,434 千円

【目的】

コロナ禍と物価高騰の影響を受ける状況下においても介護サービスの安定的な提供体制を確保するため、物価高騰による経費の増加を公定価格制度により価格に転嫁できない介護サービス事業者に対して、支援金を給付する。

【内容】

1 介護サービス事業所及び障害福祉サービス事業所物価高騰対策支援金支給事業
コロナ禍と物価高騰による経費の増加を給付費等に転嫁することができない市が指定する市内高齢者施設等を運営する者に対し、支援金を給付しました。

実施期間	対象事業者	給付実績	
5年4月1日 ～ 6年3月31日	5年4月1日現在で市が指定する市内 高齢者施設等を運営する者	給付総額	14,434千円
		対象施設等数	42か所 (29法人)

2 高齢者施設等衛生用品等支給事業

サービス提供にあたり密を避けることができない高齢者施設等に必要な衛生用品等を支給することで、施設等における感染対策を支援し、安心してサービス提供できる体制の確保を図りました。

提供物品	概要	実績
防護服	介護施設等にて陽性者等が発生した際に不足すると思われる衛生用品について支給	[提供か所数] 1施設 [提供枚数] 防護服100枚

【成果】

1 介護サービス事業所及び障害福祉サービス事業所物価高騰対策支援金支給事業
支援金の給付を通じて、コロナ禍と物価高騰が続く中でもサービス提供を継続する介護保険サービス事業所や高齢者施設等の負担を軽減することにより、介護が必要な高齢者等が安心して生活できるサービス提供体制の確保に寄与しました。

2 高齢者施設等衛生用品等支給事業

衛生用品等の支給を通じて、施設等における感染対策が充実し、安心してサービスを提供できる体制の確保に寄与しました。

3款1項4目
3-2-40
高齢課

老人福祉センターナギの木苑指定管理事業

当初予算額 34,587 千円 最終予算額 36,567 千円

決算額 35,301 千円

【目的】

老人福祉センターナギの木苑に指定管理者制度を導入することにより、利用者の利便性の向上及び管理運営の効率化を図る。

【内容】

指定管理者（春日市社会福祉協議会）が、老人福祉センターナギの木苑の施設全般の管理運営を行いました。

＜利用者数＞

	3年度	4年度	5年度
開館日数	277日	277日	282日
利用者数	27,998人	29,642人	33,167人
一日平均利用者数	101.1人	107.0人	117.6人

＜教室・同好会活動参加者数（回数）＞

	3年度	4年度	5年度
絵手紙教室	152人（16回）	134人（22回）	133人（24回）
川柳教室	32人（15回）	23人（16回）	12人（11回）
書道教室	149人（35回）	109人（43回）	105人（22回）
グラウンドゴルフ	856人（94回）	751人（90回）	808人（100回）
健康麻雀	1,482人（72回）	2,000人（91回）	3,303人（94回）
囲碁・将棋	2,730人（277回）	3,602人（276回）	3,446人（282回）

【成果】

新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」移行に伴い、高齢者の健康増進・健康維持のための事業を充実させ、利用者数は前年度より3,525人増加しました。アンケートにおいても、施設の利用について、97.6%の利用者から「満足」または「おおむね満足」と回答を得ることができました。

3款1項5目
3-3-10
福祉支援課

基幹相談支援センター事業

当初予算額 12,160 千円 最終予算額 12,961 千円

決算額 12,846 千円

【目的】

地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務（身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病に関すること）を行う。また、地域の実情に応じた相談支援体制を強化し、権利擁護・障がい者等に対する虐待を防止する取組を実施する。

【内容】

福祉支援課障がい福祉担当内に設置された「春日市障がい者基幹相談支援センター」において、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として事業を実施しました。

1 総合的な相談・専門的な相談

障がいのある人やその家族、関係機関等からの相談を受け、必要な助言や情報提供等の支援を行いました。

また、必要に応じて各関係機関と情報共有や連携を図り、障がいのある人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう支援を行いました。

＜利用者人数＞

（単位：人）

区分	3年度	4年度	5年度
実人数	507	521	554
障がい種別 （重複あり）	身体	66	70
	重症心身	4	1
	知的	156	198
	精神	247	251
	発達	68	77
	高次脳	4	4
	その他	82	77

＜相談内容＞ ※重複あり

（単位：件）

区分	3年度	4年度	5年度
福祉サービスの利用等に関すること	1,842	2,405	1,758
不安の解消・情緒安定に関すること	1,592	1,390	1,028
生活技術に関すること	1,044	593	620
健康・医療に関すること	678	355	364
障がいや病状の理解に関すること	470	299	175
家族関係・人間関係に関すること	430	167	126
家計・経済に関すること	213	238	163
保育・教育に関すること	138	120	125

就労に関すること	101	70	26
権利擁護に関すること	97	86	36
社会参加・余暇活動に関すること	22	18	2
その他	4	73	86
計	6,631	5,814	4,509

2 地域における相談支援体制の強化

①市内指定相談支援事業所向けに春日市障がい者福祉関係機関会議の開催（「相談支援業務におけるモニタリング」「相談支援の疑問解決」をテーマとした研修を2回実施）、②市内指定特定相談支援事業所への実地指導（1事業所）、③相談支援専門員に対するモニタリングの状況（支援方針の確認）の聞き取りを行いました。実地指導を行うにあたり、自主点検表を改訂したことにより、効果的な指導・支援を行うことができました。また、市内相談支援事業所に対して、各種様式集を作成して提供したり、地域の社会資源や研修情報等の情報提供を行いました。

3 地域移行・地域定着の促進

退院前後のカンファレンスに参加する（6回・実人数4人）等、保健所や精神科医療機関、学校等の関係機関との連携を図り、退院後の地域における支援体制の調整を行いました。

4 権利擁護・虐待防止

法テラスとの情報交換会に参加し、法的問題を抱える人への支援についての連携強化に努めました。また年々増加傾向にある虐待ケース（実人数11件、延べ対応件数88件）については迅速な対応と適切な指導、助言を行いました。

【成果】

障がいのある人やその家族、関係機関等からの相談を受け、特に困難ケースに対する必要な助言や情報提供等のきめ細かい支援を行い、地域で安心して生活するための一助となりました。

また、市内児童通所事業所の現地確認を行うことで、事業所の特性を確認し、市民への的確な情報提供や地域の課題整理につながりました。

さらに、市内相談支援事業所向けの会議開催、実地指導等を行うことにより、市内相談支援事業所を中心とした相談支援事業所間の連携強化、事業所における質の向上及び適正化への意識付けに寄与しました。

3款1項8目 3-4-20

人権男女共
同参画課

生活困窮者自立支援事業

当初予算額 46,114 千円 最終予算額 38,211 千円

決算額 36,065 千円

【目的】

生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、就労支援、就労準備支援、家計改善支援、住居確保給付金支給等の事業を行い、自立の促進を図る。

【内容】

<支援対応件数>

	4月～9月	10月～3月	計	合計
新規相談件数	109	76	185	新規及び継続件数 502件 (うち家計改善支 援328件)
うち家計改善支援	46	48	94	
うち就労支援	24	24	48	
うち就労準備支援	2	2	4	
継続相談件数	189	128	317	(うち就労支援 253件) (うち就労準備支 援42件)
うち家計改善支援	133	101	234	
うち就労支援	144	61	205	
うち就労準備支援	24	14	38	
住居確保給付金支給件数	51	11	62	62件

【成果】
就労支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業及び住居確保給付金支給事業の実施によって、生活困窮者の自立を支援しました。
社会情勢上、相談者の自立は簡単なものではありませんが、相談によって生活上の課題が整理されたことにより、自立に向けた基盤づくりができました。

3款1項1目
3-5-10
人権男女共同参画課

人権啓発事業

当初予算額 6,437 千円 最終予算額 6,327 千円

決算額 6,151 千円

【目的】
市民啓発の企画や研修等を実施して、人権意識の普及高揚を図る。

【内容】
＜同和問題啓発強調月間（7月）における啓発＞

項 目	内 容
街頭啓発	市内駅前や商業施設での街頭啓発を実施した。 啓発物品を市内の国県出先機関及び市内公共施設等へ設置し啓発を実施。
市報かすが掲載	特集記事（7月1日号）
啓発パネル展	触れよう感じよう心に～住井すゑ「橋のない川」との出会い～

＜人権週間・障害者週間（12月）における啓発＞

項 目	内 容
人権映画上映会	期 日：5年12月6日（水） 場 所：春日市ふれあい文化センター スプリングホール 映画名：こんな夜更けにバナナかよ～愛しき実話～ 参加者：221人
街頭啓発	障害者週間に合わせて、障がい福祉担当と共同でJR春日駅、西鉄春日原駅、JR大野城駅にて街頭啓発を実施
人権啓発冊子「ひまわり」第32集の全戸配布	マイクロアグレッション（小さな攻撃性）
啓発パネル展	「コロナ禍の暮らしと社会」

＜職員人権現地研修＞

対象者	市職員（5年度新規採用職員、4年度新任主査、人事担当職員、人権男女共同参画課職員）
期日	6年2月21日（水）
内容	①水平社宣言と解放子ども会の取組 ②同和問題の現状と展望
研修場所	筑紫野市永岡隣保館
参加人数	34人

【成果】
街頭啓発に併せて、若手職員への同和問題の研修会や映画上映会を開催し、職員及び市民の人権問題に対する意識の高揚を図りました。研修会においては、同和地区における差別の歴史と現状を知り、市職員に求められる人権感覚を磨く貴重な機会となりました。

3款1項1目
3-6-20
人権男女共同参画課

男女共同参画センター事業

当初予算額 631 千円 最終予算額 619 千円

決算額 335 千円

【目的】
職場、家庭、地域等あらゆる分野で男女が共に協力し、責任を分かち合い、活気あるいきいきとした男女共同参画のまちづくりへの関心と理解を広める。

【内容】

男女共同参画・消費生活センターじよなさん（以下「じよなさん」という。）を中心に、講座開催等の啓発活動を行いました。

1 男女共同参画公開講座・連続講座

<男女共同参画週間講座>

期日	テーマ	講師	会場	参加人数
6月17日	子どもに関わる人は「ぜひ」知ってほしい、アンコンシャス・バイアスセミナー ～無意識の思い込みとの付き合い方～	太田 博子氏（アンコンシャス・バイアス研究所）	オンライン（じよなさん視聴会場）	29

<ライフデザイン講座>

期日	テーマ	講師等	会場	参加人数
8月5日	子どもが笑顔になる、パパ、絵本の時間です！	吉村 伊織氏 (FJQ)	いきいきプラザ	15
8月23日	脱！孫ブルー！3世代が笑顔になる、ハッピーコミュニケーション	宮崎 佐智子氏（整理収納ナビゲーター）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	15
8月30日	安全に楽しく！幸せ祖母の、イマドキ孫育て	松藤 美由紀氏（つみき助産院院長）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	12
9月9日	映画上映会 「こどもかいぎ」	DVD	ふれあい文化センター サンホール	88
10月19日	乳幼児の親必見！未来に備えた教育費の貯蓄術	吉田 麗子氏（FP事務所シナリオ代表）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	20
10月19日	女性のためのひとり老後のお金の備え方	吉田 麗子氏（FP事務所シナリオ代表）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	16
11月17日	再就職準備セミナー	子育て就職支援ナビゲーター（ハローワーク福岡南）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	8
12月8日	面接準備セミナー	子育て就職支援ナビゲーター（ハローワーク福岡南）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	3
12月14日	新しい未来を切り開くための、離婚に関する法律のこと	城戸 美保氏（福岡県弁護士会 弁護士）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	12
12月14日	新しい未来を切り開くための、ひとり親支援のおはなし	井土 貴子氏（ファイナンシャルプランナー）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	12

<女性に対する暴力をなくす運動期間講座>

期日	テーマ	講師	会場	参加人数
11月11日	子どもと話しておきたい、幼児期からの「性教育」	松藤 美由紀氏（つみき助産院院長）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	30

2 女性起業家育成3回連続講座

期日	テーマ	講師	会場	参加人数
9月13日	はじめてのInstagram集客セミナー	中村 美佳氏（福岡県よろず支援拠点コーディネーター）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	13
10月25日	テレビ通販MCによる「言い方」を変えて売り上げを伸ばすセミナー	田中 花木氏（福岡県よろず支援拠点コーディネーター）	じよなさん（オンライン同時配信あり）	14

11月15日	インスタグラムリールでよく見かける「今ドキ」の投稿作成セミナー&ワーク	久保田 みき氏 (福岡県よろず支援拠点コーディネーター)	じよなさん (オンライン同時配信あり)	20
--------	-------------------------------------	---------------------------------	------------------------	----

3 まちづくり講座（自治会対象）
＜男女共同参画のまちづくり講座＞

期日	テーマ	講 師	会場	参加人数
11月11日	落語で男女共同参画	落語家「雨上がり亭鯉音」（高橋勲氏）	春日地区若水会館	38

【成果】

様々なライフステージに応じた講座を実施する中で、アンコンシャス・バイアスセミナーでは無意識の思い込みとの付き合い方について考える場を設ける等、性別役割分担意識の解消に向けた「男女共同参画のまちづくり」の必要性を啓発することができました。

また、起業家育成講座では、起業を目指す女性を対象として学びの機会を提供し、女性活躍の推進を図りました。

講座をオンライン同時配信で開催したり、SNSを利用した広報や情報提供を実施する等、じよなさんを集う拠点に加え、情報発信拠点としての機能を強化することができました。

3款2項6目
3-7-20
国保医療課

こども医療費支給事業

当初予算額 414,453 千円 最終予算額 491,228 千円

決算額 485,392 千円

【目的】

子どもの医療費の一部を支給することにより、保健の向上と福祉の増進を図る。

【内容】

こども医療費支給制度の対象者が医療機関を受診した場合の医療費の自己負担分を支給しました。

なお、3歳以上の子どもは、次の一部自己負担金の額を超える分が、支給の対象です（所得制限なし。調剤は自己負担なし。）。

＜一部自己負担金＞

区分	3歳以上	小学生	中学生
入院外	800円/月	1,200円/月	1,600円/月
入院	500円/日（月7日限度）		

【成果】

子どもの医療費の一部を支給することで、疾病の早期発見と治療を促し、保健の向上と福祉の増進に寄与しました。

＜就学前＞

区分	3年度	伸び率（％）	4年度	伸び率（％）	5年度	伸び率（％）
平均対象者数（人）	6,347	0.5	6,086	△ 4.1	5,853	△ 3.8
年間受診件数（件）	110,374	12.8	114,080	3.4	126,767	11.1
医療費（千円）	189,284	22.7	190,071	0.4	213,033	12.1
1人あたり医療費（円）	29,823	22.1	31,231	4.7	36,397	16.5
1件あたり医療費（円）	1,715	8.8	1,666	△ 2.9	1,681	0.9

＜小学生＞

区分	3年度	伸び率（％）	4年度	伸び率（％）	5年度	伸び率（％）
平均対象者数（人）	6,904	9.7	6,874	△ 0.4	6,711	△ 2.4
年間受診件数（件）	62,145	9.4	69,820	12.4	84,129	20.5
医療費（千円）	128,945	10.4	143,000	10.9	171,503	19.9
1人あたり医療費（円）	18,677	0.6	20,803	11.4	25,556	22.8
1件あたり医療費（円）	2,075	0.9	2,048	△ 1.3	2,039	△ 0.4

＜中学生＞ ※2年度までは入院のみ

区分	3年度	伸び率 (%)	4年度	伸び率 (%)	5年度	伸び率 (%)
平均対象者数 (人)	3,579	6.1	3,460	△ 3.3	3,518	1.7
年間受診件数 (件)	16,319	13,060.5	24,008	47.1	30,568	27.3
医療費 (千円)	42,059	526.3	57,628	37.0	75,597	31.2
1人あたり医療費 (円)	11,752	490.0	16,655	41.7	21,489	29.0
1件あたり医療費 (円)	2,577	△ 95.2	2,400	△ 6.9	2,473	3.0

こども医療費合計 (千円)	360,288	29.7	390,699	8.4	460,133	17.8
---------------	---------	------	---------	-----	---------	------

3款2項11目
3-7-20
国保医療課

ひとり親家庭等医療費支給事業

当初予算額 83,065 千円 最終予算額 88,058 千円

決算額 87,068 千円

【目的】

ひとり親家庭等の医療費の一部を支給することにより、保健の向上と福祉の増進を図る。

【内容】

ひとり親家庭等医療費支給制度の対象者が医療機関を受診した場合の医療費の自己負担分を支給しました。
なお、次の一部自己負担金の額を超える分が、支給の対象です（所得制限あり。調剤は自己負担なし。）。

＜一部自己負担金＞

入院外	800円/月
入院	500円/日（月7日限度）

＜所得制限＞

児童扶養手当に準じる

【成果】

ひとり親家庭等の医療費の一部を支給することで、疾病の早期発見と治療を促し、保健の向上と福祉の増進に寄与しました。

区分	3年度	伸び率 (%)	4年度	伸び率 (%)	5年度	伸び率 (%)
平均対象者数 (人)	2,307	△ 4.6	2,280	△ 1.2	2,274	△ 0.3
年間受診件数 (件)	26,449	1.4	27,902	5.5	30,021	7.6
医療費 (千円)	77,253	2.6	77,422	0.2	84,157	8.7
1人あたり医療費 (円)	33,486	7.4	33,957	1.4	37,008	9.0
1件あたり医療費 (円)	2,921	1.1	2,775	△ 5.0	2,803	1.0

3款1項6目
3-7-20
国保医療課

重度障害者医療費支給事業

当初予算額 213,547 千円 最終予算額 215,468 千円

決算額 205,626 千円

【目的】

重度障害者の医療費の一部を支給することにより、保健の向上と福祉の増進を図る。

【内容】

重度障害者医療費支給制度の対象者が医療機関を受診した場合の医療費の自己負担分を支給しました。
なお、次の一部自己負担金の額を超える分が、支給の対象です（所得制限あり。調剤は自己負担なし。）。

＜一部自己負担金＞

区分	3歳以上中学生まで	15歳（高校生）以上
入院外	500円/月	
入院	一般	500円/日（月20日限度）
	低所得者	300円/日（月20日限度）

＜所得制限＞

3歳以上中学生まで	15歳（高校生）以上
児童手当に準じる	特別障害者手当に準じる

【成果】

重度障害者の医療費の一部を支給することで、疾病の早期発見と治療を促し、保健の向上と福祉の増進に寄与しました。

区分	3年度	伸び率（%）	4年度	伸び率（%）	5年度	伸び率（%）
平均対象者数（人）	1,722	0.6	1,706	△ 0.9	1,685	△ 1.2
年間受診件数（件）	43,939	4.3	45,171	2.8	46,986	4.0
医療費（千円）	193,142	6.0	198,631	2.8	203,133	2.3
1人あたり医療費（円）	112,161	5.3	116,431	3.8	120,554	3.5
1件あたり医療費（円）	4,396	1.6	4,397	0.0	4,323	△ 1.7

第4章 都市整備・安全安心

(単位：千円)

施 策 区 分	施 策	決 算 額	ページ
0 都市整備・安全安心 総務	00 -	19,652	
1 良好な住環境の確保	00 良好な住環境の確保 総務	15,836	78
	10 都市空間の形成	29,384	79
	20 景観の形成	5,445	79
	30 空き家対策の推進	68	80
	40 市営住宅の整備	838,412	81
2 交通体系の整備・維持	00 交通体系の整備・維持 総務	74,621	81
	10 都市計画道路の整備	163,674	82
	20 一般市道の整備	308,878	83
	30 交通結節点の整備	249,577	85
	40 公共交通体系の整備	97,476	86
3 上下水道の維持・保全	10 安全で安定的した水の供給	64,623	
	20 汚水施設の整備	578,434	
	30 雨水施設の整備	9,174	87
	40 下水道事業の安定経営	348,616	
4 憩いの空間の整備・維持	00 憩いの空間の整備・維持 総務	0	
	10 自然環境の保全	541,817	88
	20 公園、緑地の整備	306,197	90
	30 ため池の保全等	18,114	92
5 環境保全と循環型社会の推進	00 環境保全と循環型社会の推進 総務	9,046	
	10 地球環境の保全	13,362	92
	20 生活環境の保全	47,471	95
	30 循環型社会の推進	904,534	96
	40 効率的なごみ処理等の推進	583,892	
6 防災体制の充実	00 防災体制の充実 総務	1,313	
	20 災害対策の推進	5,008	
	30 消防・救急体制の充実	1,019,354	
	40 危機管理対策の推進	4,740	100
7 暮らしの安全の確保	10 地域防犯活動の推進	21,704	100
	20 消費者の安全確保	7,936	101
	30 交通安全対策の推進	15,181	
小 計		6,303,539	

※ 章の構成は、第6次春日市総合計画の施策体系（事業コード）と一致しています。

※ 会計間で重複する支出については、決算額から一方を控除しています。

※ ページ番号があるものは、主な事業内容を掲載しています。

予算科目 施策体系 担当課	施策の概要及び成果			
8款4項1目 4-1-00 都市計画課	立地適正化計画策定事業			
	当初予算額	15,066 千円	最終予算額	15,066 千円
	決算額	15,047 千円	総事業費（ 21,440 千円）	【事業期間】 4 年度 ～ 5 年度
	【目的】 少子高齢化に伴う生産年齢人口割合の減少により、生活サービスや公共交通の利便性が低下し、都市の持続性や活力ならびに市民生活の質の低下が懸念されることから将来にわたって持続可能な都市構造を実現するため立地適正化計画を策定する。			
	【内容】 次の手順で「春日市立地適正化計画」を策定しました。			
	＜有識者会議開催経緯＞			
	開催日		内 容	
	第1回	5年2月24日	会議の開催趣旨の共有、春日市の概要 立地適正化計画について、現状・課題・将来像	
	第2回	5年4月4日	都市づくりの方針、将来都市構造 誘導施設及び誘導区域の考え方	
	第3回	5年7月28日	誘導施設及び誘導区域の案 誘導施策、防災指針の案	
第4回	5年10月23日	目標値、評価方法 春日市立地適正化計画（素案）		
第5回	6年2月16日	パブリックコメントの意見と対応 春日市立地適正化計画（案）		
＜検討委員会開催経緯＞				
開催日		内 容		
第1回	5年4月13日	委員会の役割、計画策定の目的、体制 立地適正化計画について、現状・課題・将来像		
第2回	5年7月21日	都市づくりの方針、誘導方針 誘導施設、誘導区域、誘導施策、防災指針の案		
第3回	5年10月12日	前回からの修正事項の確認 春日市立地適正化計画（素案）		
＜都市計画審議会開催経緯＞				
開催日		内 容		
第1回	5年8月23日	中間報告		
第2回	6年2月21日	都市再生特別措置法第81条第22項に基づく意見聴取		
＜計画の概要＞				
1 目標と基本方針				
＜まちづくりの理念＞		人と地域をつなぐ機能的でこころやすらぐまちかすが		
＜まちづくりの目標＞		(1)住みたい・住み続けたいと思うまちづくり (2)多様な世代の需要に対応した定住環境づくり		
2 誘導区域・誘導施設		都市機能誘導区域と居住誘導区域を設定したうえで、 各誘導区域に誘導する誘導施設等を設定		
3 誘導施策		各誘導区域への各都市機能等の誘導施策を提示		
【成果】 第2次春日市都市計画マスタープランや新50年プランで描いた将来像を具体化し、アクションプランとして機能する計画を策定することができました。 また、本計画の策定の結果、都市構造再編集中支援事業に対する国庫補助金の活用が可能となり、翌年度から開始した市中央部市民活動交流拠点の施設整備に当該補助金を活用することができるようになる等、新たな財源を確保することもできました。				

8款1項2目 4-1-10 用地課	地籍調査事業			
	当初予算額 17,538 千円 最終予算額 16,465 千円			
	決算額 16,157 千円			
	【目的】 一筆ごとの地番、地目、地積、所有者及び境界を調査し、地籍簿及び地籍図の作成を行い、地籍の明確化を図る。			
	【内容】			
	対象地区	小倉、若葉台西の各一部、伯玄町地区	若葉台東、原町、春日の各一部	
	着手年度	4年度（2年目）	5年度（1年目）	
	実施面積	0.13km ²	0.14km ²	
	土地筆数	442筆	397筆	
	進捗率	100.0%	91.0%	
具体的内容	地籍図及び地籍簿の閲覧を実施しました。 一筆地調査、細部図根測量、一筆地測量、地籍図原図作成、地積測定を実施しました。			
【成果】 正確な地籍図を作成し法務局に備付けられたことで、今後の境界紛争の防止や公共事業等の効率的な実施に寄与しました。				
8款4項1目 4-1-10 都市計画課	高さ規制見直し事業			
	当初予算額 4,961 千円 最終予算額 4,961 千円			
	決算額 4,939 千円			
	【目的】 本市においても、人口が減少に転じているため、調査分析業務の実施による高さ規制の見直しにより、人口増加と人口流出抑制について検討する。			
	【内容】 指定容積率に対する使用容積率の概況整理、高度地区に関する既存不適格建築物に関する調査等を行うとともに、高さ規制（高度地区・容積率）の緩和による効果の検討を行いました。 その上で、調査検討作業の結果をもとに、高さ規制の見直しパターン案を複数案作成し、パターン案の比較検討作業を行いました。			
	【成果】 調査の結果、既存の住環境に配慮しつつ、多様な世代の住宅需要への対応や老朽化した建築物の建替え等を可能とする都市計画に係る規制の緩和案を作成することができました。			
	8款4項7目 4-1-20 都市計画課	景観計画策定事業		
		当初予算額 5,099 千円 最終予算額 5,099 千円		
		決算額 3,938 千円		
		【目的】 良好な景観の保全・形成を図るために、景観法に基づく景観計画を策定する。		

【内容】

市内の自然景観や歴史文化景観等の状況を整理し、景観特性の分析を行いました。
また、景観に関する現状の評価や市内にある良好な景観資源等の市民の景観に関する意向を把握するために、市民アンケート調査を実施しました。

＜市民アンケート調査＞

調査対象	回収数	回収率
2,000人	678票	33.9%

【成果】

景観計画の策定を見据え、本市が抱える景観に関する課題を整理するとともに、景観形成に向けた理念と目標を設定しました。

2款1項1目
4-1-30
安全安心課

空き家対策推進事業

当初予算額 563 千円 最終予算額 354 千円

決算額 68 千円

【目的】

市内にある空家等に対して、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく対策を推進し、良好な生活環境の維持に寄与する。

【内容】

「空家等対策の推進に関する特別措置法」第7条に基づき、春日市空家等対策協議会を開催し、空家等対策の推進に関する特別措置法の改正点や特定空家等に係る措置の進捗状況について協議しました。

その他、空家等の所有者等に空家等の適正な管理の依頼や「空き家総合相談窓口」（（公社）福岡県宅地建物取引業協会筑紫支部開設）の周知、特定空家等候補地等への立入調査等を行いました。

＜空家等対策協議会の開催状況＞

開催日	主な議題
7月14日	空家等対策の推進に関する特別措置法の改正点について 春日市における空き家対策の現状について

＜特定空家等件数の推移＞

年度	3年度	4年度	5年度
年度当初	3 件	3 件	3 件
新規指定	0 件	0 件	0 件
除却件数	0 件	0 件	0 件
うち、建物所有者による除却	0 件	0 件	0 件
うち、行政代執行による除却	0 件	0 件	0 件

＜空き家総合窓口の利用状況＞

年度	3年度	4年度	5年度
紹介件数	2 件	1 件	1 件

【成果】

「空き家総合相談窓口」の活用その他、空家等の所有者等に空家等の適正な管理を依頼することにより、良好な生活環境の維持に寄与しました。

＜所有者等への適正な管理依頼の対応件数＞

対応件数	285 件
うち文書送付件数	92 件

＜特定空家等候補地等の立入調査件数＞

立入調査件数	10 件
--------	------

8款5項1目
4-1-40
管財課

市営住宅建替事業

当初予算額934,672千円最終予算額909,023千円

決算額826,255千円

【目的】

老朽化した市営住宅を建て替えて、高齢者や障がい者も利用しやすく、安全安心に暮らせる住宅に再生する。
また、長期に活用できる建物へ更新し、市営住宅の長寿命化を図る。

【内容】

<双葉市営住宅H棟建設工事（第1期）>

工事期間4年6月1日～5年6月16日

構 造鉄筋コンクリート造 6階建

建設戸数35戸

延床面積2005.57㎡

<双葉市営住宅1000棟・1100棟解体工事>

工事期間5年7月13日～6年3月22日

<上白水市営住宅1300棟解体工事>

工事期間5年3月9日～8月31日

<上白水市営住宅Ⅰ棟建設工事>

工事期間5年6月15日～6年10月17日 予定

構 造鉄筋コンクリート造 6階建

建設戸数36戸

延床面積2192.89㎡

【成果】

双葉市営住宅H棟を竣工後、1000棟・1100棟の解体工事を実施しました。
上白水市営住宅では、1300棟を解体し、Ⅰ棟建設工事に着手しました。
各住宅の建替事業が予定どおりに進行し、安全安心な住まいの提供を図ることができました。

8款2項4目
4-2-00
道路管理課

交通安全施設整備事業

当初予算額48,390千円最終予算額52,068千円

決算額46,638千円

【目的】

通学路安全点検の結果等に基づき、交通安全施設の整備及び改修を行うことで、交通事故を防止し、安全な道路交通環境の形成を図る。

【内容】

<整備内容>

道路照明灯（建替及び新設）1基

防護柵（建替及び新設）87.1m

道路反射鏡（建替及び新設）13基

区画線等路面標示（更新及び新設）22.5km

注意看板（建替及び新設）4か所

カラー舗装390.4㎡

ゾーン30整備19.8ha

【成果】

整備を行うことで、通学路等の安全を確保することができました。
また、若葉台西・小倉東・伯玄町地区において、市内4か所目となるゾーン30の指定に伴う交通安全対策工事を行い、生活道路の安全を確保することができました。

8款4項4目 4-2-10 道路管理課	小倉紅葉ヶ丘線整備事業																		
	当初予算額		0 千円	最終予算額 3,821 千円															
	決算額		2,640 千円																
	【目的】 都市計画道路小倉紅葉ヶ丘線の未整備区間である総合スポーツセンター横から紅葉ヶ丘1交差点までの区間の道路拡幅及び交差点改良を行うことで、大型車両の動線、円滑な車の流れを確保するとともに、自転車歩行者等の安全性向上を図る。																		
	【内容】 翌年度の事業認可取得を目指して、事業認可申請書等の作成業務を実施しています。 <table><tr><td>業務委託</td><td>1件</td></tr></table>					業務委託	1件												
業務委託	1件																		
【成果】 翌年度の事業認可取得を目指して、関係機関との協議に着手しました。																			
8款4項4目 4-2-10 道路管理課	那珂川宇美線整備事業																		
	当初予算額		69,167 千円	最終予算額 91,334 千円															
	決算額		91,333 千円																
	【目的】 県が施行する那珂川宇美線整備事業について負担金を支出し、事業の促進を図る。																		
	【内容】 新幹線高架橋下から泉入口交差点付近までの未整備区間（下白水西工区）の道路整備に対して、市が負担金を支出しました。 <table><tr><td>本年度の市負担金</td><td>91,333千円</td></tr><tr><td>本年度の県事業費</td><td>512,000千円</td></tr></table>					本年度の市負担金	91,333千円	本年度の県事業費	512,000千円										
本年度の市負担金	91,333千円																		
本年度の県事業費	512,000千円																		
【成果】 用地取得を行い、事業が進捗しました。 <table><tr><td></td><td>3年度</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>増減ポイント</td></tr><tr><td>用地取得率</td><td>70.9%</td><td>83.5%</td><td>93.2%</td><td>+9.7</td></tr><tr><td>事業進捗率</td><td>59.2%</td><td>64.3%</td><td>86.0%</td><td>+21.7</td></tr></table> ※用地取得率は面積ベース、事業進捗率は事業費ベースで算出しています。 ※総事業費が増加したため、本年度から進捗率を見直しました。						3年度	4年度	5年度	増減ポイント	用地取得率	70.9%	83.5%	93.2%	+9.7	事業進捗率	59.2%	64.3%	86.0%	+21.7
	3年度	4年度	5年度	増減ポイント															
用地取得率	70.9%	83.5%	93.2%	+9.7															
事業進捗率	59.2%	64.3%	86.0%	+21.7															
8款4項4目 4-2-10 道路管理課	長浜太宰府線整備事業																		
	当初予算額		98,511 千円	最終予算額 56,917 千円															
	決算額		56,916 千円																
	【目的】 県が施行する長浜太宰府線整備事業について負担金を支出し、事業の促進を図る。																		
	【内容】 北側の福岡市との行政界から主要地方道大野城二丈線までの未整備区間（須玖北工区）の道路整備に対して、市が負担金を支出しました。 <table><tr><td>本年度の市負担金</td><td>56,916千円</td></tr><tr><td>本年度の県事業費</td><td>332,500千円</td></tr></table>					本年度の市負担金	56,916千円	本年度の県事業費	332,500千円										
本年度の市負担金	56,916千円																		
本年度の県事業費	332,500千円																		

	【成果】 用地取得を行い、事業が進捗しました。 <table><tr><td></td><td>3年度</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>増減ポイント</td></tr><tr><td>用地取得率</td><td>34.0%</td><td>47.1%</td><td>58.5%</td><td>+11.4</td></tr><tr><td>事業進捗率</td><td>28.8%</td><td>47.2%</td><td>59.9%</td><td>+12.7</td></tr></table> ※用地取得率は面積ベース、事業進捗率は事業費ベースで算出しています。		3年度	4年度	5年度	増減ポイント	用地取得率	34.0%	47.1%	58.5%	+11.4	事業進捗率	28.8%	47.2%	59.9%	+12.7
	3年度	4年度	5年度	増減ポイント												
用地取得率	34.0%	47.1%	58.5%	+11.4												
事業進捗率	28.8%	47.2%	59.9%	+12.7												
8款4項4目 4-2-10 道路管理課	長浜太宰府線市道付替整備事業 当初予算額1,839千円 最終予算額0千円 決算額0千円 【目的】 県が施行する長浜太宰府線整備事業（須玖北工区）の関連事業として、市道付け替えにより信号設置が可能となる交差点を整備し、地域住民の利便性の向上を図る。 【内容】 県が施行する長浜太宰府線に関連して、道路用地取得を予定していましたが、取得することができませんでした。 【成果】 用地取得ができず、事業が進捗しませんでした。 <table><tr><td></td><td>3年度</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>増減ポイント</td></tr><tr><td>用地取得率</td><td>66.0%</td><td>66.0%</td><td>66.0%</td><td>+0.0</td></tr><tr><td>事業進捗率</td><td>46.0%</td><td>46.0%</td><td>46.0%</td><td>+0.0</td></tr></table> ※用地取得率は面積ベース、事業進捗率は事業費ベースで算出しています。		3年度	4年度	5年度	増減ポイント	用地取得率	66.0%	66.0%	66.0%	+0.0	事業進捗率	46.0%	46.0%	46.0%	+0.0
	3年度	4年度	5年度	増減ポイント												
用地取得率	66.0%	66.0%	66.0%	+0.0												
事業進捗率	46.0%	46.0%	46.0%	+0.0												
8款4項4目 4-2-10 道路管理課	光町大土居線整備事業 当初予算額9,800千円 最終予算額10,452千円 決算額8,590千円 【目的】 都市計画道路光町大土居線の未整備区間のうち、光町交差点から春日東中学校までの区間について、道路拡幅及び交差点改良を行い、円滑な車の流れを確保するとともに、自転車歩行者等の安全性向上を図る。 【内容】 本年度より都市計画道路の見直しを検討しました。 翌年度の事業認可取得を目指して、事業認可申請書等の作成業務を実施しています。 <table><tr><td>業務委託</td><td>2件</td></tr></table> 【成果】 都市計画道路の見直しを検討しましたが、自動車や自転車、歩行者の交通量等を調査した結果、現在のとおりとすることとしました。 翌年度の事業認可取得を目指して、関係機関との協議に着手しました。	業務委託	2件													
業務委託	2件															
8款2項2目 4-2-20 道路管理課	紅葉ヶ丘交差点改良事業 当初予算額19,986千円 最終予算額16,374千円 決算額1,287千円 【目的】 紅葉ヶ丘1交差点の若葉台西地区側道路について、コミュニティバス等の右折待ち車両による交通渋滞の解消を図るため、植樹帯を撤去し右折レーンを整備するもの。															

【内容】

＜整備内容＞

区画線	一式
車線分離標	18基

【成果】

右折レーンを整備することで、右折待ち車両による交通渋滞が緩和され、円滑に車が通行できるようになりました。

8款2項2目
4-2-20
道路管理課

道路ストック長寿命化補修事業

当初予算額 88,575 千円 最終予算額 88,175 千円

決算額 79,131 千円

【目的】

各道路ストックの「長寿命化修繕計画」に基づき、予防保全型の補修を計画的に行うことで、道路ストック施設の維持管理に係る費用の軽減及び平準化を図る。

【内容】

橋梁、大型カルバート、道路法面・道路土工構造物、雨水暗渠、道路舗装について、施設の長寿命化のための点検調査、修繕計画の策定、補修設計及び工事等を実施しました。

＜橋梁＞

業務	地区名	内容
橋梁補修工事	下白水北他	補修橋梁 N=2橋

＜大型カルバート＞

業務	地区名	内容
補修設計業務	白水ヶ丘	2級第36号路線 L=120m

＜道路法面・道路土工構造物＞

業務	地区名	内容
道路擁壁追加点検及び修繕計画策定業務	紅葉ヶ丘東	追加点検及び修繕計画策定 N=2か所
道路擁壁補修工事	市内一円	道路擁壁 N=8か所

＜雨水暗渠＞

業務	地区名	内容
改修実施設計業務	紅葉ヶ丘東	L=146m

＜道路舗装＞

業務	地区名	内容
交通量調査業務	原町他	N=7地点
舗装補修工事	若葉台東	1級第1号路線(4工区) A=1,600㎡
	昇町	1級第8号路線(2工区) A=1,840㎡
	上白水	2級第28号路線 A=962㎡

【成果】

老朽化した道路ストック施設について予防保全型の補修を行った結果、当該施設の長寿命化、将来にわたる維持費用の軽減及び平準化を図ることができました。

8款2項3目
4-2-20
道路管理課

道路新設改良事業

当初予算額 8,721 千円 最終予算額 5,062 千円

決算額 5,061 千円

【目的】

交通環境の向上を目的に道路の新設改良を行い、交通安全の確保と共に、交通の利便性を図る。

【内容】

交通環境の向上と交通事故の防止を図るため、道路改良工事の実施設計業務を実施しました。

＜道路改良実施か所＞

業務	地区名	内容
第1344号路線道路改良測量設計業務	大土居	改良設計 L=105m

【成果】

道路改良事業については、測量設計を実施し、交通安全の確保と交通の利便性向上を行うことができるよう検討を行いました。

8款2項3目
4-2-20
道路管理課

側溝整備事業

当初予算額 107,709 千円 最終予算額 104,854 千円

決算額 101,148 千円

【目的】

側溝の老朽化対策や大雨による浸水被害の軽減を目的として改修工事を行い、安全な交通環境の確保や浸水被害の軽減を図る。

【内容】

以下の地区において側溝整備事業を実施しました。

＜側溝布設測量設計＞

路線名	地区名	内容
第1022号路線	小倉	老朽化対策 路線L=105m

＜側溝布設工事＞

路線名	地区名	内容
第1号路線	桜ヶ丘	浸水対策 路線L=220m
第691号路線（1工区）	ちくし台	老朽化対策 路線L=74m
第692号路線	ちくし台	老朽化対策 路線L=74m
第693号路線（1工区）	ちくし台	老朽化対策 路線L=82m
第1339号路線	上白水	老朽化対策 路線L=65m

【成果】

側溝を改修することで、安全な交通環境の確保と浸水被害の軽減を図ることができました。

8款4項4目
4-2-30
道路管理課

西鉄春日原駅周辺整備事業

当初予算額 97,050 千円 最終予算額 125,209 千円

決算額 108,284 千円

【目的】

県が施行する西鉄天神大牟田線連続立体交差事業に合わせて、西鉄春日原駅へのアクセス道路や駅前広場を整備することにより、交通ネットワークを強化するとともに、駅を中心とした賑わいのある空間の基盤づくりを行う。

【内容】

都市計画道路春日原駅前線（駅前広場を含む。）について、事業に必要となる用地の補償調査や分筆測量を行い、用地の買収を実施しました。

春日原駅前線の道路改良工事及び排水施設敷設工事等を実施しました。

用地取得	5筆
補償設計	1件
測量・設計	3件
工事	5件

【成果】

事業完了に向けて、用地取得や工事等を行い、事業が進捗しました。

	3年度	4年度	5年度	増減ポイント
用地取得率	99.6%	99.6%	99.6%	+0.0
事業進捗率	80.7%	96.0%	96.3%	+0.3

※用地取得率は面積ベース、事業進捗率は事業費ベースで算出しています。

8款4項6目
4-2-30
道路管理課

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業

当初予算額 133,498 千円 最終予算額 141,498 千円

決算額 141,293 千円

【目的】

県が施行する街路事業である西鉄天神大牟田線連続立体交差事業について負担金を支出し、事業の促進を図る。

【内容】

県施行事業に対して、市が負担金を支出しました。

高架延長	約3.3km（市域約0.56km）
高架区間	春日原駅～下大利駅
除却踏切	12か所（市内2か所）
本年度の市負担金	131,278千円
本年度の県事業費	4,734,670千円

【成果】

高架橋工事、駅舎建築工事等を行い、事業が進捗しました。

4年8月に高架化され、踏切が撤去されました。

	3年度	4年度	5年度	増減ポイント
事業進捗率	93.1%	87.7%	94.2%	+6.5

※事業進捗率は事業費ベースで算出しています。

※総事業費が増加したため、4年度から進捗率を見直しました。

8款4項6目
4-2-40
都市計画課

コミュニティバス事業

当初予算額 102,146 千円 最終予算額 100,733 千円

決算額 97,476 千円

【目的】

市内の公共・公益施設へのアクセス向上、バス路線の空白地帯の解消及び高齢者や障がい者の社会参加の支援等を図る。

【内容】

市内全域でコミュニティバス「やよい」を運行する事業は、平成15年3月2日の運行開始から21年が経過し、累計利用者数は523万人を突破しました。

運行にあたっては西鉄バス二日市株式会社と協定を締結しており、全7路線にかかる運行経費の一部を市が助成しました。

バス運転手の人員不足等の理由により、他の交通機関が路線の減便や廃止を行う中、公共交通が担う交通弱者の移動手段としての役割を鑑み、減便することなく運行を続けました。

＜利用者の推移＞

（単位：人）

3年度	4年度	5年度
231,040	256,511	281,727

	【成果】 利用者が前年比9.8%増となり、利用者数はコロナ禍前と比較して99.0%まで回復しました。 コミュニティバス「やよい」は、市民の重要な移動手段として定着しています。																
4款1項1目 4-3-30 下水道課	汚水枝線築造事業〔下水道事業会計〕 当初予算額 27,478 千円 最終予算額 64,612 千円 決算額 41,468 千円 【目的】 那珂川宇美線(下白水西工区)整備事業に合わせて、汚水枝線築造の設計や築造をすることで、公共下水道施設の適切かつ効率的な維持管理を図る。 【内容】 ＜事業概要＞ <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>那珂川宇美線関連汚水枝線築造工事(3工区)</td><td>汚水枝線 (145.5m)</td></tr> <tr> <td>那珂川宇美線関連汚水枝線築造工事(4工区)</td><td>汚水枝線 (153.0m)</td></tr> </tbody> </table> 【成果】 那珂川宇美線(下白水西工区)整備事業に伴う汚水枝線築造工事により、公共下水道への接続や施設の効率的な維持管理が進捗しました。	事業	内容	那珂川宇美線関連汚水枝線築造工事(3工区)	汚水枝線 (145.5m)	那珂川宇美線関連汚水枝線築造工事(4工区)	汚水枝線 (153.0m)										
事業	内容																
那珂川宇美線関連汚水枝線築造工事(3工区)	汚水枝線 (145.5m)																
那珂川宇美線関連汚水枝線築造工事(4工区)	汚水枝線 (153.0m)																
4款1項1目 4-3-30 下水道課	下水道施設長寿命化事業〔下水道事業会計〕 当初予算額 167,121 千円 最終予算額 134,287 千円 決算額 122,921 千円 【目的】 供用開始から50年以上が経過し、今後、膨大な施設の改築更新が想定される下水道施設について、調査診断を行いながら、計画的な改築更新に努めることで、事故や機能停止を未然に防ぎ施設機能を維持する。 【内容】 平成28年度に策定した「ストックマネジメント計画」に基づき、下水道施設の改築更新を計画的かつ効率的に進めるため、工事に向けた調査や改築工事を行いました。 ＜事業概要＞ <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚水管路詳細調査業務</td><td>汚水管 (2,127.7m)、人孔(11基)</td></tr> <tr> <td>汚水管路修繕改築計画策定業務</td><td>汚水管 (4,720.8m)、人孔(17基)、人孔蓋(59か所)</td></tr> <tr> <td>雨水管渠改築工事</td><td>管渠改築(24.4m)</td></tr> <tr> <td>汚水管路改築工事(1工区)</td><td>管路改築(100.1m)</td></tr> <tr> <td>人孔蓋取替工事(1工区)</td><td>人孔蓋取替(47か所)</td></tr> <tr> <td>人孔蓋取替工事(2工区)</td><td>人孔蓋取替(47か所)</td></tr> <tr> <td>人孔蓋取替工事(3工区)</td><td>人孔蓋取替(48か所)</td></tr> </tbody> </table> 【成果】 雨水、汚水施設の詳細調査、改築計画及び改築工事等により、下水道施設の計画的かつ効率的な改築更新事業が進捗しました。	事業	内容	汚水管路詳細調査業務	汚水管 (2,127.7m)、人孔(11基)	汚水管路修繕改築計画策定業務	汚水管 (4,720.8m)、人孔(17基)、人孔蓋(59か所)	雨水管渠改築工事	管渠改築(24.4m)	汚水管路改築工事(1工区)	管路改築(100.1m)	人孔蓋取替工事(1工区)	人孔蓋取替(47か所)	人孔蓋取替工事(2工区)	人孔蓋取替(47か所)	人孔蓋取替工事(3工区)	人孔蓋取替(48か所)
事業	内容																
汚水管路詳細調査業務	汚水管 (2,127.7m)、人孔(11基)																
汚水管路修繕改築計画策定業務	汚水管 (4,720.8m)、人孔(17基)、人孔蓋(59か所)																
雨水管渠改築工事	管渠改築(24.4m)																
汚水管路改築工事(1工区)	管路改築(100.1m)																
人孔蓋取替工事(1工区)	人孔蓋取替(47か所)																
人孔蓋取替工事(2工区)	人孔蓋取替(47か所)																
人孔蓋取替工事(3工区)	人孔蓋取替(48か所)																

4款1項1目 4-3-30 下水道課	下水道事業計画（雨水）に基づく浸水対策施設築造事業〔下水道事業会計〕															
	当初予算額		60,060 千円	最終予算額	73,922 千円											
	決算額		69,119 千円													
	【目的】 集中豪雨等による浸水被害を軽減するために、雨水幹線の改良等を行い、流下能力の向上を図る。															
	【内容】 浸水対策事業として、小倉第1雨水幹線の側壁を改良する工事を実施しました。 ＜事業概要＞ <table><tr><th>事業</th><th>内容</th></tr><tr><td>小倉第1雨水幹線改良工事（1工区）</td><td>側壁改良工（235.3㎡）</td></tr><tr><td>小倉第1雨水幹線改良工事（2工区）</td><td>側壁改良工（218.4㎡）</td></tr><tr><td>小倉第1雨水幹線改良工事（3工区）</td><td>側壁改良工（221.9㎡）</td></tr></table>					事業	内容	小倉第1雨水幹線改良工事（1工区）	側壁改良工（235.3㎡）	小倉第1雨水幹線改良工事（2工区）	側壁改良工（218.4㎡）	小倉第1雨水幹線改良工事（3工区）	側壁改良工（221.9㎡）			
事業	内容															
小倉第1雨水幹線改良工事（1工区）	側壁改良工（235.3㎡）															
小倉第1雨水幹線改良工事（2工区）	側壁改良工（218.4㎡）															
小倉第1雨水幹線改良工事（3工区）	側壁改良工（221.9㎡）															
【成果】 小倉第1雨水幹線の側壁改良により、小倉第1雨水幹線沿線の浸水被害の軽減が図られました。																
8款4項3目 4-4-10 都市計画課	松くい虫防除事業															
	当初予算額		8,490 千円	最終予算額	8,823 千円											
	決算額		8,823 千円													
	【目的】 松くい虫による公園等の松枯れを防止することで、都市における緑を保全し、良好な自然環境を維持する。															
	【内容】 白水大池公園や大牟田池自然公園等において、松くい虫が原因と思われる枯松の撤去を行いました。 また、白水大池公園及び大牟田池自然公園内の健全松に、松くい虫防除のための薬剤の樹幹注入を実施しました。 ＜撤去本数等の推移＞（単位：本） <table><tr><th></th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度</th></tr><tr><td>撤去本数</td><td>7</td><td>38</td><td>16</td></tr><tr><td>薬剤注入対象本数</td><td>306</td><td>326</td><td>702</td></tr></table>						3年度	4年度	5年度	撤去本数	7	38	16	薬剤注入対象本数	306	326
	3年度	4年度	5年度													
撤去本数	7	38	16													
薬剤注入対象本数	306	326	702													
【成果】 枯松の撤去及び健全松に防除剤を樹幹注入することにより、新たな松枯れの発生を抑制した結果、緑を保全し、自然環境を維持することができました。																
8款4項3目 4-4-10 都市計画課	緑化推進事業															
	当初予算額		10,527 千円	最終予算額	10,945 千円											
	決算額		10,906 千円													
【目的】 市内に市民の心を和ませる花や緑を配置することで、市民の「自らが、緑を大切に守り、活かす」という意識の高揚と自治会活動の活性化を促す。																

【内容】
各地区自治会等に、春、秋の年2回、花の苗（14,800鉢）を配付し、花の管理をお願いしました。
また、市が管理する14か所の花壇に花を植え適切に管理し、新たに1か所の花壇を整備しました。
樹木については、高木5本、低木380本及び生垣44本の植栽を行いました。

【成果】
多くの市民が利用する公共施設等に効果的に花を配置するとともに、市民に身近な場所に緑を提供することで、潤いのあるまちづくりに寄与することができました。
また、各地区自治会では、地域住民が協働して花の管理を行うことで、自治会活動が活性化し、緑を慈しむ意識の向上を図ることができました。

8款4項3目
4-4-10
都市計画課

樹木安全管理・景観形成事業

当初予算額 15,000 千円 最終予算額 13,420 千円

決算額 12,846 千円

【目的】
市内の街路樹の多くに老木化が見受けられ、倒木のおそれがあるため、市内街路樹（高木）の樹木健全度調査を実施し、必要な措置を行うことで道路空間の安全を確保する。
また、樹木伐採後の対応として、景観形成を目的とした樹木の植栽を行う。

【内容】
市内街路5路線において、専門業者による街路樹の健全度調査診断を行いました。

＜調査診断本数＞ (単位：本)

外観診断	樹木断面画像診断	貫入抵抗樹木診断
601	3	22

また、今回の健全度調査診断結果により、倒木の可能性が高いと診断された樹木28本については、伐採を行いました。

さらに、クローバープラザ北側の歩道内に植栽帯を整備し、街路樹を8本植栽しまし

【成果】
街路樹の健全度調査診断を行ったことにより、倒木のおそれがある街路樹を早期に発見し、必要な措置を行ったことで、倒木事故等を未然に防ぐことができました。
また、倒木の可能性が高いと診断された街路樹の伐採を行うことで、道路空間の安全を確保することができました。
さらに、沿道に四季の彩りや、潤い及びやすらぎを感じることができるよう街路樹を植栽したことで、良好な都市景観を形成することができました。

8款4項3目
4-4-10
都市計画課

グリーンインフラ活用型都市構築事業

当初予算額 5,000 千円 最終予算額 3,300 千円

決算額 3,300 千円

【目的】
本市の中心部であり、総合スポーツセンターやふれあい文化センター等が立地する市民活動交流地区において、グリーンインフラの視点に立ち、自然環境を身近に感じることができる公園及び緑地の整備や公共公益施設の緑化を実施することで、当該地区の緑化の推進に対する満足度を高める。

※グリーンインフラ…自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力あるまちづくりを進める取組

【内容】
市民活動交流地区において、自然環境が有する多様な機能を活用し、魅力ある都市空間を構築するため、グリーンインフラによる緑化を推進するための計画を策定しました。

＜事業概要＞

グリーンインフラ計画策定	N=1式
--------------	------

【成果】
市民活動交流地区の計画的な緑化の推進に向けて、グリーンインフラ計画を策定したことで、事業が進捗しました。

8款4項2目
4-4-20
都市計画課

公園施設改築・更新事業

当初予算額 31,000 千円 最終予算額 38,742 千円

決算額 38,742 千円

【目的】
春日市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の改築・更新工事を実施し、利用者の安全を確保する。

【内容】
平成30年度に改定した春日市公園施設長寿命化計画に基づき、桜ヶ丘広場公園外1公園において、老朽化した公園遊具施設（撤去：12基、設置：7基）の更新工事を行いました。

＜遊具施設＞ (単位：基)

内 容	公 園 名	地区名	施設撤去数	施設設置数
更 新	桜ヶ丘広場公園	桜ヶ丘	3	3
	位瀬公園	春日	9	4

【成果】
公園施設を更新することにより、事故を未然に防止し、公園利用者に安全で良好な施設を提供することができました。

8款4項2目
4-4-20
都市計画課

上白水公園整備事業

当初予算額 62,000 千円 最終予算額 51,078 千円

決算額 50,898 千円 総事業費 (458,783 千円) 【事業期間】 元 年度 ～ 5 年度

【目的】
既存の上白水公園の借地を解消するために、民有地を取得したうえで、新たな上白水公園の整備を実施するとともに、下流域の浸水被害を軽減するための地下貯留施設を整備する。

【内容】
前年度に工事が完了した地下貯留施設の上に、新たな上白水公園を整備するため、休憩施設及び遊具施設の整備並びに景観に配慮した植栽工事を実施しました。
また、既存の上白水公園は、借地を解消するために施設を撤去しました。

＜事業概要＞

面積	2,500㎡
施設	東屋：2基、サークルベンチ：1基、野外卓セット：2基、ベンチ：5基 複合遊具：1基、4連幼児用ブランコ：1基、ミニシーソー：1基 砂場：1基、健康遊具：3基、高木：4本、生垣：170本

	【成果】 地域の憩いとふれあいの場として、休憩施設及び遊具施設等を適切に配置したことにより、幼児から高齢者まで、誰もが楽しめる公園になりました。 また、公園の広場を大きく設け、景観に配慮した高木等を植栽したことで、都市環境の向上を図ることができました。										
8款4項2目 4-4-20 都市計画課	白水大池公園施設改修事業 当初予算額 34,100 千円 最終予算額 29,057 千円 決算額 26,256 千円 【目的】 白水大池公園の老朽化した施設を適切に改修することで、公園利用者の安全性を確保し、利便性の向上を図る。 【内容】 白水大池公園内の噴水施設、壁泉施設及び流れ施設に設置されているポンプ設備が老朽化しているため、改修等工事に必要な設計業務を実施しました。今後は、定期点検業務の結果を基に工事実施時期等を検討します。 また、同公園内に位置する平成橋及び小西橋について、春日市公園施設長寿命化計画に基づき、予防保全を目的に改修工事を実施しました。 ＜事業概要＞ <table border="1"> <tr> <td>ポンプ施設改修等設計業務</td><td>N=1式</td></tr> <tr> <td>橋りょう改修工事</td><td>N=2橋</td></tr> </table> 【成果】 ポンプ施設の改修等設計業務を実施したことで、計画的な改修に向けて、事業が進捗しました。 また、橋りょう改修工事を実施したことで、公園利用者の安全性を高めることができました。	ポンプ施設改修等設計業務	N=1式	橋りょう改修工事	N=2橋						
ポンプ施設改修等設計業務	N=1式										
橋りょう改修工事	N=2橋										
8款4項2目 4-4-20 都市計画課	都市公園土地活用・機能向上事業 当初予算額 39,490 千円 最終予算額 78,101 千円 決算額 78,068 千円 【目的】 将来の人口動態や利用ニーズに応じた都市公園の積極的な土地活用や機能向上を行うことにより、良好な都市環境の構築を図る。 【内容】 位瀬公園に駐車場等を整備するために測量設計及び工事を行いました。 また、幅広い年代の方に利用してもらえるように休憩施設及び遊具施設の整備や、景観に配慮した植栽工事を実施しました。 ＜事業概要＞ <table border="1"> <tr> <td>公園名</td><td>位瀬公園</td></tr> <tr> <td>面積</td><td>A=10,179m²</td></tr> <tr> <td>測量業務</td><td>A=4,600m²</td></tr> <tr> <td>設計業務</td><td>N=1式</td></tr> <tr> <td>施設</td><td>駐車場整備：30台、ベンチ：3基、手洗い場：1基 児童用複合遊具：1基、幼児用複合遊具：1基、スイング遊具：1基 4連ユニバーサルブランコ：1基、低木：400本、地被類：583鉢</td></tr> </table>	公園名	位瀬公園	面積	A=10,179m ²	測量業務	A=4,600m ²	設計業務	N=1式	施設	駐車場整備：30台、ベンチ：3基、手洗い場：1基 児童用複合遊具：1基、幼児用複合遊具：1基、スイング遊具：1基 4連ユニバーサルブランコ：1基、低木：400本、地被類：583鉢
公園名	位瀬公園										
面積	A=10,179m ²										
測量業務	A=4,600m ²										
設計業務	N=1式										
施設	駐車場整備：30台、ベンチ：3基、手洗い場：1基 児童用複合遊具：1基、幼児用複合遊具：1基、スイング遊具：1基 4連ユニバーサルブランコ：1基、低木：400本、地被類：583鉢										

	【成果】 地域の憩いとふれあいの場として、休憩施設及び遊具施設等を適切に配置したことにより、幼児から高齢者の方まで、誰もが楽しめる公園になりました。 また、公園内に駐車場を整備し、景観に配慮した低木等を植栽したことで、都市環境の向上を図ることができました。															
8款4項5目 4-4-30 都市計画課	ため池のあり方に関する調査等事業 <table><tr><td>当初予算額</td><td>10,780 千円</td><td>最終予算額</td><td>2,928 千円</td></tr><tr><td>決算額</td><td>2,814 千円</td><td></td><td></td></tr></table> 【目的】 ため池の保全管理に関する法的な整備を受け、ため池のストック適正化を図るため、利水機能等の活用状況、防災上の課題、貯水機能、周辺景観及び所有者の意向等を勘案しながら、「春日市ため池保全等基本計画」の策定を行う。 【内容】 市内に19か所あるため池について、適正なあり方を示すことを目的に、春日市ため池保全等基本計画の策定に着手しました。また、同計画の策定に係る有識者会議及び検討委員会を立ち上げ、翌年度の策定に向け熟議しました。 ＜事業概要＞ <table><tr><td rowspan="3">ため池保全等基本計画策定</td><td>有識者会議</td><td>N=2回</td></tr><tr><td>検討委員会</td><td>N=3回</td></tr><tr><td>計画策定</td><td>N=1式</td></tr></table> 【成果】 ため池が有する多面的な機能の活用や、防災面及び維持管理面の課題解決に関する基本計画の策定に着手したことで、安全で良好な生活環境の形成に向けて、事業が進捗しました。	当初予算額	10,780 千円	最終予算額	2,928 千円	決算額	2,814 千円			ため池保全等基本計画策定	有識者会議	N=2回	検討委員会	N=3回	計画策定	N=1式
当初予算額	10,780 千円	最終予算額	2,928 千円													
決算額	2,814 千円															
ため池保全等基本計画策定	有識者会議	N=2回														
	検討委員会	N=3回														
	計画策定	N=1式														
4款1項3目 4-5-10 環境課	壁面緑化事業 <table><tr><td>当初予算額</td><td>241 千円</td><td>最終予算額</td><td>241 千円</td></tr><tr><td>決算額</td><td>239 千円</td><td></td><td></td></tr></table> 【目的】 施設の壁面につる性植物を設置して直射日光を防ぎ、室温の上昇を抑えることで、空調の使用を抑制する等の省エネルギーを推進する。 また、緑化による景観の向上及び温室効果ガスの削減を図る。 【内容】 ＜設置か所＞ <table><tr><th>設置か所</th><th>内容</th></tr><tr><td>市庁舎1階南側</td><td>プランター30鉢（ゴーヤ90株）</td></tr></table> 市庁舎1階南側にプランターを設置し、ゴーヤを育てました。また、多くの市民にも緑化事業に取り組んでもらうために、緑のカーテン用のゴーヤ及びアサガオ等の種を環境課窓口や市民図書館で配布しました。 さらに、市庁舎の緑のカーテンから採取した種や、環境フェア等で市民から提供を受けた種を翌年配布し、種を循環させることで、持続可能な緑のカーテン事業を目指しています。	当初予算額	241 千円	最終予算額	241 千円	決算額	239 千円			設置か所	内容	市庁舎1階南側	プランター30鉢（ゴーヤ90株）			
当初予算額	241 千円	最終予算額	241 千円													
決算額	239 千円															
設置か所	内容															
市庁舎1階南側	プランター30鉢（ゴーヤ90株）															

【成果】
 設置したゴーヤは窓を覆うほどに成長し、直射日光を遮る役割を果たすとともに、市が率先して壁面緑化に取り組むことで、環境意識の醸成を図ることができました。また、市民への種の配布についても、ゴーヤ616セット（1セット4粒）とアサガオ423セット（1セット10粒）、ヘチマ116セット（1セット10粒）、フウセンカズラ47セット（1セット10粒）を配布し、市民が身近に緑を感じることができる環境づくりに寄与しました。
 また、設置したゴーヤの状況や市民への種の配布の様子は、SNS（Instagram5件）で発信しました。

4款1項3目
 4-5-10
 環境課

環境フェア事業

当初予算額 1,029 千円 最終予算額 772 千円

決算額 766 千円

【目的】
 市民に環境問題について学ぶきっかけづくりの場を提供し、市民や事業者の自主的な環境保全活動を促すことで、環境負荷の軽減を推進する。

【内容】
 「さまざまな展示や体験を通して、50年後の環境のことを考えよう」というテーマで事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、規模を拡大して実施しました。
 使わなくなったおもちゃを交換する「かえっこバザール」や市民から譲り受けた子ども服を配布する「子ども服配布会」等の実施に加え、ワークショップ等を実施する「体験ゾーン」、新しいエネルギーや乗り物を展示した「エネルギーゾーン」及び「のりものゾーン」、展示や体験を通じて人とともに暮らす動物を含めた環境の健全性を考える「エコ・ワンヘルスゾーン」を設置し、幅広い観点から環境について考えるきっかけづくりを行いました。

<期日、場所>

期日	5年11月19日
場所	春日市役所 大会議棟及び来客者用駐車場の一部

<事業概要>

区分	イベント名称	実施主体	内容
親子向け	かんたんエコ工作	ワーカーズコープ	牛乳パック等のリサイクル資材を使った工作
	環境クイズ	エフコープ	こども向け環境クイズ
	こども向けゲーム	県地球温暖化防止活動推進員	廃材を利用したゲーム、エコふあみの紹介
	ソーラートレインを走らせよう！	パナソニック(株)エレクトリックワークス社	手回し式の発電機で発電した電気で、電車を走らせる体験
	こどもエコクラブ展示	環境推進担当	加入特典等こどもエコクラブの紹介

3R	かえっこバザール	環境たくみの会	使わなくなったおもちゃを「かえるポイント」で他のおもちゃに交換
	子ども用品配布会	ごみ減量担当	市民から譲り受けた子ども服を配布
	BOOKバトン	春日市民図書館	図書館で使わなくなった本の配布
	3Rについて学ぼう	ごみ減量担当	3Rの展示とクイズ
	廃油石けんづくり、ダンボールコンポスト相談会	生活学校	廃油せっけん、ダンボールコンポスト、ぼかし等を販売、相談受付
	フードドライブ	ごみ減量担当	賞味期限1か月以上の常温食材を集めふくおかちくしフードバンクに寄付
ワンヘルス	エコ川柳	ごみ減量担当	市民から募集したエコ川柳から、投票で最優秀・優秀作品を決定
	動物と暮らす	生活環境担当	児童絵画展示、ペット用防災グッズ展示、ネコの譲渡会情報
	人の健康と環境	県筑紫保健福祉環境事務所	環境に関するクイズ、血管年齢測定
	花苗の配布	春日市緑樹協同組合	ペットボトルをリメイクした容器に花を寄せ植え
	下水道を身近に感じよう	下水道課	下水道の仕組みについて見て体験して学ぼう
	農作物の販売	おおき軒先マルシェ	ワンヘルス認証のきのこ等農作物の販売
	食と環境	商工会会員	環境にやさしい容器で提供するコーヒー、アイス
体験	自分だけの木製品	環境推進担当	間伐材を利用したしおりにイラストを描く体験
	ぷるぷるゼリー石けんづくり	手作り石けん教室 木花	人にやさしい素材でできた、石けんを使った体験
	勾玉づくり	文化財課	勾玉づくり体験、キットの販売
エネルギー	太陽光パネル、蓄電池の展示	商工会会員	太陽光発電と蓄電池について学ぶ
	断熱窓の展示	商工会会員	家の断熱性能の必要性を知る
	水素燃料電池のデモ	(株)JR西日本新幹線テクノス	水素燃料電池のしくみについて学ぶ
乗り物	電気自動車の展示	各自動車販売店	電気自動車を知る
	ごみ収集車の展示、ごみの積み込み体験	(株)クリーン春日	模擬ごみをごみ収集車に積み込む体験
	電動小型モビリティの試乗	ネッツトヨタ福岡(株)	電動小型モビリティに乗車体験

【成果】

延べ3,881人の市民が参加し、楽しみながら環境問題について学ぶことができる場を提供することができました。

また、春日東中学校にボランティアを依頼し、中学生がスタッフとして参加することにより、イベント運営の効率化と環境教育との双方に寄与しました。

動物愛護事業

当初予算額 3,848 千円 最終予算額 3,737 千円

決算額 3,010 千円

【目的】

ペットの適正飼養推進及びペットの飼い主のマナー向上を図る。

【内容】

<マナーバッグ配付啓発事業>

場所	市環境課及び動物病院
内容	新規に畜犬登録を行った市民及び転入者に対し、登録手続き時に、無料でマナーバッグを配付して啓発を行いました。 本年度配付件数 310件（内訳：窓口配付309件、有料1件） ※ 前年度実績 690件

<小学生屋外ポスター作成掲示事業>

期間	5年6月～6年2月
場所	小学校4校（春日東小・春日原小・天神山小・白水小）及び各自治会
内容	小学生の絵画を原画として屋外ポスター、下敷きを作成しました。ポスターは小学校や公民館等に掲示し、下敷きは絵画制作者の児童に配付することにより、動物愛護推進教育を図り、犬ねこ飼養マナー向上を推進しました。 原画提出枚数46枚、ポスター作成112枚（内自治会配付102枚）、下敷き作成46枚

<犬のしつけ方教室>

期間	6年1月27日
場所	那珂川市福祉センター
内容	那珂川市と共同で、犬の適正飼養推進及び飼い主のモラル向上を目的として、犬に関する基礎知識、飼い方の講義及びモデル犬実演によるしつけ方教室を開催しました。 参加者37人（内訳：春日市25人、那珂川市12人）

<老犬セミナー>

期間	6年2月17日
場所	那珂川市福祉センター
内容	老犬との向き合い方及び適正な飼養を推進することを目的として、犬の老化に伴う変化、老犬を飼うための準備や注意点、介護の仕方についてのセミナーを開催しました。 この事業は、筑紫地区5市との共同で開催しました。 参加者42人（内訳：春日市8人、大野城市17人、太宰府市4人、筑紫野市6人、那珂川市7人）

<飼い主のいないねこ不妊去勢手術費補助事業>

内容	飼い主のいないねこに対する不妊去勢手術費用の一部を補助することで、過剰な繁殖に伴うフン、尿による近隣被害を未然に防止し、快適な生活環境保持に努め、また、動物に対する愛護意識を高めました。 補助決定件数151件（内訳：不妊手術63件、去勢手術54件、取消34件）
----	---

<市報による啓発>

内容	各種事業の周知も含め、市報による啓発を6回（4/1号・7/15号・9/15号・1/1号・1/15号）実施しました。特に動物愛護週間の9月には、ペットの習性などを知り、正しく理解することについて考える内容「ペットのことを知ろう」の特集を掲載しました。
----	--

【成果】

様々な啓発事業により、ペットの飼い主に対し適正飼養とペットを飼う際のマナー向上を図りました。

事業系古紙回収事業

当初予算額 7,056 千円 最終予算額 7,056 千円

決算額 6,977 千円

【目的】

許可業者が事業系一般廃棄物として排出される古紙の分別収集運搬を行う際に必要となる経費の一部を、市が補助することにより、ごみの減量と資源の有効活用を促し、資源循環型都市づくりを図る。

【内容】

事業者が分別したリサイクル可能な古紙を一般廃棄物収集運搬許可業者に回収させ、対象経費の4分の1に相当する額（1社30万円を上限）及び1kgにつき9円の補助金を交付する。

<実績>

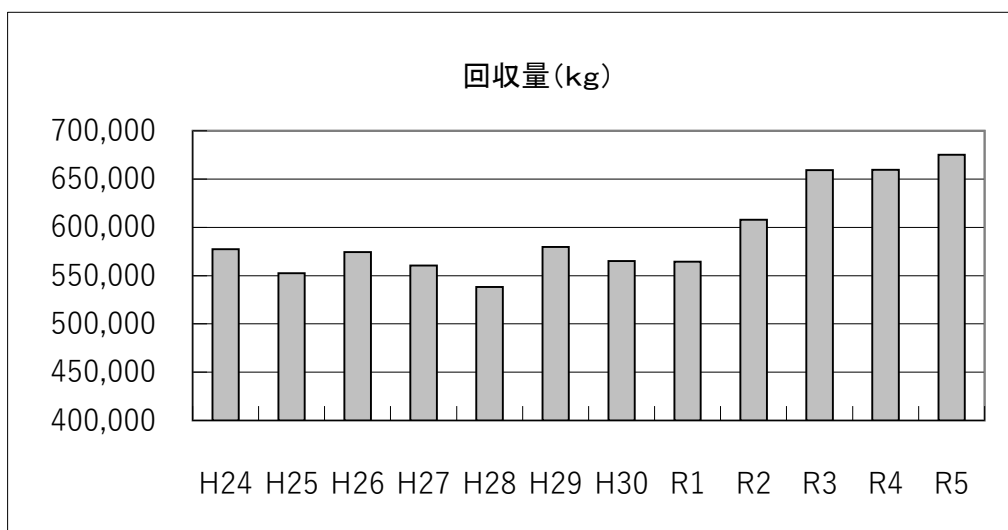
回収量 (kg)	675,310
補助金 (円)	6,977,000
売却益 (円)	3,850,421

<実績の推移>

	3年度	4年度	5年度
古紙回収量 (kg)	659,170	659,480	675,310
対前年度比 (%)	8.4	0.0	2.4

【成果】

事業系古紙を回収することで、資源の有効利用と焼却処理費用の節減ができました。あわせて、回収した古紙をリサイクル業者に売却した収入で補助費用を補てんすることができました。



ごみ処理費用負担公平化事業

当初予算額 99,359 千円 最終予算額 98,454 千円

決算額 94,425 千円

【目的】

ごみ処理費用に関する市民の負担を公平化するとともに、ごみ減量を推進する。

【内容】

市民及び事業者に対して、ごみ処理費用を加算した市指定ごみ袋等を有料交付し、また、処理施設へ自己搬入する際は手数料を徴収することで、ごみ処理費用負担の公平性を確保しました。

<家庭系ごみ袋交付実績> (単位：枚)

燃えるごみ (大：45L)	2,933,800
燃えるごみ (中：30L)	1,563,900
燃えるごみ (小：15L)	474,300
びん・カン	257,000
ペットボトル・白色トレイ	304,600
陶器・金属類	147,000
合計	5,680,600

<事業系ごみ袋交付実績> (単位：枚)

燃えるごみ (特大：70L)	321,000
燃えるごみ (大：45L)	368,600
不燃ごみ	26,900
ペットボトル・白色トレイ	23,700
合計	740,200

<その他交付実績> (単位：枚、セット)

粗大ごみシール	22,180
緑のリサイクル袋	448
緑のリサイクルバンド	191
合計	22,819

【成果】

本年度においては、全体のごみ処理費用に対して約23%を排出者が負担し、排出者負担の割合について、前年度と同水準を維持するとともに、ごみ処理費用負担の公平性を確保しました。

<ごみ処理に伴う歳出> (単位：円)

塵芥収集運搬費	765,593,296
粗大ごみ収集受付事務費	4,238,300
緑のリサイクル収集運搬費	765,600
福岡都市圏南部環境事業組合負担金	363,205,000
せん定枝葉破碎処理費	18,857,132
春日大野城衛生施設組合負担金	218,637,000
合計	1,371,296,328…①

<ごみ袋等の販売及び自己搬入に伴う歳入> (単位：円)

塵芥処理手数料	290,734,960
塵芥処理施設使用料	16,254,458
せん定枝葉処理手数料	1,667,930
合計	308,657,348…②

ごみ処理に係る費用の排出者負担の割合

$$\textcircled{2} \div \textcircled{1} = 22.51\% \approx 23\%$$

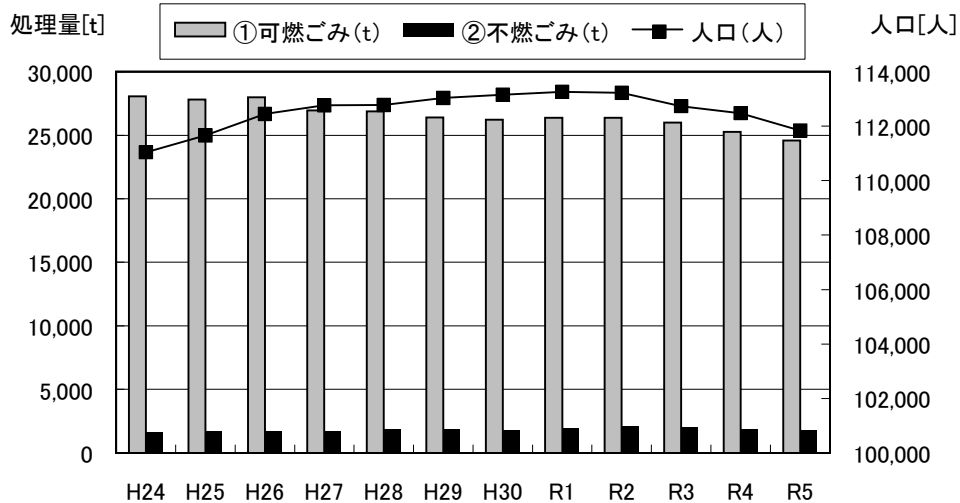
また、ごみ袋有料化前は35,000 tを超えるごみを処理する状態が続きましたが、有料化後はごみ減量に対する意識が高まり、ごみの処理量は減少しています。本年度のごみ処理量の合計は前年度から微減し約26,747 tとなりました。

<ごみ処理の状況 対前年度増減> (単位：t、千円)

		3年度	4年度	5年度
可燃ごみ	処理量	25,995 (△ 377)	25,256 (△ 739)	24,577 (△ 679)
	処理費用	382,826 (6,025)	319,908 (△ 62,918)	363,205 (43,297)

不燃 ごみ	処理量	1,990 (△ 122)	1,836 (△ 154)	1,774 (△ 62)
	処理費用	205,595 (△ 70)	203,291 (△ 2,304)	218,637 (15,346)
緑のリ サイクル	処理量	452 (78)	447 (△ 5)	396 (△ 51)
	処理費用	18,857 (0)	18,857 (0)	18,857 (0)
合計	処理量	28,437 (△ 421)	27,539 (△ 898)	26,747 (△ 792)
	処理費用	607,278 (5,955)	542,056 (△ 65,222)	600,699 (58,643)

※ 上段は実績、下段は対前年度増減



4款2項2目
4-5-30
環境課

古紙等集団回収報償金交付事業

当初予算額 20,179 千円 最終予算額 17,688 千円

決算額 16,730 千円

【目的】

燃えるごみの中で一番多い紙類の減量のため、リサイクル可能な古紙の集団回収を支援することで、ごみの減量及び資源の有効利用並びに環境意識の普及向上を図る。

【内容】

古紙等の集団回収を実施する登録団体に対して、1kgにつき9円の報償金を交付し、古紙等集団回収を促進しました。

<実績の推移>

	3年度	4年度	5年度
団体数	87	86	85
集団回収量 (kg)	2,122,631	2,073,840	1,856,365
対前年度比 (%)	△ 1.6	△ 2.3	△ 10.5

【成果】

古紙等集団回収団体として85団体の登録があり、1,856,365kgの古紙等を集団回収することで、資源の有効利用と焼却処理費用の節減ができました。

また、集団回収を通じた環境意識の醸成とともに、報償金による登録団体の活動支援にもつながりました。

生ごみ減量事業

当初予算額 1,264 千円 最終予算額 1,264 千円

決算額 1,129 千円

【目的】

一般家庭における生ごみの自家処理の促進を図り、もって燃えるごみの排出量及び当該処理費用の削減に資する。

【内容】

生ごみを堆肥化するダンボールコンポストの講習会を実施するとともに、生ごみを自家処理するための用具等の購入補助を行いました。

1 ダンボールコンポスト講習会

講習会の内容については、初心者向けの「基本講座」だけでなく、経験者向けの「フォロー講座」、夏休みの自由研究として「夏休みコンポスト親子講座」を準備し、継続支援も行いました。

<講習会実施状況>

開催場所	講習会の内容	開催回数 (回)	参加者数 (人)	開催費用 (円)
本庁舎	基本講座	2	25	講師謝金 256,880 教材購入費 93,240 会場使用料 2,030
	フォロー講座	2	15	
	夏休みコンポスト親子講座	2	25	
ふれあい文化センター	基本講座	1	10	教材購入費 93,240 会場使用料 2,030
	フォロー講座	1	11	
市内小中学校	基本講座	1	48	2,030
合計		9	134	352,150

2 生ごみ処理機等購入費補助

生ごみ処理機等対象品目の購入金額の半額を補助しました。

<補助内容>

	補助対象	補助額上限 (円) ただし、購入金額の2分の1までとする。
生ごみ処理機等購入費補助	生ごみ処理機	20,000
	生ごみ堆肥化容器	3,000
	ダンボールコンポストセット	1,000
	ダンボール箱	100
	ダンボールコンポスト基材、竹チップ及びぼかし	各 150
ダンボールコンポスト用具購入費補助	ダンボールコンポストセット	1,000
	ダンボール箱	100
	ダンボールコンポスト基材	300
	虫除けカバー	800

<補助実績>

	補助対象	補助世帯 (世帯数)	補助件数 (件)	補助額 (円)
生ごみ処理機等購入費補助	生ごみ処理機	41	36	627,750
	生ごみ堆肥化容器		6	11,630
	ダンボールコンポストセット		0	0
	ダンボール箱		0	0
	ダンボールコンポスト基材、竹チップ及びぼかし		3	600
ダンボールコンポスト用具購入費補助	ダンボールコンポストセット	123	29	29,000
	ダンボール箱		117	11,700
	ダンボールコンポスト基材		270	81,000
	虫除けカバー		19	15,200
合計		164	480	776,880

	【成果】 講習会の参加者134名にコンポストの啓発を行い、また、480件の用具等の購入費補助を行うことで生ごみ減量に寄与しました。																	
2款1項1目 4-6-40 安全安心課	春日市業務継続計画更新事業 <table><tr><td>当初予算額</td><td>2,571 千円</td><td>最終予算額</td><td>2,571 千円</td></tr><tr><td>決算額</td><td>2,071 千円</td><td></td><td></td></tr></table> 【目的】 春日市業務継続計画（BCP）を更新し、災害時に市民の安全と安心を守るため、市職員がいち早く災害対応業務にあたることのできるよう、実効性の高いものに更新する。 【内容】 BCPは、平成30年度に策定しましたが、策定から5年が経過し、市の組織変更等の環境の変化に伴い更新する必要が生じました。 また、更新にあたっては、実働する職員の視点から非常時優先業務を洗い出し、マニュアル化する等、実効性の高い計画にする必要があったため、災害対策本部の各部から職員を招集し、庁内にプロジェクトチーム（PT）を立ち上げました。 また、防災・危機管理の専門家にアドバイス業務を委託し、適宜事務局及びPTへのアドバイスを受けながら更新を進めました。 ＜専門家による研修及びアドバイス＞ <table><tr><td>PTへの研修</td><td>事務局へのアドバイスミーティング</td></tr><tr><td>2回</td><td>13回</td></tr></table> 【成果】 発災後3日以内に着手しなければいけない業務を整理し、それぞれの業務マニュアルを職員自ら作成したことにより、災害による市民生活への影響を最小限に抑え、可能な限り市の通常業務を継続または早期に再開するため、実効性の高いBCPに更新することができました。	当初予算額	2,571 千円	最終予算額	2,571 千円	決算額	2,071 千円			PTへの研修	事務局へのアドバイスミーティング	2回	13回					
当初予算額	2,571 千円	最終予算額	2,571 千円															
決算額	2,071 千円																	
PTへの研修	事務局へのアドバイスミーティング																	
2回	13回																	
2款1項1目 4-7-10 安全安心課	防犯灯補助事業 <table><tr><td>当初予算額</td><td>15,360 千円</td><td>最終予算額</td><td>15,360 千円</td></tr><tr><td>決算額</td><td>12,668 千円</td><td></td><td></td></tr></table> 【目的】 自治会が公共的な場所に設置する防犯灯の設置費、管理費及び電灯費の補助をすることで、設置の促進と維持管理の万全を期し、安全安心なまちづくりを推進する。 【内容】 自治会からの申請に基づき、防犯灯の設置費、管理費及び電灯費に対する補助金を交付しました。 また、省エネ化をより一層推進するために、自治会に対してLED灯の推奨を行いました。 ＜防犯灯設置費等補助金の交付状況＞ <table><tr><td></td><td>対象数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>設置費（取替を含む）</td><td>306灯</td><td>5,179千円</td></tr><tr><td>管理費・電灯費</td><td>5,590灯</td><td>7,490千円</td></tr></table> 【成果】 新たに39灯の防犯灯を設置し、267灯の防犯灯をLED灯に取り替えました。このことにより、省エネ化が進むとともに、安全安心なまちづくりの推進に寄与しました。 また、市内に設置された防犯灯のうちLED灯の割合は99.5%となりました。	当初予算額	15,360 千円	最終予算額	15,360 千円	決算額	12,668 千円				対象数	補助金額	設置費（取替を含む）	306灯	5,179千円	管理費・電灯費	5,590灯	7,490千円
当初予算額	15,360 千円	最終予算額	15,360 千円															
決算額	12,668 千円																	
	対象数	補助金額																
設置費（取替を含む）	306灯	5,179千円																
管理費・電灯費	5,590灯	7,490千円																

7款1項3目
4-7-20
人権男女共
同参画課

詐欺被害防止対策事業

当初予算額 2,691 千円 最終予算額 2,288 千円

決算額 2,234 千円

【目的】

県内及び市内において、ニセ電話詐欺の被害の認知係数及び被害金額ともに増加傾向にあるため、その被害防止に係る啓発を図る。

【内容】

<ニセ電話詐欺等被害防止対策事業>

送付期間	5年7月31日～8月7日
送付対象者	市内の75歳以上の高齢者
送付件数	13,140件（内訳 関係団体：244件、市民：12,896件）
送付方法	啓発はがきを郵送（関係団体には直接手渡し等で配付）

【成果】

福岡県警（春日警察署）と連携し、管内で頻繁に起こっている詐欺の手口（オレオレ詐欺等）、詐欺に対する対応策、迷惑電話撃退機能付き電話機（まっ太フォン）、県警及び市の相談機関等を紹介したはがきを送付することで、市民への啓発、注意喚起を行い、詐欺被害の未然防止へ寄与しました。

7款1項3目
4-7-20
人権男女共
同参画課

消費生活センター事業

当初予算額 7,169 千円 最終予算額 6,344 千円

決算額 5,702 千円

【目的】

消費者被害を防止することで、市民の消費生活の安定及び向上を図る。

【内容】

<春日市消費生活センター開設状況>

開設日	月曜日から金曜日まで
開設時間	午前10時～午後0時15分、午後1時～午後4時
閉館日	土・日祝日、年末年始
体制	2名で相談対応

オンライン等による各種研修等に参加することで、消費生活相談員の更なるスキルアップを図りました。

<各種研修会（一例）参加状況>

研修名	場所
消費生活相談員研修 専門・事例講座	国民生活センター
消費生活相談員研修 基礎力強化	オンライン参加
消費者安全確保地域協議会設置促進研修	オンライン参加

民法改正に伴う成年年齢の引き下げに伴い、市内中学校の3年生に対し、消費者教育講座を実施しました。

<中学3年生消費者教育講座実施状況>

学校名	参加人数	学校名	参加人数
春日南中学校	244人	春日北中学校	101人
春日中学校	138人	春日野中学校	236人
春日西中学校	168人	春日東中学校	181人

市民の消費生活の安定及び向上を図るため、出前講座を実施しました。

<出前講座実施状況>

団体名	参加人数
泉地区自治会	18人
春日原南地区ぶどうの会	15人

【成果】

消費者被害の市民窓口として消費生活相談員と連携を図り、多くの市民を救済することができました。

また、消費者教育講座及び出前講座を実施することで、それぞれの世代に発生しがちなトラブル、悪質商法の手口と対策を教授し、消費者被害の未然防止へ寄与しました。

＜相談件数及び救済金額（被害の回復・防止に至った金額）の推移＞

	3年度	4年度	5年度
相談件数（件）	803	808	792
救済金額（円）	15,656,053	17,233,477	8,431,889

第5章 行政経営

(単位：千円)

施 策 区 分	施 策	決 算 額	ページ
0 行政経営 総務	00 -	64,454	
1 効果的・効率的な行政運営	00 効果的・効率的な行政運営 総務	392,767	104
	10 行政マネジメントの推進	4,012	
	20 職員の人材育成と組織力の向上	3,302,188	104
	40 広域行政の推進	175	
	50 電子自治体の推進	224,777	106
	60 窓口サービスの向上	178,793	108
2 持続可能な財政運営	10 持続可能な財政運営	2,981,839	
	20 自主財源の確保	175,521	109
	30 市税の適正課税	81,622	
	40 市税収納率の向上と滞納額の縮減	57,387	
	50 公共施設等の適正な管理と有効活用	1,223,316	110
3 透明性・公平性の高い行政運営	10 行政の透明性の確保	14,461	
	20 適正な財務事務処理	15,517	
	30 監査機能の充実	2,640	
	40 円滑な議会運営	201,824	
	50 選挙の適正な執行と投票率の向上	63,294	
9 その他行政経営	00 -	990	
小 計		8,985,577	

※ 章の構成は、第6次春日市総合計画の施策体系（事業コード）と一致しています。

※ 会計間で重複する支出については、決算額から一方を控除しています。

※ ページ番号があるものは、主な事業内容を掲載しています。

予算科目 施策体系 担当課	施策の概要及び成果			
2款1項6目 5-1-00 経営企画課	旧春日運動広場下段活用等基本構想策定事業			
	当初予算額		0 千円	最終予算額 3,564 千円
	決算額		3,564 千円	
	【目的】 旧春日運動広場上段部分への分譲住宅地の整備後、長く検討を続けてきた下段部分の活用方針と、世帯数の増加に伴い延床面積の増加が課題となっている平田台コミュニティ供用施設の改修方針を、基本構想として定めることで後年度の円滑な事業の推進に資する。			
	【内容】 旧春日運動広場下段は、市域が狭い本市においては、貴重なまとまった土地であるため、様々な政策分野でのニーズの整理を行い、地元の平田台地区自治会等の関係者との協議を経て、以下のとおり基本構想を取りまとめました。			
	旧春日運動広場下段		平田台コミュニティ供用施設	
概要	所在地 敷地面積 その他	平田台5丁目1番地1 9,162.37㎡ 第1種低層住居専用地域、 高さの限度10m	所在地 敷地面積 延床面積 建築年月	平田台4丁目32番地 587.17㎡ 350.70㎡ 平成8年3月（建築後28 年経過）
検討方針	①平田台コミュニティ供用施設の改修方針を主軸に、上段部分は宅地開発が完了していることや、下段部分は地域住民によって広場として活用されていること等を考慮すること ②近接する住宅地との調和を図りつつ、平田台地区の福祉・生活利便性の向上、全市的な課題解決等の視点を持つこと		「現地増築案」と「移転新設案」を作成し、以下の点で比較検討 ①現施設での課題や平田台地区の要望の解消・解決の度合い ②事業費（建設費及び後年度の維持管理費）の優位性	
方針（検討結果）	以下の機能を配置 ①平田台コミュニティ供用施設 ②福祉・生活利便性向上機能（高齢者施設の誘致候補地の1つに位置付け） ③公園 ④防災機能（広域避難場所としての機能の充実、消防団女性部格納庫の移転、消防団操法訓練場所の確保）		「移転新設案」を採用（理由） ①現施設の課題解消や平田台地区の要望解決という点で「移転新設案」が優位 ②建設費は「現地増築案」が約30%低い、有利な国庫補助金の活用可能性や後年度の維持管理費を考慮すると、総合的には「移転新設案」が優位	
＜元施設・跡地に関する方針＞ 今後の人口減少を見据え、公共施設の維持管理費を抑制する観点から、原則として、元施設は、廃止・解体、底地は売却することとし、必要に応じ活用も検討することになりました。				
【成果】 旧春日運動広場下段の活用方針と平田台コミュニティ供用施設の改修方針を基本構想として定めることで、後年度の円滑な事業の推進に寄与しました。				
2款1項1目 5-1-20 人事課	職員採用試験事業			
	当初予算額		4,948 千円	最終予算額 3,221 千円
	決算額		2,860 千円	

【目的】

幅広い層から優れた人材を職員として採用し、組織力の向上を図る。

【内容】

引き続き優れた人材を職員として採用するため、他自治体の日程に先駆けて採用試験を実施しました。

＜主な実施内容＞

- 1 人材確保に向けた競争力を強化するため、民間企業志望者の就職活動時期に合わせて、募集を開始しました。
- 2 第一次試験は、受験者が遠隔地でも受験でき、かつ、受験者の能力を的確に検証できる総合能力試験（SPI3）を実施しました。
- 3 第二次試験は、応募の間口を広げるため、受験者が遠隔地でも受験できるWEB面接を実施しました。
- 4 第二次試験以降、各試験段階の受験者が優れた人材かを見極めるため、採用者を決めるまでに面接試験を3回実施しました。

【成果】

採用予定人員に対する受験申込者数は全体で見ると減少しましたが、申込倍率が115.2倍となり、質の高い職員を採用することで、組織力の向上を図るとともに、市民サービスの向上に寄与しました。

また、人物重視の採用試験を実施することで、多様な人材の確保による組織力の向上を図ることができました。

年度	試験区分	採用予定 人員 (①)	受験申込者 数 (②)	申込倍率 (①/②)	採用者数
3年度	一般事務（大卒）	4人	704人	176倍	6人
	保健師	1人	45人	45倍	3人
	保育士	2人	28人	14倍	3人
	土木	1人	77人	77倍	1人
	文化財技師	1人	7人	7倍	1人
	一般事務（障がい）	1人	22人	22倍	1人
	計	10人	883人	88.3倍	15人
4年度	一般事務（大卒）	8人	758人	94.8倍	18人
	保育士	1人	22人	22倍	2人
	土木	1人	69人	69倍	3人
	計	10人	849人	84.9倍	23人
5年度	一般事務（大卒）	2人	534人	267倍	7人
	文化財技師	1人	14人	14倍	2人
	土木	1人	15人	15倍	3人
	一般事務（障がい）	1人	13人	13倍	1人
	計	5人	576人	115.2倍	13人

2款1項1目
5-1-20
人事課

職員研修事業

当初予算額 6,550 千円 最終予算額 4,257 千円

決算額 3,727 千円

【目的】

各種研修を実施し、職員個々の資質の向上や意識改革を図り、組織全体の活性化に資する。

【内容】

市民サービスの向上のために、市の組織が最大の効果を発揮することができるよう、「春日市人材育成基本方針」に基づき、職員研修を企画し実施するとともに、研修機関等に職員を派遣しました（各所属において職員を派遣した研修等を除く）。

また、前年度に引き続き、職員が業務に資する資格を取得した場合の費用を一部助成する「資格取得助成」及び育児休業中の職員を対象とした「通信教育受講助成」を併せた「自己啓発支援助成制度」を実施し、職員の自己啓発、資質向上を支援しました。

＜市企画の研修＞

研修名	開催回数	参加人数
新規採用職員研修	1	23
新規採用職員フォローアップ研修（第1部）	1	23
新規採用職員フォローアップ研修（第2部）	1	22
財務会計事務・文書事務研修（新任監督職職員）	1	9
入庁3年目職員研修	1	12
My総合計画（新規採用職員）（10月）	1	23
My総合計画（新規採用職員）（2月）	1	23
メンタルヘルス研修（希望する職員、各部から3～5名程度の推薦を受けた管理監督職職員）	2	63
リーダーシップとコーチング研修（5年4月1日時点で37～39歳に到達している主任級職員）	1	35
業務効率化研修（希望する主事級・主任級職員）	1	26
レジリエンス研修（希望する主事級・主任級職員）	1	27
中堅職員研修（主査級職員）	2	52
会議の生産性向上研修（監督職職員）	2	67
業務改善研修（課長級職員）	1	31
コンプライアンス研修（映像研修）（会計年度任用職員を含む全職員）	1	716
自治体DX研修（社会保障・税番号制度と行政手続のオンライン化）（マイナンバー利用事務及び関係事務に従事する職員（会計年度任用職員を含む。））	5	112
人権研修（会計年度任用職員を除く全職員）	5	337
人権研修（部課長級職員）	1	38
新任課長研修（評価者研修）	1	5
人事評価制度に係る被評価者研修（主任級及び主事級職員）	4	83
人事評価制度に係る評価者研修（部課長級職員）	2	46
人事評価制度研修（新規採用職員）	1	23

＜派遣研修＞

研修実施機関	派遣講座数	参加人数
福岡県市町村職員研修所	79	169
市町村職員中央研修所	6	6
全国市町村国際文化研修所	1	1
福岡県建設技術情報センター	13	20
その他（政策課題研修）	4	4

＜自己啓発支援助成＞

資格・コース名称	助成人数
資格取得 Excel自由自在他	2
通信教育 FP技能検定3級他	2

【成果】

庁内研修や外部機関への派遣研修等の多様な研修への参加を通じて、職員個々の業務処理能力の向上や業務上必要となる専門知識の習得、また、働く意欲の向上が図られました。研修に参加した職員の資質向上が、結果として組織全体の活性化、活力推進につながり、より良い市民サービスの提供に寄与しました。

2款1項7目
5-1-50
デジタル政策課

RPA活用事業

当初予算額 2,651 千円 最終予算額 2,266 千円

決算額 2,266 千円

【目的】

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を活用することにより、ロボットでも処理可能な定型的業務の事務処理を効率化し、行政サービスの維持及び向上を図る。

【内容】

元年度からRPAの活用を試行し、効果検証のうえ、3年度から本格導入しました。RPAツール「WinActor」を使用し、定型的な業務をパソコン上で自動処理させるシナリオを作成し、実行することで、職員が手作業で行っていた業務をRPAツールに処理させて、事務処理時間を削減しました。

＜RPAにより自動処理を行った主な業務及び削減時間＞

業務名	業務所管	削減時間
預貯金調査業務	収納課収納推進担当	422 時間
国民健康保険療養費支給登録業務	国保医療課国保担当	394 時間
業者登録業務	財政課契約担当	300 時間
課税支援システム税務LANのデータ更新業務	税務課市民税担当	180 時間
介護保険被保険者証発行業務及び発行履歴修正業務	高齢課介護保険担当	177 時間
保育士出勤表IPK入力業務	こども未来課昇町保育所	160 時間
他 5業務		84 時間
計		1,717 時間

【成果】

RPAの活用により、定型的な業務の処理時間を1,717時間／年（人件費換算：約3,671千円）削減できました。このことにより、企画立案業務や市民への直接的なサービスの提供等に、より多くの時間及び人的資源を振り向けることができるようになりました。

また、RPAを活用しているほとんどの所管において、前年度に比べ時間外勤務が減少しており、職員の働き方改革の推進に寄与しました。

2款1項7目
5-1-50
デジタル政策課

デジタルデバйд対策事業

当初予算額 0 千円 最終予算額 1,162 千円

決算額 1,162 千円

【目的】

全ての市民が、デジタルの恩恵を享受できるようデジタルデバйд（情報格差）の解消を進める。

【内容】

1 スマホ教室@スマサポ号

専用車両内でスマホ教室をオンライン受講できる出張型小型セミナーです。

5年3月から9月にスマホ教室@スマサポ号を試行実施し、27回の開催で延べ161名が参加しました。

この教室は、専用車両内で行われるという特徴から、市役所以外の公共施設等でも開催・受講可能であり、交通弱者の側面も持つ高齢者へのアプローチ方法として有効です。また、貸出機を利用して受講するため、スマートフォンを所持していない人でも参加できます。

この教室への参加をきっかけに、主に高齢者層がスマートフォンを活用するようになることを期待できたため、文部科学省「国民のデジタルリテラシー向上事業」補助金を申請し、事業を本格実施しました。5年10月から6年3月に24回開催し、延べ156人が参加しました。

2 スマホ何でも相談会

スマートフォンに関する疑問や悩みを解決することを目的として、通信事業者のスマホアドバイザーが来場者の相談を受ける事業です。5年3月から6年3月に市内の公共施設等で50回実施し、延べ327人が参加しました。

なお、費用は通信事業者との事業連携協定により、無償で実施しています。

3 スマホ教室コーディネート事業

スマホ教室の開催を希望する市民とスマホ教室開催事業者を本市がつなぐ事業です。希望者が準備した会場に講師及びサポートスタッフが訪問し、貸出機を使用してスマホ教室を開催することができます。

なお、費用は通信事業者との事業連携協定により、無償で実施しています。

【成果】

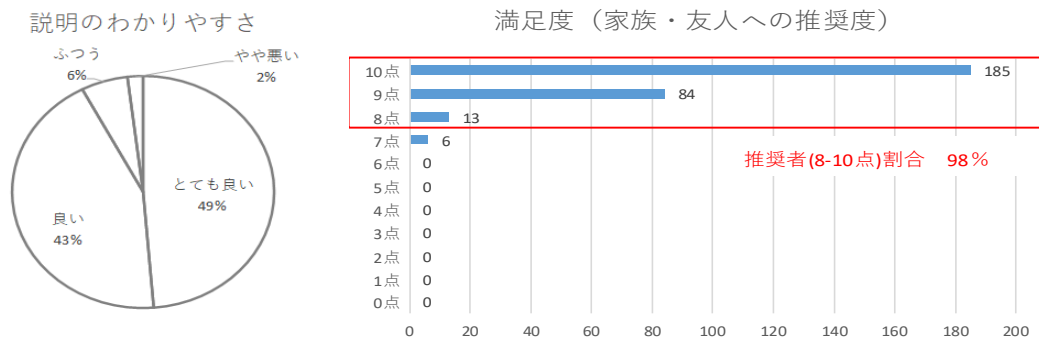
1 スマホ教室@スマサポ号

60歳以上の参加者が非常に多く、全体の97%を占めました。

参加者の満足度は非常に高く、講座のわかりやすさについて92%が「とても良い・良い」と評価しました。また、参加者の98%が家族や友人に参加を推奨したいと回答し、複数回参加した方は全体の55%となりました。

特に、「Androidの使い方」（出席率64.1%）「スマホを触ってみよう」（出席率40.9%）等の基礎講座への出席者が多い傾向があります。

参加者が周囲に推奨あるいは継続的に利用したいと考える有益な講座を提供したことにより、高齢者がスマートフォンに触れ、利用を始める機会の創出に寄与しました。



2 スマホ何でも相談会

60歳以上の参加者が非常に多く、全体の93%を占めました。また、28%の参加者が、スマホ教室@スマサポ号に参加したうえで相談に訪れており、講座受講と相談の相互作用によりスマートフォンへの関心が一層高まったものと考えられます。

これまで、スマートフォンの利用を通話機能を中心としていた相談者から、カメラやLINE、キャッシュレス決済等多様な機能の利用方法について相談を受ける等、スマートフォンの活用のきっかけとなりました。

また、5年7月に市民向けのキャッシュレス商品券の利用者サポートを実施し、33人からサポートの希望を受ける等、地域の活性化の一助となりました。

3 スマホ教室コーディネーター事業

本年度には自治会や任意団体等から受講申し込みがあり、2回のスマホ教室実施につながりました。既にスマートフォンを所有している人の参加が多く、受講後には、「所有している機種を使いこなしたい」、「スマートフォンを生活に取り入れたい」といった反応があり、スマートフォンの利活用に対する意欲が高まる機会となりました。

2款3項1目
5-1-60
市民課

マイナンバーカード交付事業

当初予算額 58,110 千円 最終予算額 59,350 千円

決算額 58,354 千円

【目的】

市民生活の利便性の向上、行政サービスの効率化を図るため、マイナンバーカードの普及を推進する。

【内容】

マイナンバーカードの円滑な交付、電子証明書の更新やパスワードの再設定等を実施するために会計年度任用職員（マイナンバーカード推進員）を前年度と同程度任用し、窓口体制を整えました。

あわせて、人材派遣を活用し、人員を確保することで月4回程度の休日開庁を継続して行い、交付だけでなく、申請サポートやマイナンバーカードに係る各種手続きを受け付けました。

また、公民館、商業施設や住宅型有料老人ホーム等に出張し、マイナンバーカードの申請サポートや申請の受付、マイナポイントの申請支援等を行いました。

＜マイナンバーカード交付件数及び交付率等＞

	年間申請数	年間交付数	うち休日交付数	休日開庁回数	年度末交付率（％）
3年度	13,341	17,324	3,939	39	46.5
4年度	37,336	28,047	5,659	46	71.3
5年度	4,622	10,680	2,000	46	81.1

＜出張申請実績＞

実施場所	公民館	商業施設	イベント会場	小学校	老人ホーム
実施回数	16	3	3	1	2

【成果】

マイナンバーカードの申請が困難な人のために、公民館等で申請サポートを行うことで、マイナンバーカードの普及と行政手続きのオンライン化への基盤整備を進めることに寄与しました。

また、休日開庁を継続して実施することで来庁機会を拡大し、窓口の混雑の解消を図ることができました。

本市の交付率は、県内市町村での順位は12位です（10万人を超える人口規模の自治体では県内1位）。

2款1項1目
5-2-20
経営企画課

かすがふるさと応援寄附金推進事業

当初予算額 314,947 千円 最終予算額 178,874 千円

決算額 176,639 千円

【目的】

ふるさと納税制度を活用して、本市を応援する寄附者を増やすとともに、返礼品の提供を通じて、本市のPR及び市内事業者の振興を図る。

【内容】

プロモーション、申込受付及び返礼品手配等を業務委託し、ウェブサイトを活用したふるさと納税（かすがふるさと応援寄附金）の推進事業を実施しました。

また、前年度から引き続き「クラウドファンディング型ふるさと納税」を実施し、文化財の活用、文化の振興及び都市整備等様々な分野で寄附を受け付けました。

＜ふるさと納税件数と寄附金額＞

月	4	5	6	7	8	9
件数（件）	843	826	945	1,000	1,054	1,194
金額（千円）	9,925	9,456	10,952	13,380	12,167	15,638

月	10	11	12	1	2	3	合 計	（前年度）
件数（件）	7,722	1,825	2,037	4,324	469	521	22,760	33,246
金額（千円）	100,559	22,210	34,537	82,739	7,220	8,739	327,522	385,485

＜クラウドファンディングの件数と寄附金額＞

プロジェクト名	件数（件）	金額（円）
みんなで西鉄春日原駅の壁面をつくろうプロジェクト	117	2,642,000
みんなのホールをパワーアップ！スプリングホール改修事業	39	430,000
奴国王墓の副葬品を再現したい！	13	130,000

＜寄附金の使途メニュー別内訳＞

使途メニュー	割合（％）
若い世代の結婚から子育てまでの希望がかなうまちづくり	24.0
九州で最も住みやすい魅力あるまちづくり	6.5
超高齢・人口減少社会に対応した持続可能なまちづくり	5.5
市長おまかせコース	64.0

<ふるさと納税者の居住地域内訳>

居住地域	割合 (%)
関東地方	46
近畿地方	18.9
中部地方	14.4
九州地方	7.9
北海道・東北地方	6.3
中国地方	4.1
四国地方	2.4

さらに、本市のまちづくりを支援したいと申し出のあった市外の企業から「企業版ふるさと納税」の寄附を受けました。

<企業版ふるさと納税の件数と寄附金額>

使途メニュー	件数 (件)	金額 (円)
若い世代の結婚から子育てまでの希望がかなうまちづくり事業	4	2,700,000
九州で最も住みやすい魅力あるまちづくり	2	1,100,000
超高齢・人口減少社会に対応した持続可能なまちづくり事業	1	100,000
その他	2	200,000

【成果】

ふるさと納税の募集に係る経費を削減するため、より安価な中間管理業者に業務を委託するとともに、返礼品を提供する新規事業者の開拓及び新たな返礼品の開発促進を行う等、寄附の拡大に努めましたが、制度改正に伴う返礼率の見直しや年々激化するふるさと納税の全国的な競争のあおりを受け、寄附額は前年度比で57,963千円（15%）減少しました。

その一方で、企業版ふるさと納税においては、新たに募集に係る業務を委託することで、寄附額が前年度比で3,650千円（811.1%）増加しました。

また、3つのプロジェクトにおいてクラウドファンディング型ふるさと納税を実施しました。合計3,202千円の寄附をいただき、各プロジェクトの推進に寄与しました。

2款1項5目
5-2-50
経営企画課

春日市公共施設包括管理を軸にした総合サービス事業

当初予算額 345,018 千円 最終予算額 236,915 千円

決算額 229,889 千円

【目的】

民間事業者の経験を活用し、公共施設の安全性の向上、長寿命化・効率化やユーティリティサービスの調達の最適化を目指す。

【内容】

1 施設包括管理

専門的な視点で複数の公共施設を包括して維持管理を行い、利用者の安全性の向上、施設の長寿命化を図りました。

対象施設数	対象施設名称
10施設	昇町保育所、福祉ばれっと館、いきいきプラザ、奴国の丘歴史公園遺構覆屋、奴国の丘歴史資料館、埋蔵文化財収蔵庫、民俗資料館、のぼり窯体験広場、男女共同参画・消費生活センター、星の館

(1) 保守点検：22業務の保守点検を遅延なく実施しました。

(2) 巡回点検：専門家目線で毎月1回の定期点検に加え、機器不具合調査の臨時点検を6回実施しました。不具合報告件数は249件でした。

(3) 修繕業務：優先順位を決定し不具合を迅速に対応しました。小修繕66件、内製化修繕9件、軽微な作業73件を実施しました。

2 ユーティリティサービス

複数の公共施設の電気（26施設）、ガス（7施設）について一括して提供を受けることでコスト削減を図りました。

【成果】

1 施設包括管理

包括的な管理により、公共施設の安全性の向上、長寿命化・効率化が図られました。また業務全体のコスト削減額は、約92万円となりました。

2 ユーティリティサービス

燃料市況高騰の中、できるだけリスクの少ないメニューで契約更新し安定供給を確保しました。電気については一部契約メニューを見直した結果、コスト削減額は約10万円、ガスについてはコスト削減額は約152万円となりました。

2款1項5目
5-2-50
管財課

市庁舎長寿命化事業

当初予算額 243,520 千円 最終予算額 248,279 千円

決算額 238,000 千円

【目的】

市庁舎の長寿命化を図る。

【内容】

市庁舎の長寿命化の一環として各種設備の更新及び更新に向けた設計を行いました。

改修内容	工事期間
行政棟アトリウム防火設備改修工事	5年4月18日～6年1月17日
電気設備機能強化改修工事	5年6月7日～7年3月21日予定
行政棟全熱交換器更新工事	5年1月26日～9月29日
特定天井改修工事設計監理業務（設計）	4年4月13日～8年3月20日予定
大会議棟エレベーター更新工事	5年5月18日～12月25日
誘導灯更新工事	5年4月19日～6月29日

【成果】

各設備の改修工事等を実施し、市庁舎の長期活用ができるように改善を図ることができました。

令和5年度入札執行状況

(令和6年3月31日現在)

【建設工事】

(単位：件・千円)

区分	130万円未満	130万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上 7,500万円未満	7,500万円以上 1億円未満	1億円以上 2億5千万円未満	2億5千万円以上	合 計
建築工事	0	0	1	0	2	2	5	2	1	13
	0	0	5,995	0	87,450	124,850	428,518	278,080	572,000	1,496,893
土木工事	0	1	2	11	9	0	0	0	0	23
	0	3,960	17,798	171,050	271,733	0	0	0	0	464,541
舗装工事	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	0	0	0	46,970	0	0	0	0	0	46,970
電気工事	0	2	0	6	4	2	1	0	1	16
	0	6,490	0	90,640	136,070	123,200	77,000	0	537,350	970,750
その他	0	8	3	2	5	4	1	0	0	23
	0	24,424	23,837	28,710	141,405	261,910	96,800	0	0	577,086
合 計	0	11	6	22	20	8	7	2	2	78
	0	34,874	47,630	337,370	636,658	509,960	602,318	278,080	1,109,350	3,556,240

【建設コンサルタント】

(単位：件・千円)

区分	50万円未満	50万円以上 100万円未満	100万円以上 400万円未満	400万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上	合 計
建築コンサル	0	0	2	4	0	2	8
	0	0	6,754	24,915	0	123,057	154,726
土木コンサル	0	0	6	7	3	2	18
	0	0	16,236	47,891	34,034	62,590	160,751
その他	0	0	2	1	1	0	4
	0	0	6,358	4,048	13,310	0	23,716
合 計	0	0	10	12	4	4	30
	0	0	29,348	76,854	47,344	185,647	339,193

【物品・役務】

(単位：件・千円)

区分	50万円未満	50万円以上 100万円未満	100万円以上 400万円未満	400万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上 1億円未満	1億円以上	合 計
物品・役務	9	14	26	13	3	2	2	0	69
	3,774	10,645	57,710	77,899	40,901	65,791	112,672	0	369,392

※ 上段は入札件数、下段は契約金額の累積額です。

※ 単価契約、定価に対する納入率による契約及び歳入に係る契約は含まれていません。

令和 5 年度 用地取得状況

(令和6年3月31日現在)

区 分	事 業 名	事業箇所	説 明			
街路	西鉄春日原駅周辺整備事業	春日原東町	用地	1 件	32.25 m ²	
	那珂川宇美線整備事業 (受託事業)	下白水南	用地	4 件	456.22 m ²	補償 21 件
	長浜太宰府線整備事業 (受託事業)	須玖北	用地	5 件	1,024.75 m ²	補償 11 件
教育施設	須玖岡本遺跡整備事業	岡本	用地	1 件	280.20 m ²	

令和5年度土地の状況

(令和6年3月31日現在)

(土 地)

(単位：㎡)

区 分		前年度末 現在高	決裁年度 中増減高	決裁年度 末現在高	付 記
庁 舎	本 庁	25,125	0	25,125	
	(うち普通財産)	0	0	0	
	小 計	25,125	0	25,125	
学 校	春日小学校	20,038	0	20,038	
	春日東小学校	22,210	0	22,210	
	春日北小学校	17,105	0	17,105	
	春日原小学校	18,174	0	18,174	
	春日西小学校	24,131	0	24,131	
	須玖小学校	19,572	0	19,572	
	春日南小学校	23,425	0	23,425	
	大谷小学校	30,609	0	30,609	
	天神山小学校	27,053	0	27,053	
	春日野小学校	25,109	0	25,109	
	日の出小学校	19,932	0	19,932	
	白水小学校	23,609	0	23,609	
	春日中学校	21,914	0	21,914	
	春日東中学校	35,196	0	35,196	
	春日西中学校	25,081	0	25,081	
	春日南中学校	30,870	0	30,870	
	春日野中学校	30,003	0	30,003	
	春日北中学校	19,462	0	19,462	
	小 計	433,493	0	433,493	
	公営住宅	若草市営住宅	8,583	0	8,583
		大和市営住宅	1,485	0	1,485
		欽修市営住宅	6,373	0	6,373
		双葉市営住宅	5,920	0	5,920
		上白水市営住宅	1,599	0	1,599
		小 計	23,960	0	23,960
	行政財産	岡本保育所	1,494	-1,494	0 普通財産へ移行
		男女共同参画・消費生活センター	546	0	546
		昇町保育所	2,451	0	2,451
		すくすくプラザ（須玖保育所以外）	1,686	0	1,686
		浦の原集会所	496	-496	0 普通財産へ移行
		塚原台地区公民館	1,554	0	1,554
		白水池コミュニティセンター	1,466	0	1,466
		泉地区公民館	1,349	0	1,349
		大谷共同利用施設	1,657	0	1,657
		岡本コミュニティ供用施設	699	0	699
		春日原共同利用施設	517	0	517
		春日原南共同利用施設	661	0	661
		上白水地区公民館	1,096	0	1,096
		小倉東共同利用施設	477	0	477
		桜ヶ丘地区公民館	643	0	643
		下白水北コミュニティ供用施設	1,020	0	1,020
		須玖南地区公民館	1,034	0	1,034
		須玖北コミュニティ供用施設	873	0	873
		宝町共同利用施設	600	0	600
		ちくし台共同利用施設	702	0	702
		千歳町共同利用施設	728	0	728
		天神山コミュニティ供用施設	999	0	999
		昇町共同利用施設	863	0	863
		光町共同利用施設	440	0	440
		日の出町コミュニティ供用施設	766	0	766
		松ヶ丘地区公民館	900	0	900
		紅葉ヶ丘共同利用施設	599	0	599
		大和町共同利用施設	725	0	725
		若葉台東共同利用施設	1,095	0	1,095
		若葉台西共同利用施設	840	0	840
		惣利地区公民館	634	0	634
		平田台コミュニティ供用施設	587	0	587
		下白水南コミュニティセンター	1,079	0	1,079
		白水ヶ丘地区公民館	982	0	982
		サン・ビオ地区公民館	600	0	600

令和5年度土地の状況

(令和6年3月31日現在)

(土 地)

(単位：㎡)

区 分		前年度末 現在高	決裁年度 中増減高	決裁年度 末現在高	付 記
	大土居地区公民館	953	0	953	
	地区公民館用地	589	0	589	
	埋蔵文化財収蔵庫等	1,975	0	1,975	
	小倉コミュニティ供用施設	593	0	593	
	特別史跡水城跡（天神山）	16,931	0	16,931	
	特別史跡水城跡（大土居）	6,594	0	6,594	
	史跡日拝塚古墳	4,022	0	4,022	
	史跡須玖・岡本遺跡	8,487	280	8,767	
	赤井手古墳	2,036	0	2,036	
	竹ヶ本古墳	830	0	830	
	奴国の丘歴史公園	13,618	0	13,618	
	文化財施設	1	0	1	
	史跡候補地	3,149	0	3,149	
	千歳町消防車庫	138	0	138	
	北分団消防車庫	113	0	113	
	消防団員用駐車場	24	0	24	
	防災倉庫	116	0	116	
	神明緑地防火水槽	79	0	79	
	雪ヶ浦防火水槽	111	0	111	
	日拝塚防火水槽	16	0	16	
	ウトロ防火水槽	38	0	38	
	平田防火水槽	32	0	32	
	その他消防栓用地	797	0	797	
	毛勝児童センター	635	0	635	
	光町コミュニティセンター（光町児童センター）	934	0	934	
	白水児童センター	1,231	0	1,231	
	老人福祉センター（ナギの木苑）	11,676	0	11,676	
	福祉ばれっと館	2,445	0	2,445	
	シルバー人材センター	815	0	815	
	旧不燃物小屋用地	932	0	932	
	旧不燃物小屋（防火水槽用地）	81	0	81	
	リサイクルプラザ緩衝緑地	5,948	0	5,948	
	春日運動広場	9,181	0	9,181	
	総合スポーツセンター	39,909	0	39,909	
	西野球場	3,028	0	3,028	
	ふれあい文化センター	12,818	0	12,818	
	ふれあい文化センター駐車場	1,001	0	1,001	
	総合文化スポーツゾーン	2,066	0	2,066	
	いきいきプラザ	4,340	0	4,340	
	いきいきプラザ職員駐車場	182	0	182	
	市営駐車場	1,992	0	1,992	
	駐輪場	0	0	0	
	都市計画事業用財産	11,855	0	11,855	
	溜池保全	81,363	0	81,363	
	環境整備事業水路用地	4	0	4	
	水路整備事業	23	0	23	
	公園進入路用地取得事業用地	127	0	127	
	春日市西野球場隣接地	15,286	0	15,286	
	ぶどうの庭（まちづくり支援センター）	0	1,713	1,713	
	小 計	301,972	3	301,975	
*公 園	公園 ・ 緑地等	523,707	0	523,707	
	小 計	523,707	0	523,707	

令和5年度土地の状況

(令和6年3月31日現在)

(土 地)

(単位：㎡)

区 分		前年度末 現在高	決裁年度 中増減高	決裁年度 末現在高	付 記
普通財産	春日警察署用地（貸地）	2,528	0	2,528	「庁舎（うち普通財産）」から移行（2042年までの契約）
	旧春日原交番	0	0	0	
	春日原交番	197	0	197	仮移転地
	春日南交番	363	0	363	
	春日中央保育園	2,282	0	2,282	
	若竹保育園	1,715	0	1,715	
	あいあい保育園	590	0	590	
	まみい保育園	1,002	0	1,002	
	春日原保育所	1,662	0	1,662	
	岡本保育所	0	1,494	1,494	公私連携型保育所へ移行
	白水保育所	2,690	0	2,690	
	大和保育所	1,550	0	1,550	
	須玖保育所	2,249	0	2,249	
	ぶどうの庭（旧須玖保育所）	1,713	-1,713	0	行政財産へ移行
	社会福祉協議会	1,708	0	1,708	
	墓地	1,044	0	1,044	
	岡本忠霊塔	299	0	299	
	白鬚稲荷	211	0	211	
	かすがの郷	14,089	0	14,089	
	中継基地緩衝地	0	0	0	
	春日大野城消防署跡地	0	0	0	
	商工会	2,530	0	2,530	
	社会福祉協議会・昇町保育所駐車場	988	0	988	旧福祉関係団体連絡事務所
	昇町市営住宅跡地	0	0	0	
	代替地	9,093	0	9,093	
	はるかぜ作業所	1,860	0	1,860	
	旧不燃物小屋用地	23	0	23	
	春日運動広場	0	0	0	
	その他の普通財産	32,579	-44	32,535	
	浦の原集会所	0	496	496	
	小 計	82,965	233	83,198	
	合 計	1,391,222	236	1,391,458	

* 小数点以下四捨五入。端数処理の関係上、合計が合わないことがある。

* 公園・緑地等の詳細については、「公園一覧表、緑地一覧表、児童遊園一覧表及び特別緑地保全地区」参照

令和5年度建物の状況

(令和6年3月31日現在)

(建 物)

(単位：㎡)

区 分		前年度末 現在高	決裁年度 中増減高	決裁年度 末現在高	備考
庁舎	本庁	17,209	0	17,209	
	小 計	17,209	0	17,209	
学校	春日小学校	8,283	0	8,283	
	春日東小学校	7,040	0	7,040	
	春日北小学校	7,822	0	7,822	
	春日原小学校	6,719	0	6,719	
	春日西小学校	8,895	0	8,895	
	須玖小学校	5,939	0	5,939	
	春日南小学校	7,232	0	7,232	
	大谷小学校	6,187	0	6,187	
	天神山小学校	7,319	0	7,319	
	春日野小学校	7,651	0	7,651	
	日の出小学校	6,407	0	6,407	
	白水小学校	8,370	0	8,370	
	春日中学校	9,378	0	9,378	
	春日東中学校	9,923	0	9,923	
	春日西中学校	9,261	0	9,261	
	春日南中学校	8,650	0	8,650	
	春日野中学校	9,944	0	9,944	
	春日北中学校	8,673	0	8,673	
	小 計	143,693	0	143,693	
公営住宅	若草市営住宅	8,880	0	8,880	
	大和市営住宅	2,110	0	2,110	
	欽修市営住宅	4,587	0	4,587	
	双葉市営住宅	5,128	-1,131	3,997	H棟新築、1000・1100棟解体
	上白水市営住宅	1,809	-1,809	0	1300棟解体
	小 計	22,514	-2,940	19,574	
行政財産	岡本保育所	411	-411	0	普通財産化
	昇町保育所	1,021	0	1,021	
	毛勝児童センター	568	0	568	
	光町児童センター	579	0	579	
	春日市すくすくプラザ（須玖保育所以外）	938	0	938	保育所部分は普通財産
	白水児童センター	625	0	625	
	春日市老人福祉センター（ナギの木苑）	1,317	0	1,317	
	福祉ぱれっと館	2,112	0	2,112	
	男女共同参画・消費生活センター	396	0	396	
	シルバー人材センター	427	0	427	
	公園内公衆便所(桜ヶ丘公園内)	10	0	10	
	公園内公衆便所(岡本公園内)	9	0	9	
	公園内公衆便所(千歳公園内)	9	0	9	
	公園内公衆便所(昇町親水公園内)	9	0	9	
	公園内公衆便所（白水大池公園展望台）	0	0	0	
	公園内公衆便所(春日運動広場公園内)	38	0	38	
	公園内公衆便所（泉公園）	9	0	9	
	公園内公衆便所（位瀬公園）	15	0	15	
	公園内公衆便所（下白水第2公園）	40	0	40	
	公園内公衆便所（日の出ふれあい公園）	25	0	25	
	公園内公衆便所（若葉台中央公園）	10	0	10	
	公園内公衆便所（白水大池公園ちびっこ広場）	14	0	14	
	公園内公衆便所（白水大池公園芝生広場）	15	0	15	
	公園内公衆便所（白水大池公園正面トイレ）	15	0	15	
	留守家庭児童クラブ（ホッケットクラブ）	197	0	197	
	留守家庭児童クラブ（第2ホッケットクラブ）	80	0	80	
	留守家庭児童クラブ（ひかりクラブ）	183	0	183	
	留守家庭児童クラブ（ひかり第2クラブ）	116	0	116	
	留守家庭児童クラブ（たいようクラブ）	186	0	186	
	留守家庭児童クラブ（あおぞらクラブ）	185	0	185	
	留守家庭児童クラブ（なかよしクラブ）	178	0	178	
	留守家庭児童クラブ（なかよし第2クラブ）	89	0	89	
	留守家庭児童クラブ（ひまわりクラブ）	186	0	186	
	留守家庭児童クラブ（つばめクラブ）	177	0	177	
	留守家庭児童クラブ（つばめ第2クラブ）	104	0	104	
	留守家庭児童クラブ（つくしんぼクラブ）	180	0	180	
	留守家庭児童クラブ（つくしんぼ第2クラブ）	115	0	115	
	留守家庭児童クラブ（チャイルドクラブ）	182	0	182	
	留守家庭児童クラブ（さくらクラブ）	169	0	169	
	留守家庭児童クラブ（さくら第2クラブ）	81	0	81	
	留守家庭児童クラブ（コスモスクラブ）	178	0	178	
	留守家庭児童クラブ（すまいるクラブ）	185	0	185	
	泉地区公民館	340	0	340	
	大谷共同利用施設	530	0	530	
	大土居地区公民館	629	0	629	
	岡本コミュニティ供用施設	348	0	348	

区 分		前年度末 現在高	決裁年度 中増減高	決裁年度 末現在高	備考	
		春日共同利用施設	0	0	0	
		春日公園共同利用施設	530	0	530	
		春日原共同利用施設	530	0	530	
		春日原南共同利用施設	341	0	341	
		上白水地区公民館	535	0	535	
		上白水地区公民館付属（倉庫）	33	0	33	
		小倉コミュニティ供用施設	592	0	592	
		小倉東共同利用施設	347	0	347	
		桜ヶ丘地区公民館	530	0	530	
		下白水北コミュニティ供用施設	531	0	531	
		下白水南コミュニティセンター	499	0	499	
		白水池コミュニティセンター	310	0	310	
		須玖南地区公民館	500	0	500	
		須玖南地区公民館付属（駐輪場）	16	0	16	
		須玖北コミュニティ供用施設	532	0	532	
		須玖北コミュニティ併用施設付属（倉庫）	22	0	22	
		宝町共同利用施設	587	0	587	
		ちくし台共同利用施設	340	0	340	
		千歳町共同利用施設	530	0	530	
		天神山コミュニティ供用施設	532	0	532	
		昇町共同利用施設	530	0	530	
		昇町共同利用施設付属（倉庫）	40	0	40	
		昇町共同利用施設付属（駐輪場）	22	0	22	
		光町共同利用施設	529	0	529	
		日の出町コミュニティ供用施設	493	0	493	
		日の出町コミュニティ併用施設付属（倉庫）	47	0	47	
		松ヶ丘地区公民館	491	0	491	
		紅葉ヶ丘共同利用施設	530	0	530	
		大和町共同利用施設	340	0	340	
		弥生コミュニティ供用施設	500	0	500	
		弥生コミュニティ併用施設付属（倉庫）	42	0	42	
		弥生コミュニティ併用施設付属（ごみ置き場）	6	0	6	
		若葉台東共同利用施設	341	0	341	
		若葉台西共同利用施設	530	0	530	
		惣利地区公民館	340	0	340	
		平田台コミュニティ供用施設	351	0	351	
		白水ヶ丘地区公民館	500	0	500	
		サン・ビオ地区公民館	500	0	500	
		塚原台地区公民館	310	0	310	
		浦の原集会所	73	-73	0	普通財産化
		白水大池公園管理棟	750	0	750	
		白水大池公園展望塔	95	0	95	
		白水大池公園売店	10	0	10	
		白水大池公園星の館	80	0	80	
		消防団本部分団車庫	83	0	83	
		消防団東分団車庫	78	0	78	
		消防団西分団車庫	78	0	78	
		消防団南分団車庫	81	0	81	
		消防団北分団車庫	81	0	81	
		防災倉庫（岡本）	49	0	49	
		奴国の丘歴史公園遺構覆屋	164	0	164	
		奴国の丘歴史公園便所	6	0	6	
		奴国の館歴史資料館	2,821	0	2,821	
		埋蔵文化財収蔵庫	134	0	134	
		民俗資料館	636	0	636	
		のぼり窯体験広場	254	0	254	
		総合スポーツセンター	21,215	0	21,215	
		温水プール	3,443	0	3,443	
		野球場管理棟	388	0	388	
		龍神池駐車場	3,725	0	3,725	
		いきいきプラザ	3,865	0	3,865	
		ふれあい文化センター、文化会館	18,355	0	18,355	
		バス待合室及び乗務員休憩室	61	0	61	
		教育支援センター	408	0	408	
		ぶどうの庭・まちづくり支援センター	0	511	511	
		小 計	84,442	27	84,469	
普通財産	その他の 施設	春日市福祉団体等連絡事務所	0	0	0	
		ぶどうの庭・まちづくり支援センター（旧須玖保育所）	511	-511	0	行政財産化
		須玖保育所	1,368	0	1,368	公私連携保育所
		春日原保育所	993	-993	0	
		岡本保育所	0	469	469	普通財産化
		浦の原集会所	0	73	73	
		小 計	2,872	-962	1,910	
合 計	270,730	-3,875	266,855			

* 小数点以下四捨五入。端数処理の関係上、合計が合わないことがある。

公 園 一 覧 表

(令和6年3月31日現在)

	公 園	面積 (㎡)	公園 種別	備 考
1	桜ヶ丘広場公園	4,439	街区	未都決
2	桜ヶ丘公園	2,375	街区	
3	日の出第1公園	568	街区	
4	日の出第2公園	1,340	街区	
5	日の出ふれあい公園	7,603	街区	
6	須玖北公園	1,628	街区	
7	須玖中の宮公園	1,482	街区	
8	大下公園	1,658	街区	
9	須玖南親水公園	3,244	街区	
10	須玖南公園	2,432	街区	
11	岡本公園	2,744	街区	
12	弥生公園	1,679	街区	
13	竹ノ本第1公園	613	街区	未都決
14	大和公園	1,207	街区	
15	井ノ尻公園	1,459	街区	1,459㎡ 民有地
16	小倉中央公園	1,813	街区	
17	藤波池公園	1,248	街区	
18	大谷ふれあい公園	8,246	街区	
19	小倉東公園	1,529	街区	476㎡ 公民館
20	宝公園	1,061	街区	
21	光公園	2,221	街区	
22	千歳公園	4,267	街区	
23	若葉台中央公園	8,375	街区	802㎡ 公民館
24	泉公園	5,293	街区	
25	下白水第2公園	12,766	近隣	
26	昇町親水公園	8,982	緑道	
27	一の谷第1公園	2,860	街区	
28	一の谷第2公園	2,174	街区	
29	金塚池公園	4,170	街区	
30	一の谷第3公園	2,501	街区	
31	毛勝公園	1,819	街区	
32	毛勝親水公園	2,475	緑道	
33	大土居公園	8,025	街区	
34	柏田公園	1,139	街区	
35	上白水公園	4,616	街区	2,116㎡ 未都決・ 民有地

※ 「未都決」とは、都市公園として都市計画決定
がなされていないということです。

	公 園	面積 (㎡)	公園 種別	備 考
36	天神山公園	2,212	街区	
37	春日西多目的広場公園	17,716	地区	
38	天神の木公園	1,173	街区	
39	白水ヶ丘中央公園	2,740	街区	未都決
40	白水ヶ丘東公園	1,281	街区	
41	松ヶ丘北公園	1,440	街区	
42	松ヶ丘南公園	1,499	街区	
43	白水大池公園	333,572	総合	150,715㎡ 溜 池
44	大丸池公園	14,399	近隣	未都決
45	星見ヶ丘第1公園	871	街区	未都決
46	星見ヶ丘第2公園	1,458	街区	未都決
47	星見ヶ丘第3公園	1,270	街区	未都決
48	星見ヶ丘第4公園	1,247	街区	未都決
49	紅葉ヶ丘第1公園	1,474	街区	未都決
50	紅葉ヶ丘第2公園	4,114	街区	
51	紅葉ヶ丘第3公園	1,444	街区	
52	紅葉ヶ丘第4公園	1,538	街区	
53	ちくし台第1公園	1,332	街区	未都決
54	ちくし台第2公園	1,108	街区	
55	大傘田池自然公園	43,537	風致	未都決
56	惣利公園	5,622	街区	
57	円入公園	1,500	街区	
58	塚原台第1公園	2,508	街区	
59	塚原台第2公園	1,519	街区	
60	平田台第1公園	848	街区	
61	平田台第2公園	1,999	街区	
62	下ノ川公園	1,915	街区	
63	金口池公園	4,002	街区	
64	元宮公園	4,354	街区	
65	原町公園	2,506	街区	
66	位瀬公園	10,179	近隣	
67	天田公園	2,713	街区	
68	御供田公園	2,001	街区	
69	春日原南公園	1,543	街区	515㎡ 公民館
公園合計		598,685	—	156,083㎡ 所管外
市所有公園用地合計		442,602	—	75,496㎡ 都決認可外

総合公園	1箇所	333,572	—	
地区公園	1箇所	17,716	—	
近隣公園	3箇所	37,344	—	
街区公園	61箇所	155,059	—	
風致公園	1箇所	43,537	—	
都市緑道	2箇所	11,457	—	
合 計		598,685		

緑 地 一 覧 表

(令和6年3月31日現在)

	緑 地	面積 (㎡)	備 考
1	桜ヶ丘第1緑地	76	
2	桜ヶ丘第2緑地	20	20㎡ 道路内
3	日の出緑地	211	
4	須玖北緑地	112	
5	須玖天神緑地	613	100㎡ 国有地
6	須玖緑地	34	34㎡ 水路内
7	池ノ上緑地	77	77㎡ 道路内
8	岡本緑地	323	
9	上散田緑地	193	
10	春日台緑地	71	
11	神明緑地	875	
12	弥生第1緑地	64	
13	弥生第2緑地	98	
14	小倉第1緑地	208	
15	小倉第2緑地	113	
16	ケン牛第1緑地	50	50㎡ 道路内
17	ケン牛第2緑地	72	72㎡ 道路内
18	大谷緑地	4,447	1,720㎡ 民有地 (都 決)
19	大南緑地	190	161㎡ 道路内
20	原田緑地	62	
21	小池緑地	59	17㎡ 水路内
22	一の谷緑地	564	
23	大坪第1緑地	143	143㎡ 道路内
24	寺田緑地	254	
25	寺田池緑地	357	279㎡ 水路内
26	千足第1緑地	226	226㎡ 水路内
27	千足第2緑地	66	
28	四季のみち緑地	3,860	3,860㎡ 水路敷・民有地
29	大町緑地	156	156㎡ 道路内
30	門田緑地	41	
31	下ノ原緑地	12	12㎡ 道路内
32	ヒシャテガ浦緑地	335	
33	白水池緑地	87	
34	狐谷緑地	172	
35	中原中池緑地	2,944	
36	白水ヶ丘第1緑地	363	

	緑 地	面積 (㎡)	備 考
37	白水ヶ丘第2緑地	23	
38	白水ヶ丘第3緑地	78	
39	星見ヶ丘第1緑地	24	
40	星見ヶ丘第2緑地	34	
41	星見ヶ丘第3緑地	68	
42	星見ヶ丘第4緑地	89	
43	雪ヶ浦緑地	146	
44	若葉台緑地	51	
45	地藏子緑地	728	
46	若葉台東緑地	153	
47	紅葉ヶ丘緑地	301	
48	須玖新池第1緑地	400	
49	須玖新池第2緑地	84	84㎡ 道路内
50	大牟田池第1緑地	2,914	
51	大牟田池第2緑地	467	
52	紅葉ヶ丘東緑地	103	
53	惣利緑地	230	
54	春日公園第1緑地	655	360㎡ 水路内
55	春日公園第2緑地	62	
56	春日公園前緑地	2,263	
57	前ノ原緑地	164	
58	御供田緑地	1,779	
59	原町緑地	1,890	
60	平田台緑地	1,348	
61	塚原台第1緑地	860	
62	塚原台第2緑地	175	
63	塚原台第3緑地	268	
64	ちくし台緑地	40	40㎡ 道路内
65	西ヶ浦緑地	1,673	
66	千歳緑地	1,516	
67	春日原北緑地	901	
68	童神池緑地	210	
69	春日原東緑地	185	
70	春日原南第1緑地	1,197	
71	春日原南第2緑地	416	63㎡ 道路内
緑 地 合 計		39,043	7,474㎡ 所管外・未整備
市所有緑地用地合計		31,569	
都市緑地18箇所		29,307	6,040㎡ 所管外・未整備

特 別 緑 地 保 全 地 区

(令和6年3月31日現在)

	名 称	都市計画決定面積 (㎡)	備 考
1	春日の森特別緑地保全地区	31,163.50	計画(全体面積31,163.50㎡、用地取得面積23,583.76㎡) 【※平成14年度末 緑地保全用地取得事業完了】
2	弥生の森特別緑地保全地区	6,588.15	計画(全体面積6,588.15㎡、用地取得面積6,588.15㎡) 【※平成18年度末 緑地保全用地取得事業完了】
	合計	37,751.65	

児 童 遊 園 一 覧 表

(令和6年3月31日現在)

	児童遊園	面積(㎡)	備 考
1	桜ヶ丘第1児童遊園	611	
2	桜ヶ丘第2児童遊園	761	
3	日の出児童遊園	684	
4	須玖児童遊園	1,144	
5	五反田児童遊園	228	
6	松本児童遊園	240	
7	須玖南児童遊園	252	
8	柚木児童遊園	848	
9	ケン牛児童遊園	413	
10	小倉第1児童遊園	632	
11	小倉第2児童遊園	190	
12	弥生児童遊園	297	
13	ゆりヶ丘児童遊園	326	
14	千歳児童遊園	283	283㎡ 民有地
15	サンハイツ第1児童遊園	255	
16	サンハイツ第2児童遊園	308	
17	サンハイツ第3児童遊園	265	
18	大南児童遊園	800	800㎡ 民有地
19	原田児童遊園	239	
20	大谷第1児童遊園	888	
21	大谷第2児童遊園	331	
22	大谷第3児童遊園	101	
23	大谷第4児童遊園	175	14㎡ 水路内
24	昇町児童遊園	627	
25	一の谷児童遊園	602	
26	大土居第1児童遊園	216	
27	大土居第2児童遊園	145	
28	大土居第3児童遊園	359	
29	大土居第4児童遊園	295	
30	浦ノ原児童遊園	540	
31	泉西児童遊園	982	
32	泉東児童遊園	1,176	
33	川久保児童遊園	661	
34	下白水児童遊園	899	

	児童遊園	面積(㎡)	備 考
35	日拝塚第1児童遊園	241	
36	日拝塚第2児童遊園	398	
37	門田児童遊園	615	
38	白水ヶ丘児童遊園	200	
39	ウトグチ児童遊園	510	
40	みゆきヶ丘児童遊園	309	
41	狐谷児童遊園	163	
42	白水池第1児童遊園	816	
43	白水池第2児童遊園	326	
44	天神山児童遊園	852	
45	松ヶ丘児童遊園	169	
46	雪ヶ浦第1児童遊園	513	
47	雪ヶ浦第2児童遊園	165	
48	若葉台東児童遊園	359	
49	ちくし台東児童遊園	613	
50	紅葉ヶ丘西児童遊園	981	
51	紅葉ヶ丘東児童遊園	509	
52	小倉新池児童遊園	465	
53	須玖新池児童遊園	1,008	
54	大牟田第1児童遊園	886	
55	大牟田第2児童遊園	312	
56	大牟田第3児童遊園	535	
57	大牟田第4児童遊園	124	
58	西ヶ浦児童遊園	996	
59	向谷児童遊園	999	
60	平田台第1児童遊園	526	
61	平田台第2児童遊園	411	
62	塚原台児童遊園	204	
63	徳府児童遊園	1,022	
64	春日原北第1児童遊園	533	
65	春日原北第2児童遊園	292	
66	春日原南児童遊園	273	
児 童 遊 園 合 計		33,098	1097㎡ 所管外
市所有児童遊園用地合計		32,001	

令和5年度 公共施設の状況

(令和6年3月31日現在)

区 分		春日市	
道 路	改良率	91.0 %	改良済延長/実延長
	舗装率	99.3 %	舗装済延長/実延長
公 園	1人あたり面積（都市計画区域内）	8.7 m ²	都市公園等面積/都市計画区域内人口
住 宅	公営住宅等比率（世帯）	0.7 %	公営住宅等戸数/住民基本台帳世帯数
上水道	普及率	99.2 %	給水人口総合計/（住民基本台帳人口）
下水道	普及率（対行政区内人口）	100.0 %	公共下水道現在排水人口/（住民基本台帳人口）
	普及率（対行政区内面積）	97.5 %	公共下水道現在排水区域面積/行政区面積
保育所	施設充足率（公立）	10.3 %	定員（公立）/保育所対象者数
	施設充足率（公私立）	90.9 %	定員（公私立）/保育所対象者数
小学校	児童1人あたり校舎面積	9.9 m ²	校舎面積/児童数
	必要面積不足比率	14.0 %	校舎不足面積/校舎不足学校に関する必要面積
	1学級あたり児童数（特別支援学級を除く。）	29.3 人	児童数/学級数
	1学級あたり児童数（特別支援学級）	6.3 人	児童数/学級数
中学校	生徒1人あたり校舎面積	11.3 m ²	校舎面積/生徒数
	必要面積不足比率	2.0 %	校舎不足面積/校舎不足学校に関する必要面積
	1学級あたり生徒数（特別支援学級を除く。）	34.5 人	生徒数/学級数
	1学級あたり生徒数（特別支援学級）	5.4 人	生徒数/学級数